



KONICA MINOLTA

# ライセンスキット LK-114

---

ユーザーズガイド

# 目次

## 1 概要

1.1	ユビキタスプリントについて .....	1-1
	ユビキタスグループの基本構成 .....	1-1
	11 台以上の本体で構成する場合 .....	1-2
1.1.1	準備確認（管理者用） .....	1-5
1.1.2	運用までの流れ（管理者用） .....	1-5
	事前準備 .....	1-5
	ユビキタスプリント設定とユビキタスグループ設定 .....	1-5
	ショートカットキーの追加 .....	1-6
	プリンタードライバーと LK-114_ManagerPort の インストール .....	1-6
	LK-114_ManagerPort の設定 .....	1-6
1.2	必要なシステム環境 .....	1-7
	プリンタードライバー（PCL ドライバー、PS ドライバー） .....	1-7
	LK-114_ManagerPort .....	1-7
	LK-114_InstallTool .....	1-8
	LK-114_InstallerCreateTool（管理者用） .....	1-9
	LK-114_SetupTool（管理者用） .....	1-10
	LK-114_Editor for SetupTool（管理者用） .....	1-11
	Driver Packaging Utility（管理者用） .....	1-12
1.3	制限事項 .....	1-13

## 2 事前準備（管理者用）

2.1	本体の設定 .....	2-1
2.1.1	OpenAPI の機能を有効にする .....	2-1
2.1.2	SNMP 設定を有効にする .....	2-1
2.1.3	認証設定 .....	2-2
2.2	異なる機種でユビキタスグループを構成する場合 .....	2-3
2.2.1	簡易認証を設定する .....	2-3
	本体の操作パネルから設定する場合 .....	2-3
	PageScope Data Administrator から設定する場合 .....	2-3
2.3	i-Option のライセンス登録 .....	2-4



## 3 ユビキタスグループの作成（管理者用）

3.1	LK-114_SetupTool について .....	3-3
	NetBIOS の設定について .....	3-3
3.1.1	LK-114_SetupTool の起動と画面 .....	3-5
	アイコンの種類 .....	3-6
3.1.2	本体を検索する .....	3-7
	本体を検索する .....	3-7
3.1.3	管理者設定をする .....	3-7
	管理者設定の手順 .....	3-8
3.2	ユビキタスグループを作成する .....	3-9
	ユビキタスグループ作成の手順 .....	3-9
3.3	ユビキタスグループの構成を変更する .....	3-13
	ユビキタスグループ構成変更の手順 .....	3-13
3.4	ユビキタスグループを削除する .....	3-17
	ユビキタスグループ削除の手順 .....	3-17
3.5	ユビキタスグループ設定を同期する .....	3-19
	ユビキタスグループ設定の同期手順 .....	3-20
3.6	ユビキタスプリント設定の設定値を同期する .....	3-21
	ユビキタスプリント設定の同期手順 .....	3-22
3.7	ユビキタスプリントの設定を変更する .....	3-24
	ユビキタスプリント設定の変更手順 .....	3-24
3.8	本体の設定を一括で更新する .....	3-26
3.9	電源 OFF の本体を管理する .....	3-27
	ユビキタスグループから本体を削除する .....	3-27
	ユビキタスグループに本体を復帰させる .....	3-27
3.10	ユビキタスグループ情報を管理する .....	3-28
	ユビキタスグループ情報をインポートする .....	3-28
	ユビキタスグループ情報をエクスポートする .....	3-28
	ユビキタスグループ情報の設定ファイルを新規に作成する .....	3-29
3.11	ユビキタスグループ情報の設定ファイルをローカル環境で 作成する .....	3-30

## 4 ユビキタスプリント設定をする（管理者用）

4.1	ユビキタスプリント設定について .....	4-1
4.2	ユビキタスプリントのストレージ機能を設定する .....	4-2
4.2.1	ストレージ機能を有効にする .....	4-3
	ストレージ機能を有効にする .....	4-3



印字後削除設定をする .....	4-4
文書削除時間設定をする .....	4-5
4.2.2   ストレージ機能を無効にする .....	4-6
ストレージ機能を無効にする .....	4-6
4.3    文書を手動で削除する .....	4-7
文書を手動で削除する .....	4-7
4.4    ユビキタスプリントのクライアント機能を設定する .....	4-8
4.4.1   クライアント機能を有効にする .....	4-9
クライアント機能を有効にする .....	4-9
プロトコルを設定する .....	4-9
接続タイムアウト時間を設定する .....	4-10
4.4.2   クライアント機能を無効にする .....	4-11
クライアント機能を無効にする .....	4-11
4.5    ユビキタスプリントのトポロジー機能を設定する .....	4-12
4.5.1   トポロジー機能を有効にする .....	4-13
トポロジー機能を有効にする .....	4-13
ユビキタスグループ名を設定する .....	4-14
接続タイムアウト時間を設定する .....	4-15
ユビキタスグループを再構築する .....	4-16
4.5.2   トポロジー機能を無効にする .....	4-17
トポロジー機能を無効にする .....	4-17
4.6    ユビキタスグループに参加する .....	4-18
接続先のグループを設定する .....	4-18
接続タイムアウト時間を設定する .....	4-19
4.7    ユビキタスグループの状態を確認する .....	4-20
4.8    他のユビキタスグループと連携する .....	4-21

## 5   トップメニューにショートカットキーを追加する     (管理者用)

5.1    トップメニューにショートカットキーを追加する .....	5-1
ショートカットキーの追加手順 .....	5-1

## 6   プリンタードライバーとLK-114\_ManagerPort の     インストール

6.1    LK-114_InstallTool の作成 (管理者用) .....	6-2
6.1.1   LK-114_InstallerCreateTool について .....	6-2



6.1.2	事前準備 .....	6-2
	Driver Packaging Utility を使用したプリンタードライバー セットアップファイルの作成 .....	6-3
6.1.3	LK-114_InstallTool の作成と配布 .....	6-9
	LK-114_InstallTool の作成手順 .....	6-9
6.2	LK-114_InstallTool からの自動インストール .....	6-14
6.3	LK-114_InstallTool からの手動インストール .....	6-15
	LK-114_InstallTool の起動とインストール対象選択画面 .....	6-15
6.3.1	LK-114_ManagerPort のインストール .....	6-16
	インストール手順 .....	6-16
6.3.2	プリンタードライバーのインストール .....	6-19
	インストール手順 .....	6-20
6.3.3	LK-114_ManagerPort の設定 .....	6-22
7	プリンタードライバー／LK-114_ManagerPort の アンインストール	
7.1	プリンタードライバーのアンインストール .....	7-1
	アンインストールの手順 .....	7-1
7.2	LK-114_ManagerPort のアンインストール .....	7-2
	アンインストールの手順 .....	7-2
8	操作方法	
8.1	ユビキタスプリントでできること .....	8-1
8.2	プリントジョブをストレージ機へ蓄積する .....	8-2
	プリントジョブを蓄積する .....	8-2
	プリントジョブ送信でエラーが発生した場合 .....	8-2
8.3	クライアント機で印刷する .....	8-3
	印刷設定の変更について .....	8-3
	プリントジョブを印刷する .....	8-4
8.4	プリントジョブを削除する .....	8-7
	プリントジョブを削除する .....	8-7
9	トラブルシューティング	
9.1	印刷時のエラーメッセージと対策 .....	9-1
10	付録（管理者用）	
10.1	接続先情報ファイルについて .....	10-1



## 本製品について

ユビキタスプリントは、複数の本体でグループを構成し、ユーザーのコンピュータから本体にいったん蓄積したプリントジョブを、グループ内の任意の本体から印刷することができる機能です。

ユビキタスプリントの機能を使用するには、本体に i-Option のライセンス登録と、アップグレードキットの拡張メモリーが必要です。

## 製品名の表記について

本書では、製品名を以下のように表記しています。

製品名称	略称
KONICA MINOLTA LK-114_ManagerPort	LK-114_ManagerPort
KONICA MINOLTA LK-114_InstallerCreateTool	LK-114_InstallerCreateTool
KONICA MINOLTA LK-114_InstallTool	LK-114_InstallTool
KONICA MINOLTA LK-114_SetupTool	LK-114_SetupTool
KONICA MINOLTA LK-114_Editor for SetupTool	LK-114_Editor for SetupTool

## 登録商標および商標

### 商標について

KONICA MINOLTA、KONICA MINOLTA ロゴ、PageScope、bizhub は、コニカミノルタ株式会社の登録商標または商標です。

Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

RSA BSAFE®

RSA および BSAFE® は米国 EMC コーポレーションの米国およびその他の国における商標または登録商標です。



### ライセンス情報

本製品は、米国 EMC コーポレーションの RSA BSAFE® ソフトウェアを搭載しています。

### 画面について

本書に掲載する画面は、Windows 7 の画面を使用しています。



### ワンポイント

本体や設定によって、本書に記載されている画面の内容と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

### ご注意

本書の一部またはすべての内容を、無断で複製したり、他言語に翻訳したり、引用したりすることは、固くお断りします。

本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。

Copyright © 2013 KONICA MINOLTA, INC. All rights reserved.

# 1 概要

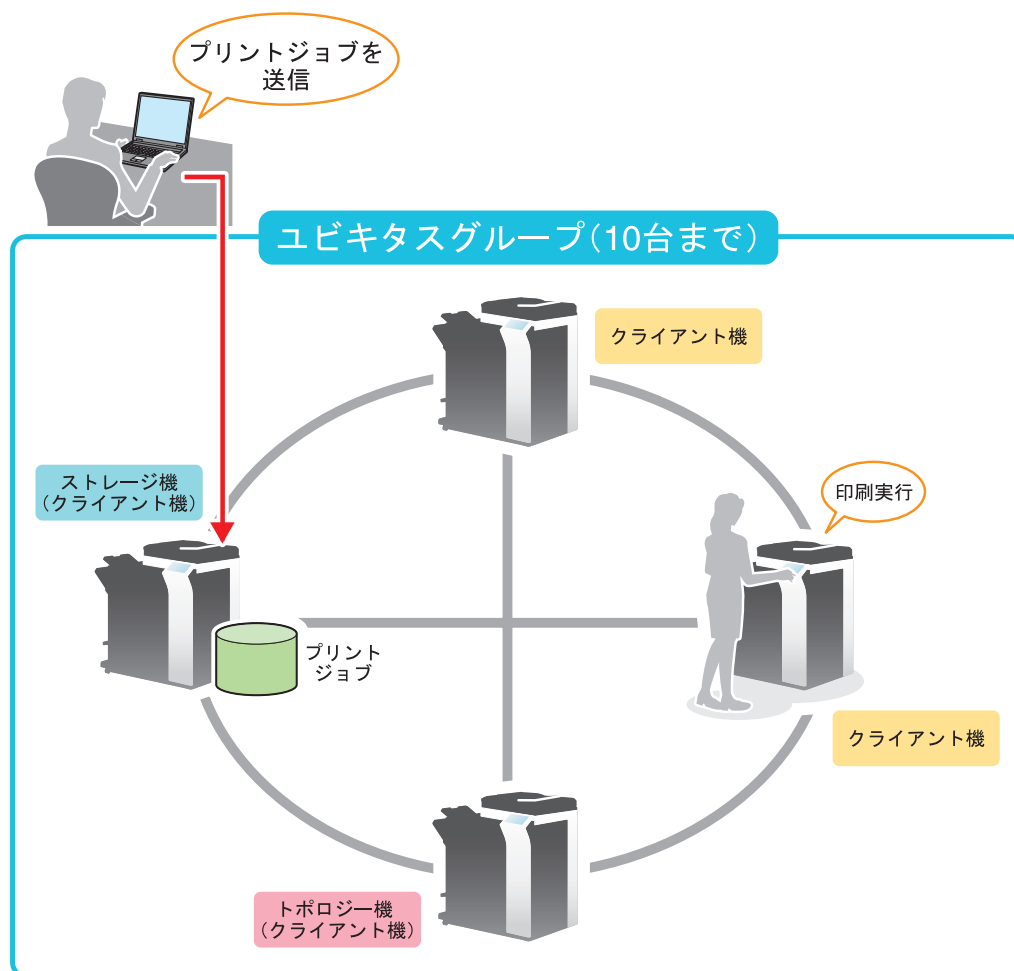
## 1.1 ユビキタスプリントについて

ユビキタスプリントは、複数の本体でユビキタスグループを構成し、ユーザーのコンピューターから本体にいったん蓄積したプリントジョブを、グループ内の任意の本体から印刷することができる機能です。

ユビキタスプリント機能が提供するソリューションは以下です。

- 放置プリントを低減できるので、印刷コストの削減やセキュリティの強化を実現できる
- プリントサーバーが不要となるので、機器コストおよび管理者の負荷を低減できる
- 印刷したい本体が混んでいた場合、他の本体から印刷できることで、業務効率が向上する

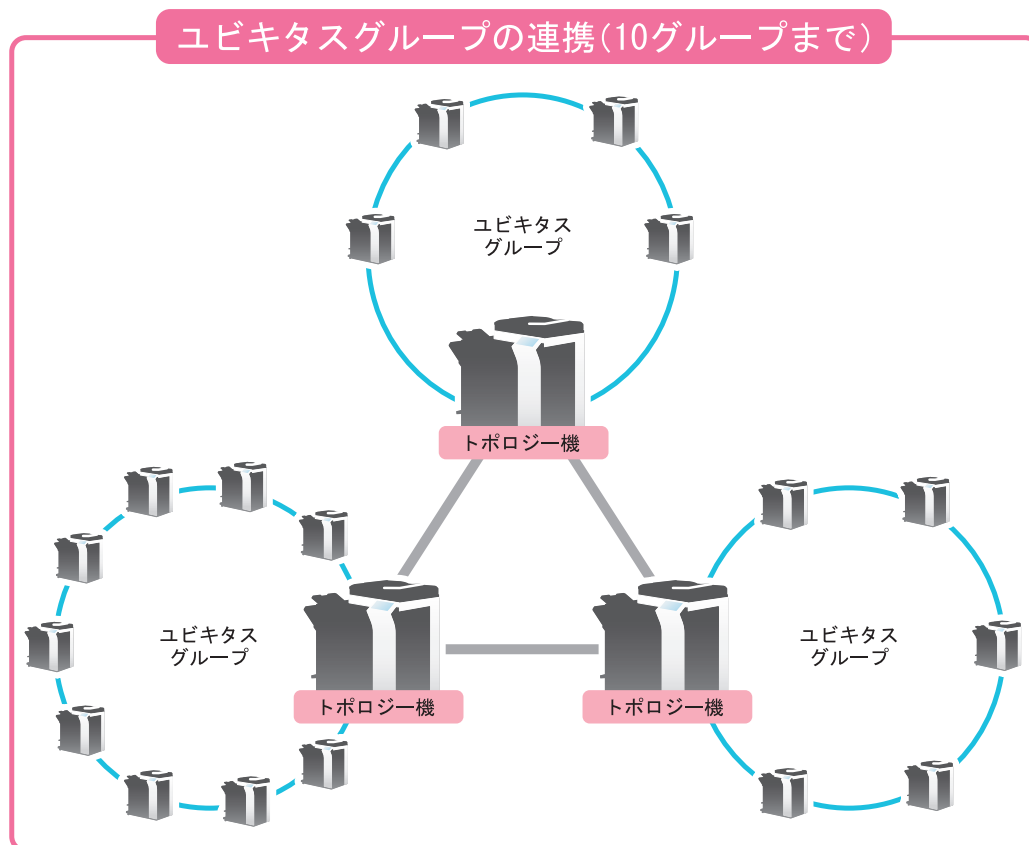
### ユビキタスグループの基本構成






## 11 台以上の本体で構成する場合

複数のユビキタスグループを連携させることができるため、自機が参加していない他のユビキタスグループの本体に蓄積されているジョブを印刷することもできます。



ユビキタスグループを構成する本体には、用途に応じて以下の役割を設定します。

役割	説明
トポロジー機	<p>複数のユビキタスグループを連携させる役割を担います。自機が参加するユビキタスグループの情報を他のユビキタスグループに送付し、他のユビキタスグループからの情報を受け取ることで、ユビキタスグループ間の情報を共有します。</p> <p>1つのユビキタスグループに、必ず1台のトポロジー機を設定する必要があります。1つのユビキタスグループには10台まで本体を登録でき、トポロジー機を介して、10グループまで連携させることができます。</p> <p>...</p> <p><b>ひとつこと</b> トポロジー機でユビキタスグループ間の情報共有が完了するまで約20秒かかります。</p> <p>ユビキタスグループに参加しているストレージ機またはクライアント機の電源が150時間連続してOFFの場合、そのストレージ機またはクライアント機は、トポロジー機が管理するユビキタスグループの構成リストから自動で削除されます。</p>
ストレージ機	<p>ユーザーが実行した印刷ジョブを保存し、クライアント機からの要求に応じて、保存されている印刷ジョブの処理を行います。ストレージ機1台に印刷ジョブを蓄積できる容量は、1ユーザーにつき、最大100文書、全体ではHDD容量が5GB、最大10,000文書です。</p> <p>ストレージ機は、すべてのユビキタスグループの合計で30台まで設定できます。</p>
クライアント機	<p>ストレージ機に保存された印刷ジョブに対する操作（ファイルリストの表示、印刷、削除）を行います。</p>



### ひとつこと

ユビキタスプリントのクライアント機能は、オプションのi-Option LK-114を導入し、Webブラウザ機能が有効の場合に利用できます。オプションの拡張メモリーを装着している場合は、Webブラウザ機能の有効／無効に関わらず利用できます。

ユビキタスプリントのストレージ機能を使うには、オプションの拡張メモリーとi-Option LK-114が必要です。

ユビキタスプリントのトポロジー機能を使うには、オプションの拡張メモリーとi-Option LK-114が必要です。

本書には、以下の内容を記載しています。

章	内容	対象者		参照ページ
		管理者	ユーザー	
1 概要	ユビキタスプリントの機能、システム環境、制限事項などについて記載しています。	○	○	p. 1-1
2 事前準備（管理者用）	本体の設定について記載しています。	○	—	p. 2-1
3 ユビキタスグループの作成（管理者用）	ユビキタスプリントを利用するユビキタスグループを作成・変更・削除する手順について記載しています。	○	—	p. 3-1
4 ユビキタスプリント設定をする（管理者用）	ストレージ機能、クライアント機能の各設定について記載しています。	○	—	p. 4-1
5 トップメニューにショートカットキーを追加する（管理者用）	トップメニューにショートカットキーを追加する手順について記載しています。	○	—	p. 5-1
6 プリンタードライバーと LK-114_ManagerPort のインストール	プリンタードライバーと LK-114_ManagerPort のインストール手順を記載しています。また、LK-114_InstallTool の作成手順についても記載しています。	○	○	p. 6-1
7 プリンタードライバー／LK-114_ManagerPort のアンインストール	プリンタードライバー、LK-114_ManagerPort のアンインストール手順を記載しています。	○	○	p. 7-1
8 操作方法	ユビキタスプリント機能を利用して印刷する手順を記載しています。	○	○	p. 8-1
9 トラブルシューティング	印刷時のエラーメッセージと原因、対策を記載しています。	○	○	p. 9-1
10 付録（管理者用）	接続先情報ファイルについて記載しています。	○	—	p. 10-1

### 1.1.1 準備確認（管理者用）

ユビキタスプリント運用までの準備、設定に以下が必要です。

- プリンタードライバー（PCL および PS のみ）
- LK-114\_SetupTool
- LK-114\_Editor for SetupTool
- LK-114\_InstallerCreateTool

また LK-114\_InstallerCreateTool を使用するには、以下の準備が必要です。

- Driver Packaging Utility

ユビキタスプリントの機能を使用するには、以下のことが必要です。ご確認ください。

- 本体への i-Option のライセンス登録
- アップグレードキットの拡張メモリー（サービスマンによる取付け）



#### ひとこと

i-Option のライセンス登録について詳しくは、「i-Option のライセンス登録」（p. 2-4）をごらんください。

### 1.1.2 運用までの流れ（管理者用）

ユーザーがユビキタスプリントを運用できるようにするためには、以下の準備や設定が必要です。

#### 事前準備

ユビキタスプリントを利用する本体に以下の設定を行います。

- 本体の設定（OpenAPI の設定、認証設定）
- i-Option のライセンス登録

設定は、本体の操作パネルで行います。

詳しくは、「事前準備（管理者用）」（p. 2-1）をごらんください。

#### ユビキタスプリント設定とユビキタスグループ設定

LK-114\_SetupTool にて、ユビキタスプリント設定と、ユビキタスグループ設定を同時に設定します。

詳しくは、「ユビキタスグループの作成（管理者用）」（p. 3-1）と、「ユビキタスプリント設定をする（管理者用）」（p. 4-1）をごらんください。

## ショートカットキーの追加

トップメニューにユビキタスプリントのショートカットキーを追加します。  
設定は、本体の操作パネルで行います。

詳しくは、「トップメニューにショートカットキーを追加する」(p. 5-1)を  
ごらんください。

## プリンタードライバーと LK-114\_ManagerPort のインストール

プリンタードライバーと LK-114\_ManagerPort をインストールします。  
インストール順序は以下のとおりです。

1. LK-114\_ManagerPort
2. プリンタードライバー

ユーザーのコンピュータに管理者権限がある場合

- LK-114\_InstallTool の作成は必要ありません。プリンタードライバーと LK-114\_ManagerPort を、ユーザーのコンピュータに配布し [Setup.exe] からインストールしてください。  
LK-114\_ManagerPort は、[LK-114\_InstallerCreateTool] > [InstForm] フォルダー内に含まれています。

ユーザーのコンピュータに管理者権限がない場合

- 管理者権限がなくてもインストールが実行できる LK-114\_InstallTool を作成し、ユーザーに配布します。  
LK-114\_InstallTool は、LK-114\_InstallerCreateTool を使用して作成します。また、プリンタードライバーや LK-114\_ManagerPort の設定を自動で行うように設定することもできます。  
LK-114\_InstallTool の作成について詳しくは、「LK-114\_InstallTool の作成（管理者用）」(p. 6-2) をごらんください。

プリンタードライバーと LK-114\_ManagerPort のインストールについて  
詳しくは、「プリンタードライバーと LK-114\_ManagerPort のインストール」(p. 6-1) をごらんください。

## LK-114\_ManagerPort の設定

プリンターポートの設定をします。詳しくは、「LK-114\_ManagerPort の設定」(p. 6-22) をごらんください。

## 1.2 必要なシステム環境

ユビキタスプリントが動作する条件は以下のとおりです。

### プリンタードライバー（PCL ドライバー、PS ドライバー）

プリンタードライバーの動作条件は、使用する本体の仕様に準じます。詳しくは、本体のユーザズガイドをごらんください。

### LK-114\_ManagerPort

OS	Windows 7 Home Premium（SP1 以降）* Windows 7 Professional（SP1 以降）* Windows 7 Enterprise（SP1 以降）* Windows 7 Ultimate（SP1 以降）* Windows 8.1* Windows 8.1 Pro* Windows 8.1 Enterprise* Windows 10 Home* Windows 10 Pro* Windows 10 Enterprise* Windows 10 Education* * 32 ビット (x86)/64 ビット (x64) 環境に対応。
ソフトウェア	以下ライブラリのうちいずれかがインストールされていること Microsoft .NET Framework 3.5（SP1 以降） Microsoft .NET Framework 4.0 以降
システム	対応 OS の推奨環境 HDD 空き容量：512MB 以上
ディスプレイ	800 × 600 ピクセル以上 16bit カラー以上

## LK-114\_InstallTool

OS	Windows 7 Home Premium (SP1 以降) * Windows 7 Professional (SP1 以降) * Windows 7 Enterprise (SP1 以降) * Windows 7 Ultimate (SP1 以降) * Windows 8.1 * Windows 8.1 Pro * Windows 8.1 Enterprise * Windows 10 Home * Windows 10 Pro * Windows 10 Enterprise * Windows 10 Education * * 32 ビット (x86)/64 ビット (x64) 環境に対応。
ソフトウェア	以下ライブラリのうちいずれかがインストールされていること Microsoft .NET Framework 3.5 (SP1 以降) Microsoft .NET Framework 4.0 以降
システム	対応 OS の推奨環境 HDD 空き容量：512MB 以上
ディスプレイ	800 × 600 ピクセル以上 16bit カラー以上

## LK-114\_InstallerCreateTool (管理者用)

OS	Windows 7 Home Premium (SP1 以降) * Windows 7 Professional (SP1 以降) * Windows 7 Enterprise (SP1 以降) * Windows 7 Ultimate (SP1 以降) * Windows 8.1 * Windows 8.1 Pro * Windows 8.1 Enterprise * Windows 10 Home * Windows 10 Pro * Windows 10 Enterprise * Windows 10 Education * * 32 ビット (x86)/64 ビット (x64) 環境に対応。
ソフトウェア	以下ライブラリのうちいずれかがインストールされていること Microsoft .NET Framework 3.5 (SP1 以降) Microsoft .NET Framework 4.0 以降
システム	対応 OS の推奨環境 HDD 空き容量：512MB 以上
ディスプレイ	800 × 600 ピクセル以上 16bit カラー以上



## LK-114\_SetupTool（管理者用）

OS	Windows 7 Home Premium（SP1 以降）* Windows 7 Professional（SP1 以降）* Windows 7 Enterprise（SP1 以降）* Windows 7 Ultimate（SP1 以降）* Windows 8.1* Windows 8.1 Pro* Windows 8.1 Enterprise* Windows 10 Home* Windows 10 Pro* Windows 10 Enterprise* Windows 10 Education* * 32 ビット (x86)/64 ビット (x64) 環境に対応。
ソフトウェア	Microsoft .NET Framework 3.5（SP1 以降）
システム	対応 OS の推奨環境 HDD 空き容量：100MB 以上
ディスプレイ	1024 × 768 ピクセル以上 16bit カラー以上

## LK-114\_Editor for SetupTool（管理者用）

OS	Windows 7 Home Premium（SP1 以降）* Windows 7 Professional（SP1 以降）* Windows 7 Enterprise（SP1 以降）* Windows 7 Ultimate（SP1 以降）* Windows 8.1* Windows 8.1 Pro* Windows 8.1 Enterprise* Windows 10 Home* Windows 10 Pro* Windows 10 Enterprise* Windows 10 Education* * 32 ビット (x86)/64 ビット (x64) 環境に対応。
ソフトウェア	Microsoft .NET Framework 4.5 以降
システム	対応 OS の推奨環境 HDD 空き容量：100MB 以上
ディスプレイ	1024 × 768 ピクセル以上 16bit カラー以上

## Driver Packaging Utility (管理者用)

OS	Windows Server 2008 Standard* Windows Server 2008 Enterprise* Windows 7 Home Basic (SP1 以降) Windows 7 Home Premium (SP1 以降)* Windows 7 Professional (SP1 以降)* Windows 7 Enterprise (SP1 以降)* Windows 7 Ultimate (SP1 以降)* Windows Server 2008 R2 Standard Windows Server 2008 R2 Enterprise Windows 8.1* Windows 8.1 Pro* Windows 8.1 Enterprise* Windows 10 Home* Windows 10 Pro* Windows 10 Enterprise* Windows 10 Education* Windows Server 2012 Standard Windows Server 2012 Datacenter Windows Server 2012 R2 Standard Windows Server 2012 R2 Datacenter * 32 ビット (x86)/64 ビット (x64) 環境に対応。
----	--

## 1.3 制限事項

ユビキタスプリントを使用するには、以下の制限があります。

- ユビキタスプリントを利用するには、アップグレードキットの拡張メモリーが必要です。
- ユビキタスグループを構成できる本体は 10 台までです。
- トポロジー機能を使って連携できるユビキタスグループは 10 グループまでです。
- WAN 越えてユビキタスグループを構成することはできません。
- ストレージ機からクライアント機へのプリントジョブ送信時、暗号化は行われません。
- 使用できるドライバーは PCL ドライバーおよび PS ドライバーのみ(どちらも Windows) です。PCL ドライバーを使用する場合、[印刷設定] 画面の [画像品質] タブにある [解像度] で [1200dpi(PC ラスタライズ)] を選択したジョブはスプールされずに削除されます。1200dpi で印刷する場合は、[1200dpi(装置ラスタライズ)] を選択するか、PS ドライバーを使用してください。PS ドライバーを使用してプリントジョブを送信した場合、クライアント機での印刷時に印刷設定の変更はできません。
- 使用できる認証パターンは以下のとおりです。また、ユビキタスグループを構成する本体すべてを同じ認証パターンに設定しておく必要があります。
  - 本体装置認証
  - 外部サーバー認証
  - 本体装置認証+外部サーバー認証 (認証先: 本体装置)
  - 本体装置認証+外部サーバー認証 (認証先: 外部サーバー)
  - 拡張サーバー認証
  - 本体装置認証+拡張サーバー認証 (認証先: 本体装置)
  - 本体装置認証+拡張サーバー認証 (認証先: 拡張サーバー)
  - 拡張サーバー認証+外部サーバー認証 (認証先: 外部サーバー)
- 認証形態は、カードまたは生体認証、操作パネルからの認証が対象となります。
- ユーザー数制限は、本体に依存します。
- ストレージ機 1 台にプリントジョブを蓄積できる容量は、1 ユーザー 100 文書、全体では 5GB、10,000 文書までです。
- ユビキタスプリントは、セキュリティー強化モード、ベンダーモード、統合管理装置モード、PKI モード、Fiery イメージコントローラーとの併用はできません。
- Windows に Guest アカウントでログオンしている場合、Guest アカウントのままでは、LK-114\_ManagerPort を利用できません。



...

### ひとこと

異なる機種を混在させてユビキタスグループを構成する場合は、「異なる機種でユビキタスグループを構成する場合」(p. 2-3) をご覧ください。

## 2 事前準備（管理者用）

### 2.1 本体の設定

ユビキタスプリントを利用するためには、以下の本体の設定を行います。  
ユビキタスプリントを利用するすべての本体で設定が必要です。

#### 2.1.1 OpenAPI の機能を有効にする

本体の〔設定メニュー〕－〔管理者設定〕－〔システム連携〕－  
〔OpenAPI 設定〕－〔アクセス設定〕で OpenAPI の機能が可能となっ  
ていることを確認してください。



##### ご注意

ユビキタスプリント設定（p. 4-1）の完了後、〔OpenAPI 設定〕で  
SSL の有効 / 無効設定を変更した場合は、LK-114\_SetupTool で再設  
定してください（p. 3-3）。



##### ひとこと

本体の操作パネルのメニュー構成は、機種やバージョンにより異なりま  
す。手順について詳しくは、それぞれの本体のユーザーズガイドをごら  
んください。

#### 2.1.2 SNMP 設定を有効にする

本体の〔設定メニュー〕－〔管理者設定〕－〔ネットワーク設定〕－  
〔SNMP 設定〕が〔使用する〕となっていることを確認してください。



##### ひとこと

本体の操作パネルのメニュー構成は、機種やバージョンにより異なりま  
す。手順について詳しくは、それぞれの本体のユーザーズガイドをごら  
んください。

### 2.1.3 認証設定

本体の「設定メニュー」－「管理者設定」のユーザー認証の認証方式を以下のいずれかに設定します。ユビキタスグループを構成する本体すべてを同じ認証パターンに設定してください。

- 本体装置認証
- 外部サーバー認証
- 本体装置認証＋外部サーバー認証（認証先：本体装置）
- 本体装置認証＋外部サーバー認証（認証先：外部サーバー）
- 拡張サーバー認証
- 本体装置認証＋拡張サーバー認証（認証先：本体装置）
- 本体装置認証＋拡張サーバー認証（認証先：拡張サーバー）
- 拡張サーバー認証＋外部サーバー認証（認証先：外部サーバー）



...

#### ご注意

カードを利用して外部サーバー認証を行う場合は、本体の「設定メニュー」－「管理者設定」－「ユーザー認証 / 部門管理」で簡易認証設定を有効にしてください。



...

#### ひとこと

本体の操作パネルのメニュー構成は、機種やバージョンにより異なります。手順については、それぞれの本体のユーザーズガイドをご覧ください。

## 2.2 異なる機種でユビキタスグループを構成する場合

異なる機種でユビキタスグループを構成する場合は、以下の手順で簡易認証の設定を有効にしてください。

本体の操作パネル、または PageScope Data Administrator から設定できます。

### 2.2.1 簡易認証を設定する

簡易認証の設定を有効にする手順を説明します。

#### 本体の操作パネルから設定する場合

- 1 [設定メニュー] – [管理者設定] – [ユーザー認証 / 部門管理] – [簡易認証設定] – [認証設定] をタップします。
  - 管理者パスワード入力画面が表示されたら、管理者パスワードを入力してください。
- 2 [許可] をタップし、[OK] をタップします。

#### PageScope Data Administrator から設定する場合

- 1 [装置一覧] の装置をダブルクリックします。
- 2 [認証設定] – [プリント簡易認証設定] をクリックします。
- 3 [プリント簡易認証を有効にする] をチェックします。

## 2.3 i-Option のライセンス登録

本体にユビキタスプリントの機能を追加するには、i-Option のライセンスを登録し、機能を有効にします。

i-Option のライセンス登録、機能有効化の手順について詳しくは、本体のユーザーズガイドをごらんください。



## 3 ユビキタスグループの作成（管理者用）

ユビキタスプリントを利用するユビキタスグループを作成します。

1 つのユビキタスグループには 10 台まで本体を登録でき、トポロジー機を介して、10 グループまで連携させることができます。



### ご注意

LK-114\_SetupTool または LK-114\_Editor for SetupTool では、ユビキタスグループのトポロジー機の構成のみ設定できます。

LK-114\_SetupTool または LK-114\_Editor for SetupTool でユビキタスグループのトポロジー機の構成を設定したあと、ユビキタスグループにストレージ機やクライアント機を追加したり、ユビキタスグループのストレージ機やクライアント機の構成を変更したりする場合は、本体の操作パネルから設定してください。また、複数のユビキタスグループを連携させる場合は、PageScope Web Connection を使用して、連携するユビキタスグループを設定してください。設定方法について詳しくは、「ユビキタスプリント設定をする（管理者用）」（p. 4-1）をごらんください。



...

**ご注意**

WAN 越えてユビキタスグループを構成することはできません。



...

**ご注意**

LK-114\_SetupTool では、IPv6 でのご利用はできません。IPv6 でユビキタスプリントをご利用になる場合は、本体の操作パネルで設定してください。詳しくは、「ユビキタスプリント設定をする（管理者用）」（p. 4-1）をごらんください。



...

**ひとつこと**

異なる機種を混在させてユビキタスグループを構成する場合は、「異なる機種でユビキタスグループを構成する場合」（p. 2-3）をごらんください。



...

**ひとつこと**

ネットワーク上に本体が接続されていないローカル環境で、ユビキタスグループを作成することができます。詳しくは、「ユビキタスグループ情報の設定ファイルをローカル環境で作成する」（p. 3-30）をごらんください。

## 3.1 LK-114\_SetupTool について

LK-114\_SetupTool は、ユビキタスプリントを利用するユビキタスグループを作成・管理するツールです。

LK-114\_SetupTool を利用すると、容易にユビキタスグループを構成する本体を指定したり、指定を解除することができます。

また、本体側で設定したユビキタスプリント設定と相違がある場合は、設定内容を同期することもできます。

あらかじめ LK-114\_SetupTool を準備し、任意のフォルダーにコピーしてください。

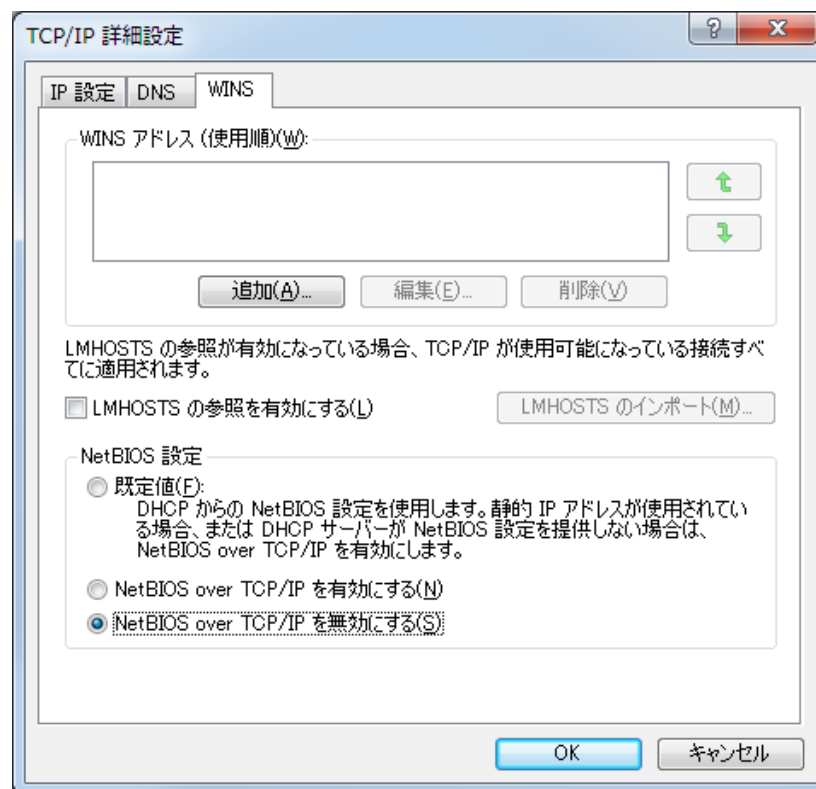
### NetBIOS の設定について

LK-114\_SetupTool をご利用になる前に、事前に NetBIOS 設定を以下のように設定してください。

Windows 7 の場合で説明します。

- 1 [スタート] – [コントロールパネル] – [ネットワークとインターネット] – [ネットワークと共有センター] – [ローカルエリア接続] を選択します。  
ローカルエリア接続の状態画面が表示されます。
- 2 [プロパティ] をクリックします。  
ローカルエリア接続のプロパティ画面が表示されます。
- 3 接続の項目リストから [インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)] を選択して、[プロパティ] をクリックします。  
インターネット プロトコル バージョン 4(TCP/IPv4) のプロパティ画面が表示されます。
- 4 [詳細設定] をクリックします。

- 5 TCP/IP 詳細画面の [WINS] タブで NetBIOS の設定を行い、[OK] をクリックします。
  - [LMHOSTS の参照を有効にする] のチェックボックスのチェックを外します。
  - [NetBIOS 設定] で [NetBIOS over TCP/IP を無効にする] を選択します。



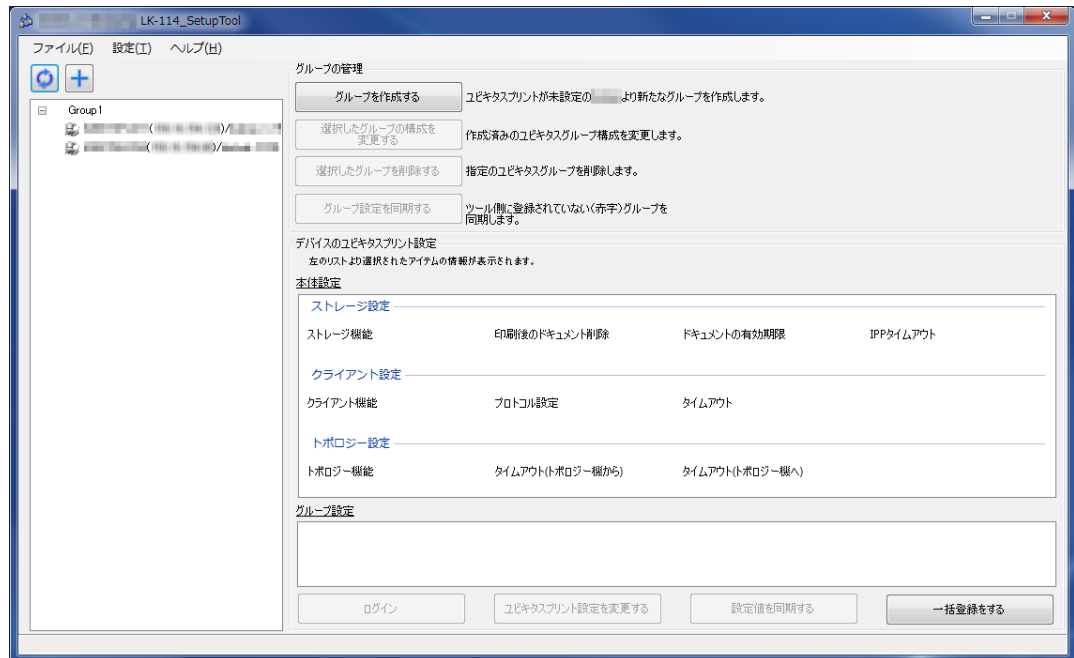
- 6 [スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] を選択します。
- 7 以下のコマンドを実行します。「ipconfig /flushdns」
  - 「ipconfig」と「/flushdns」の間にスペースを入れます。
 以下のメッセージが表示されます。






### 3.1.1 LK-114\_SetupTool の起動と画面

管理者権限で Windows にログオンし、[LK-114\_SetupTool.exe] をダブルクリックすると、LK-114\_SetupTool が起動します。

起動時に接続されている本体が自動的に検索され、画面左側にある本体リストのエリアに表示されます。



項目	内容
	本体リストの内容を更新します。
	本体を手動で追加します。詳しくは、「本体を検索する」(p. 3-7) をご覧ください。
本体リスト	ユビキタスプリント対応の本体が表示されます。
[グループを作成する]	新しいユビキタスグループを作成します。
[選択したグループの構成を変更する]	作成済みのユビキタスグループ構成を変更します。
[選択したグループを削除する]	選択したユビキタスグループを削除します。
[グループ設定を同期する]	LK-114_SetupTool 側に登録されていないユビキタスグループを同期します。
本体設定	本体リストから選択した本体のユビキタスプリント設定（ストレージ機能設定、クライアント機能設定、トポロジー機能設定）の内容が表示されます。
グループ設定	本体リストから選択した本体のユビキタスプリント設定（ユビキタスグループ設定）の内容が表示されます。

項目	内容
〔ログイン〕	 が付いた本体を選択した場合に使用できます。LK-114_SetupTool 側の管理者パスワード設定と一致しない本体や、認証によるユビキタスプリント設定の自動取得を行っていない本体を個別に認証し、ユビキタスプリント設定を取得します。
〔ユビキタスプリント設定を変更する〕	本体ごとのユビキタスプリント設定を変更します。
〔設定値を同期する〕	LK-114_SetupTool で設定したユビキタスプリント設定と本体側の設定値が一致しない場合に、設定値を同期することができます。
〔一括登録をする〕	ユビキタスグループ設定ファイルからインポートしたすべての本体を一括で登録します。 ユビキタスグループ設定ファイルの作成について詳しくは、「ユビキタスグループ情報の設定ファイルをローカル環境で作成する」(p. 3-30) をごらんください。








### ひとこと


DNS サーバーの環境によっては、更新処理がうまく動作しない場合があります。処理動作がタイムアウトした可能性があります。LK-114\_SetupTool の管理者設定でタイムアウトの設定値を変更してください。LK-114\_SetupTool で設定を変更する手順について詳しくは、「管理者設定をする」(p. 3-7) をごらんください。

本体で接続タイムアウト設定の設定値を変更することもできます。詳しくは、「接続タイムアウト時間を設定する」(p. 4-10) をごらんください。

## アイコンの種類

本体リストに表示されるアイコンの意味は以下のとおりです。


項目	内容
	プリントストレージ機能が有効になっている本体を表します。
	クライアント機能が有効になっている本体を表します。
	トポロジー機能が有効になっていることを示します。
	トポロジー機能とクライアント機能が有効になっていることを示します。
	プリントストレージ機能およびクライアント機能の両方が有効になっている本体を表します。
アイコン表示なし	すべての機能が無効になっている本体を表します。

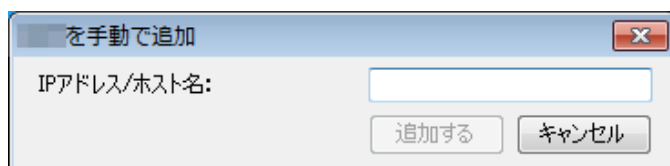
項目	内容
	管理者パスワードの不一致などで、現在のユビキタスプリント設定が閲覧できない本体を表します。

### 3.1.2 本体を検索する

本体を手動で追加し、リストに表示します。

本体を検索する

- 1  をクリックします。
- 2 IP アドレスまたはホスト名を入力し、[追加する] をクリックします。



本体がリストに追加されます。


### 3.1.3 管理者設定をする

管理者設定をします。

管理者設定で設定できる項目は以下のとおりです。



項目	内容
管理者パスワードのデフォルト設定	管理者パスワードの初期値を設定します。 管理者パスワード入力が必要な画面に、ここで設定した設定値が初期値として表示されます。

項目	内容
OpenAPI 認証のデフォルト設定	<p>OpenAPI 認証のユーザー名とパスワードの初期値を設定します。OpenAPI 認証のユーザー名とパスワードの入力が必要な画面に、ここで設定した設定値が初期値として表示されます。</p> <p> ...</p> <p><b>ひとこと</b> OpenAPI 認証のユーザー名とパスワードを利用しない場合は、ユーザー名およびパスワードを入力する必要はありません。</p>
通信設定	<p>本体の検索時や本体と LK-114_SetupTool との通信のタイムアウト（秒）など、通信に関する設定を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [デバイスの検索設定]：LK-114_SetupTool で本体を検索するときのタイムアウト時間と TTL(Time To Live) を設定します。本体の検索と同時にユビキタスプリント設定も取得する場合は、[デバイス検索時にユビキタスプリント設定を取得する] にチェックをつけます。</li> <li>・ [bizhub- セットアップツール間の通信設定]：本体と LK-114_SetupTool の通信のタイムアウト時間を設定します。</li> </ul>
ユビキタスプリントの初期設定	<p>新規にユビキタスプリント設定を行う本体に送信する初期値を設定します。</p> <p>[ストレージ設定] で、ストレージ機能の初期値を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [印刷後にドキュメントを自動的に削除する。]：ストレージ機に蓄積されたプリントジョブが印刷された時点で、ジョブを自動的に削除するかどうかを設定します。</li> <li>・ [ドキュメントの有効期限]：ストレージ機に蓄積されたプリントジョブのデータを自動的に削除するまでの時間を設定します。</li> <li>・ [IPP タイムアウト（秒）]：IPP を使用して印刷するときのタイムアウト時間を設定します。</li> </ul> <p>[クライアント設定] で、クライアント機能の初期値を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [プロトコル設定]：ユビキタスプリントで使用するプロトコルを、[IPP] または [Raw] ポートから選択します。</li> <li>・ [タイムアウト（秒）]：ストレージ機へ接続するときのタイムアウト時間を設定します。</li> </ul> <p>[トポロジー設定] で、トポロジー機能の初期値を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [タイムアウト（トポロジー機から）（秒）]：本体をトポロジー機として使用する場合に、トポロジー機からの通信のタイムアウト時間を設定します。</li> <li>・ [タイムアウト（トポロジー機へ）（秒）]：本体をストレージ機やクライアント機として使用する場合に、トポロジー機への通信のタイムアウト時間を設定します。</li> </ul>

## 管理者設定の手順

- 1 メニューバーの [設定] - [管理者設定] を選択します。  
管理者設定画面が表示されます。
- 2 各項目を設定し、[OK] をクリックします。



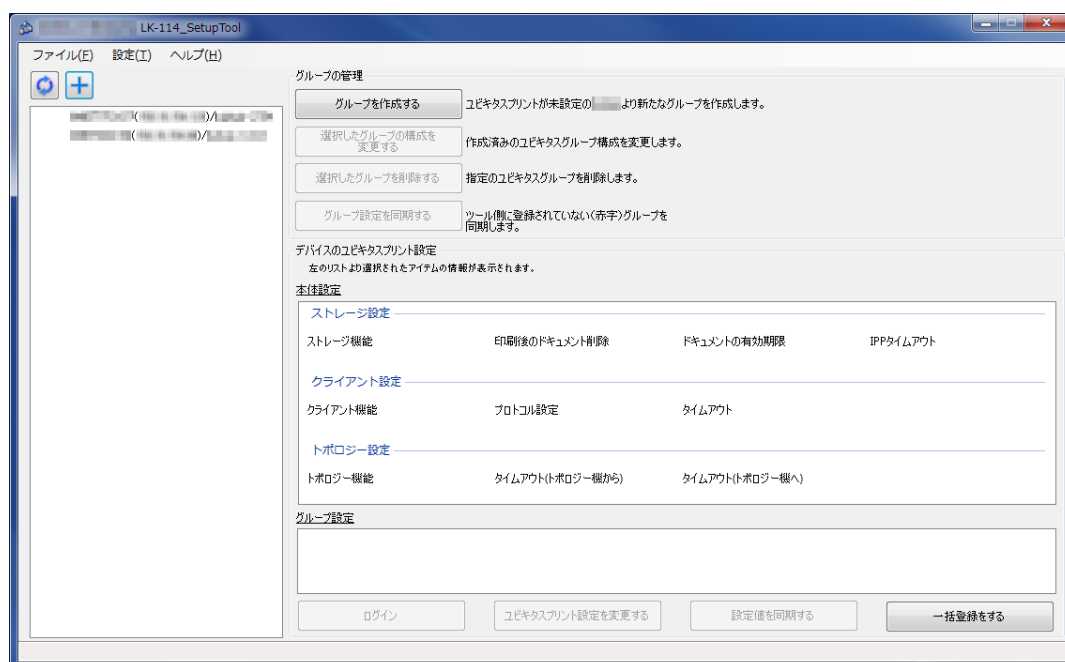
## 3.2 ユビキタスグループを作成する

ユビキタスプリントに設定されていない本体で、新しいユビキタスグループを作成します。

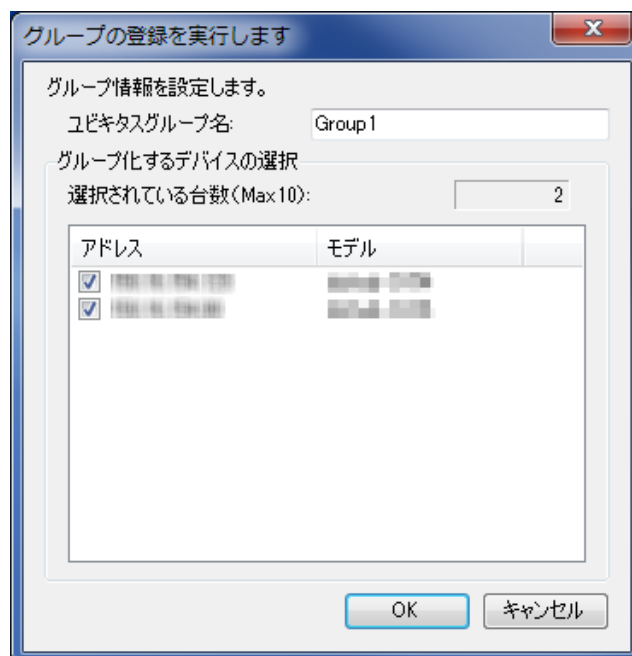
1つのユビキタスグループには10台まで本体を登録でき、トポロジー機を介して、10グループまで連携させることができます。

### ユビキタスグループ作成の手順

- 1 [グループを作成する] をクリックします。

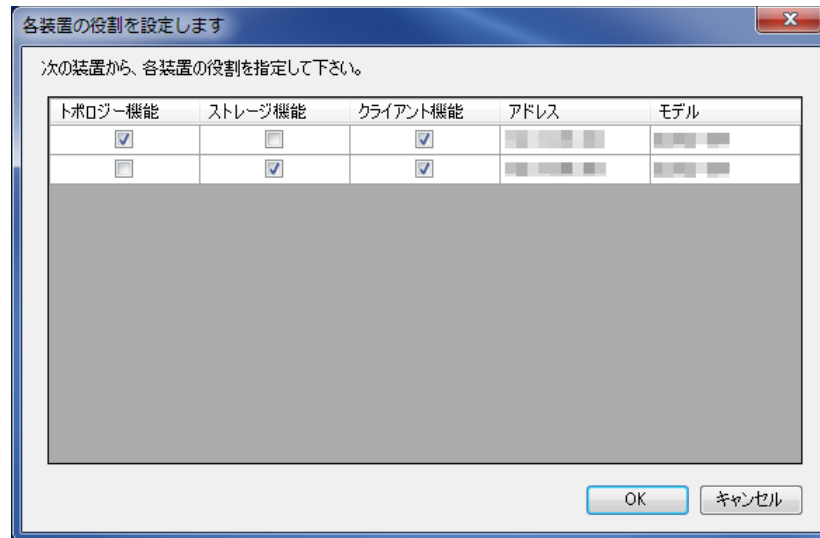


- 2 ユビキタスグループの「ユビキタスグループ名」を入力し、ユビキタスグループに設定する本体のチェックボックスをチェックします。
- ユビキタスグループ名は半角 16 文字、全角 8 文字以内で入力してください。
  - 10 台まで選択できます。「選択されている台数」に、選択されている台数が表示されます。



- 3 [OK] をクリックします。
- 4 ユビキタスグループに登録する本体の役割（トポロジー／ストレージ／クライアント）を指定し、[OK] をクリックします。
- 1 つのユビキタスグループに、必ず 1 台のトポロジー機を設定する必要があります。
  - 1 台の本体に対して、ストレージ機とクライアント機の両方の役割を設定することができます。
  - 1 台の本体に対して、トポロジー機とクライアント機の両方の役割を設定できます。

- 1 台の本体に対して、トポロジー機とストレージ機の両方の役割を設定することはできません。



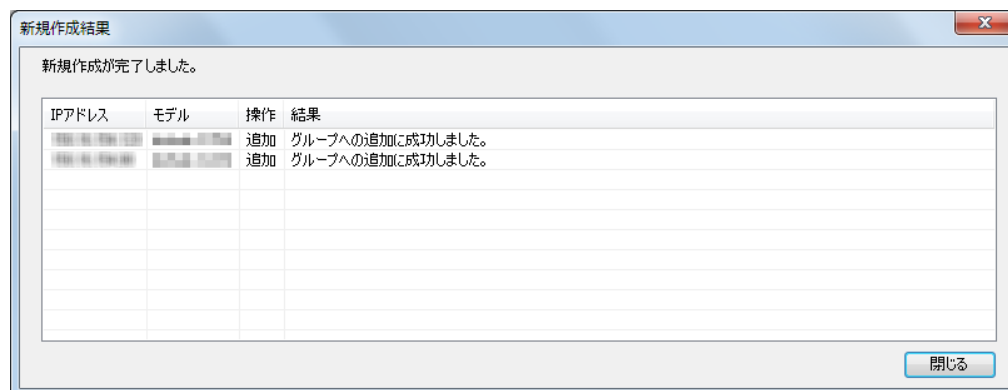
## 5 本体の管理者パスワード、OpenAPI ユーザー名とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

- OpenAPI 認証のユーザー名とパスワードを利用しない場合は、OpenAPI のユーザー名およびパスワードを入力する必要はありません。



ユビキタスグループが作成されます。完了すると新規作成結果画面が表示されます。

## 6 「閉じる」をクリックします。



...

**ひとつこと**

管理者パスワード、OpenAPI ユーザー名とパスワードは、あらかじめ初期値を設定しておくことができます。詳しくは、「管理者設定をする」(p. 3-7) をごらんください。



...

**ひとつこと**

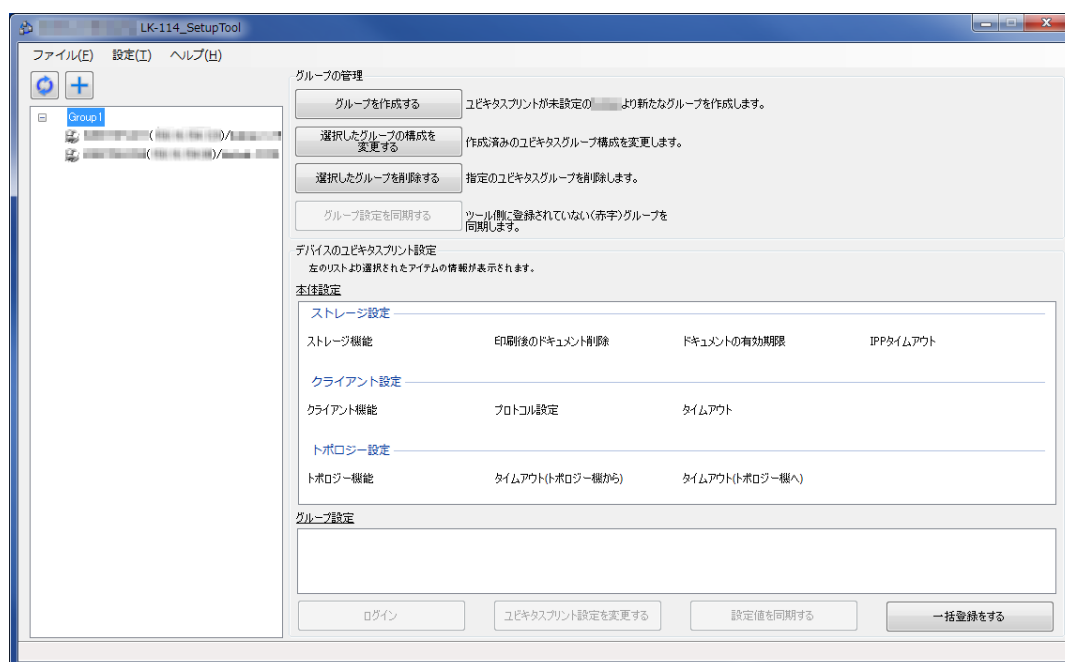
LK-114\_Editor for SetupTool を使用すると、本体がネットワーク上に存在しないローカル環境でも、ユビキタスグループの設定を行えます。詳しくは、「ユビキタスグループ情報の設定ファイルをローカル環境で作成する」(p. 3-30) をごらんください。

## 3.3 ユビキタスグループの構成を変更する

作成済みのユビキタスグループ構成を変更します。

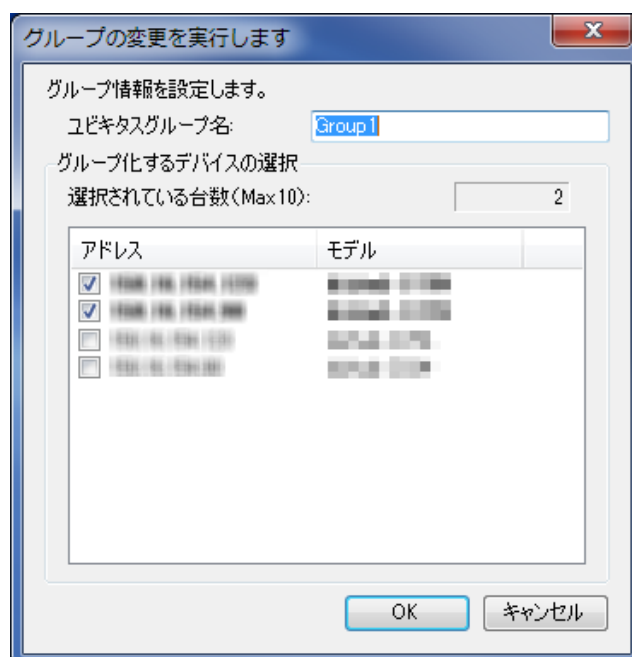
### ユビキタスグループ構成変更の手順

- 1 本体リストからユビキタスグループ名を選択し、「選択したグループの構成を変更する」をクリックします。
  - ユビキタスグループ名を選択すると、「選択したグループの構成を変更する」のボタンが有効になります。



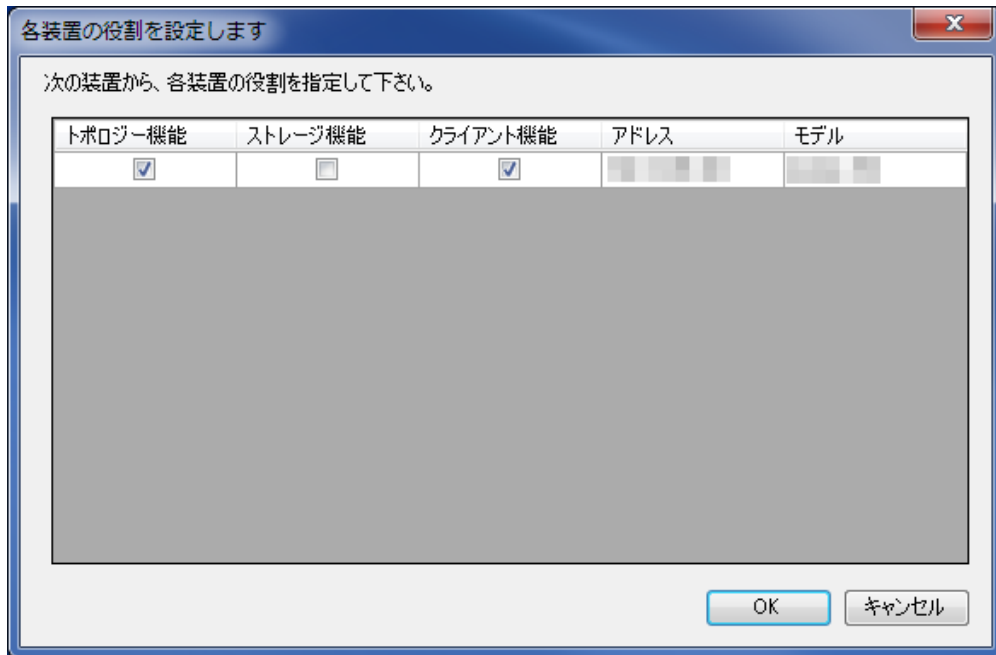
- 2 ユビキタスグループ情報を変更します。
  - ユビキタスグループ名を変更する場合は、「ユビキタスグループ名」を変更します。
  - ユビキタスグループから本体を削除する場合は、削除する本体のチェックボックスのチェックを外します。

- ユビキタスグループに本体を追加する場合は、追加する本体のチェックボックスをチェックします。



- 3 [OK] をクリックします。
- 4 必要に応じて、ユビキタスグループに登録する本体の役割（トポロジー/ストレージ/クライアント）を指定し、[OK] をクリックします。
  - 1つのユビキタスグループに、必ず1台のトポロジー機を設定する必要があります。
  - 1台の本体に対して、ストレージ機とクライアント機の両方の役割を設定することができます。
  - 1台の本体に対して、トポロジー機とクライアント機の両方の役割を設定できます。

- 1 台の本体に対して、トポロジー機とストレージ機の両方の役割を設定することはできません。

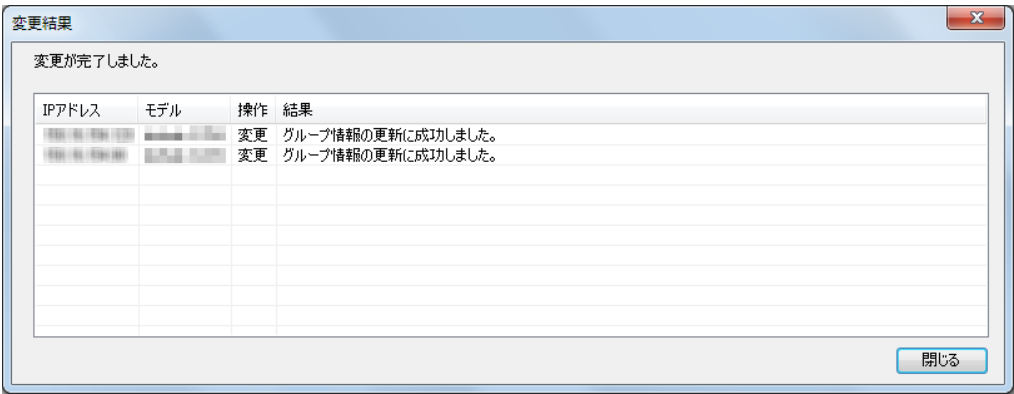


- 5 本体の管理者パスワード、OpenAPI ユーザー名とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。
- OpenAPI 認証のユーザー名とパスワードを利用しない場合は、OpenAPI のユーザー名およびパスワードを入力する必要はありません。



ユビキタスグループ構成が変更されます。完了すると変更結果画面が表示されます。

6 「閉じる」 をクリックします。



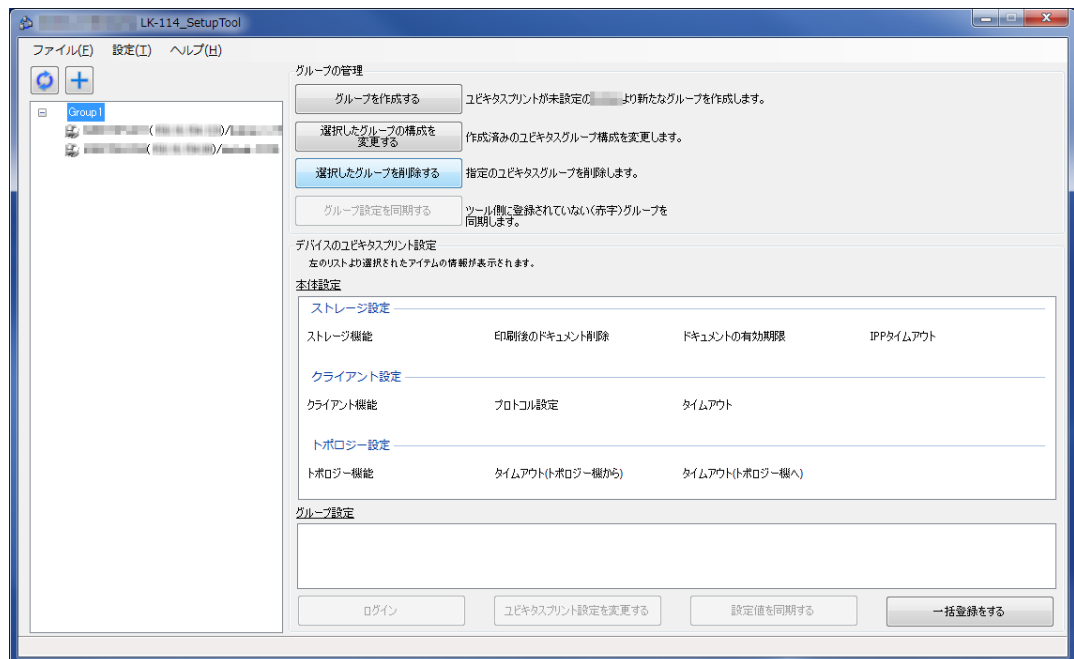


## 3.4 ユビキタスグループを削除する

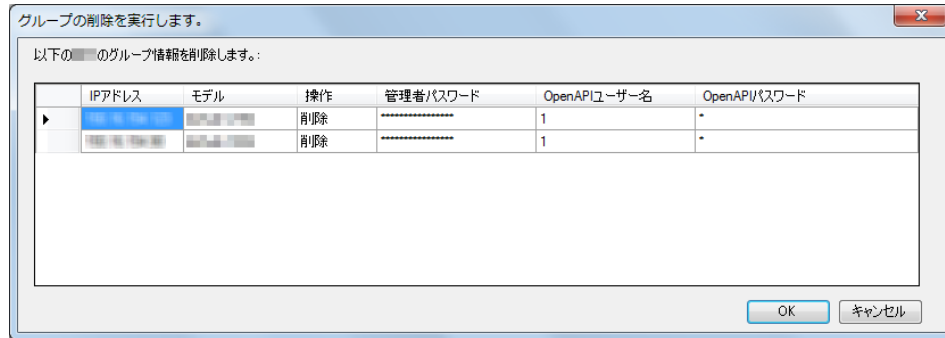
ユビキタスグループを削除します。

### ユビキタスグループ削除の手順

- 1 本体リストから削除するユビキタスグループ名を選択し、「選択したグループを削除する」をクリックします。
  - ユビキタスグループ名を選択すると、「選択したグループを削除する」のボタンが有効になります。

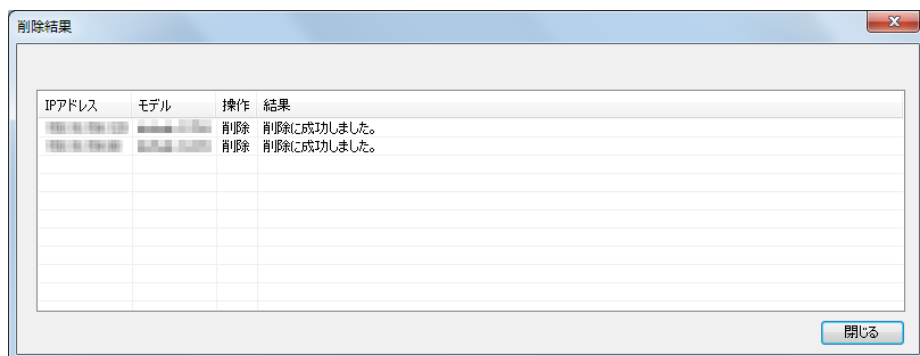


- 2 本体の管理者パスワード、および OpenAPI のユーザー名とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。
  - OpenAPI 認証のユーザー名とパスワードを利用しない場合は、OpenAPI のユーザー名およびパスワードを入力する必要はありません。



ユビキタスグループが削除されます。完了すると削除結果画面が表示されます。

- 3 [閉じる] をクリックします。



#### ひとつこと

LK-114\_SetupTool が保持しているグループ情報が削除されます。



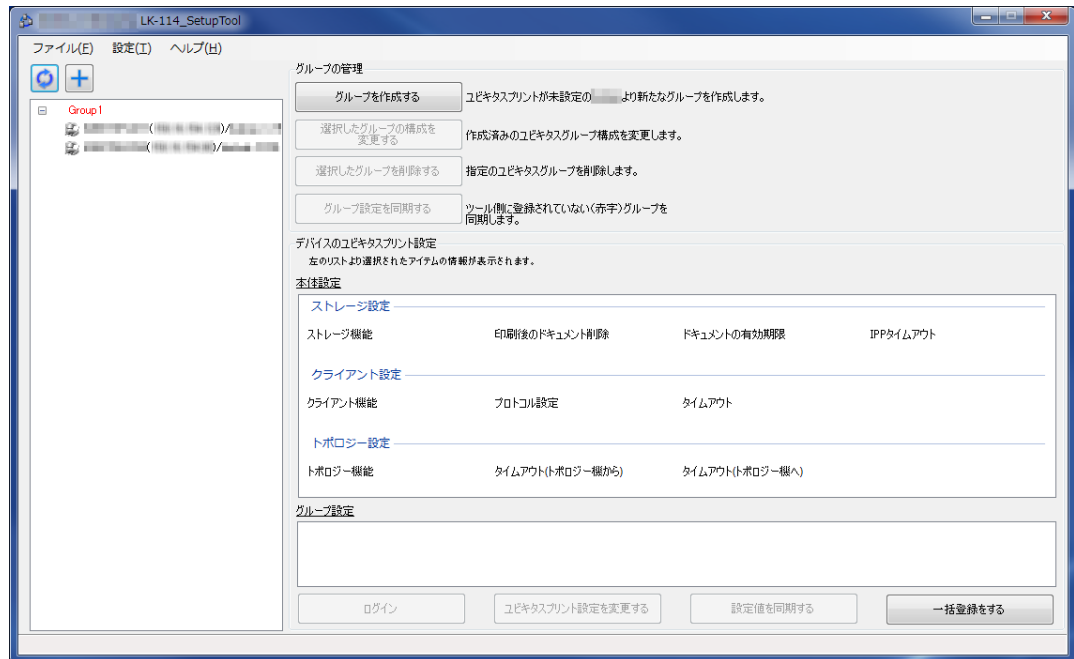
#### ひとつこと

ユビキタスグループを構成していたすべての本体が削除されなかった場合でも、グループ情報は LK-114\_SetupTool 上から削除され、本体リストからも削除されます。

## 3.5 ユビキタスグループ設定を同期する

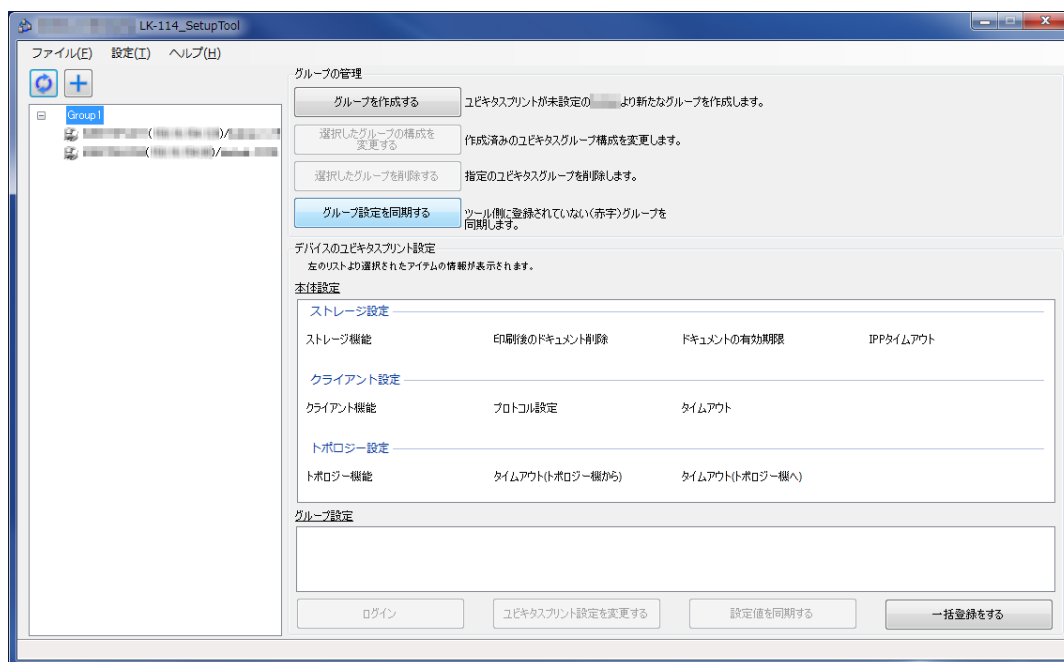
LK-114\_SetupTool 側に登録されていないユビキタスグループを同期します。

LK-114\_SetupTool の再起動や設定のインポートなどを行った場合に、LK-114\_SetupTool 側に登録されていないユビキタスグループがあると、そのユビキタスグループ名が赤字で表示されます。



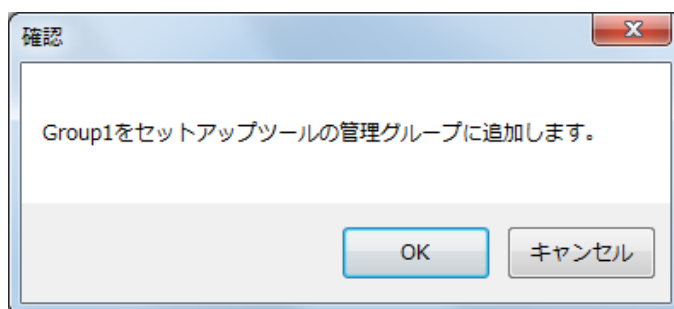
## ユビキタスグループ設定の同期手順

- 1 ユビキタスグループ設定を同期するユビキタスグループを選択し、  
[グループ設定を同期する] をクリックします。
  - 本体リストで、赤字になっているユビキタスグループを選択すると、[グループ設定を同期する] のボタンが有効になります。



確認画面が表示されます。

- 2 [OK] をクリックします。



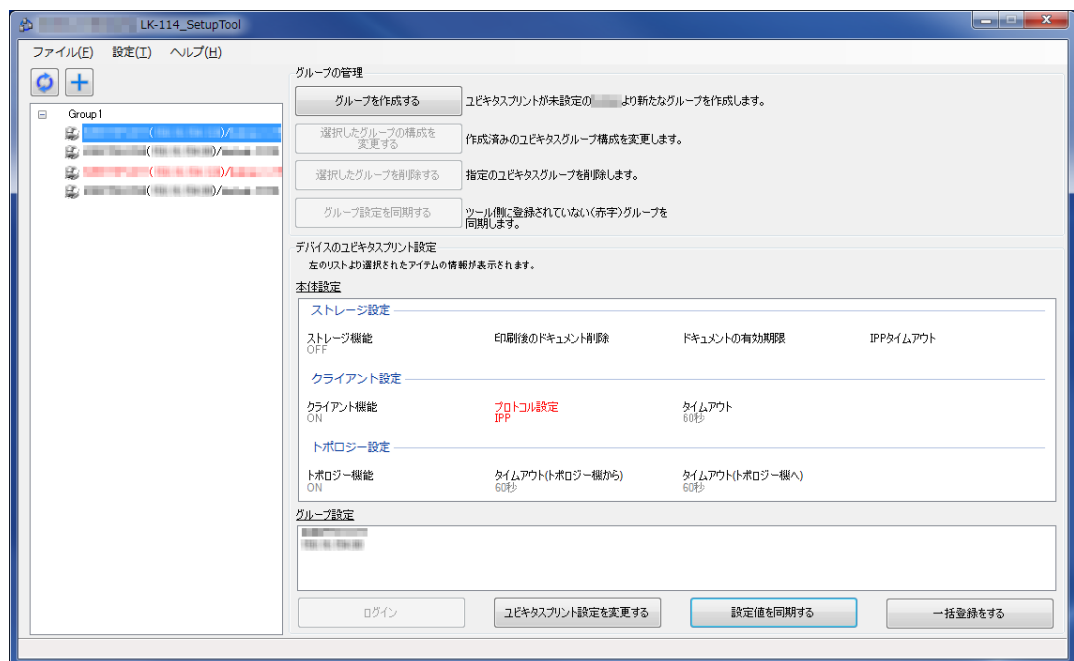
ユビキタスグループ設定が同期され、赤字で表示されていたユビキタスグループ名が黒字になります。

### 3.6 ユビキタスプリント設定の設定値を同期する

LK-114\_SetupTool 側と本体側のユビキタスプリント設定の設定値を同期します。

LK-114\_SetupTool の再起動や設定のインポートなどを行ったときに、LK-114\_SetupTool と違うユビキタスプリント設定の本体が見つかった場合、その本体は赤字で表示されます。

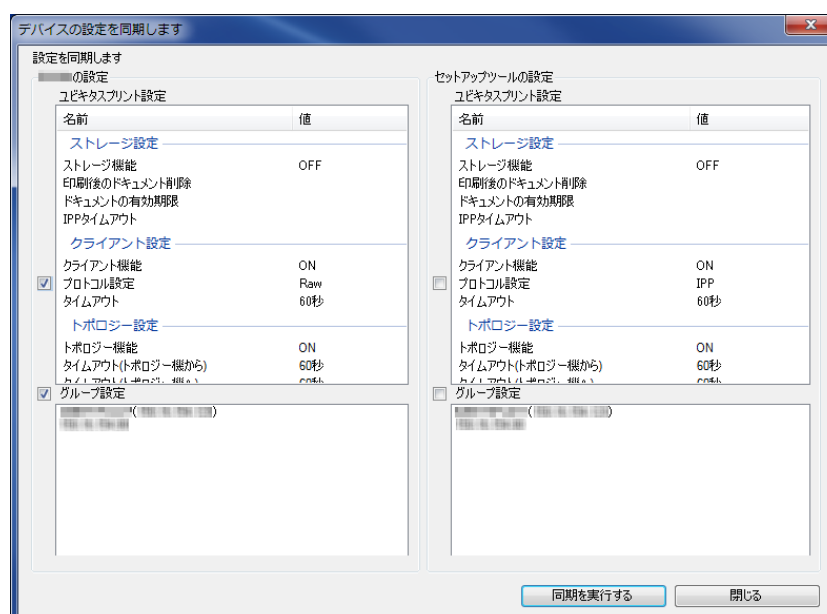
赤字の本体を選択すると、画面右側の「本体設定」および「グループ設定」に設定内容が表示されます。



項目		文字色	
本体リストに表示されている本体		赤	LK-114_SetupTool 側の設定と本体側の設定に違いがある本体を表します。
本体設定	ストレージ設定	赤	LK-114_SetupTool 側の設定と本体側の設定のうち、違いがある項目を表します。
	クライアント設定	赤	LK-114_SetupTool 側の設定と本体側の設定のうち、違いがある項目を表します。
	トポロジー設定	赤	LK-114_SetupTool 側の設定と本体側の設定のうち、違いがある項目を表します。
グループ設定		赤	LK-114_SetupTool 側でユビキタスグループ設定されているが、本体側では設定されていないことを表します。
		グレー	本体側でユビキタスグループ設定されているが、LK-114_SetupTool 側では設定されていないことを表します。

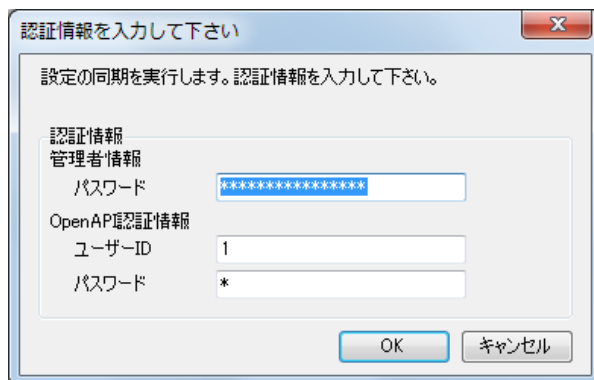
## ユビキタスプリント設定の同期手順

- 1 設定値を同期する本体を選択し、[設定値を同期する] をクリックします。
  - 本体リストで、赤字になっている本体を選択すると、[設定値を同期する] のボタンが有効になります。
- 2 [bizhub の設定] と [セットアップツールの設定] の内容を確認し、反映する設定値のチェックボックスをチェックします。
  - LK-114\_SetupTool 側と本体側とで設定値が異なる項目にチェックボックスが表示されます。



- 3 [同期を実行する] をクリックします。

- 4 [管理者情報] の [パスワード]、[OpenAPI 認証情報] の [ユーザー ID] と [パスワード] を入力し、[OK] をクリックします。
  - OpenAPI 認証のユーザー名とパスワードを利用しない場合は、OpenAPI のユーザー名およびパスワードを入力する必要はありません。



設定値の同期が開始されます。完了すると、完了画面が表示されます。

- 5 [OK] をクリックします。




#### ひとこと

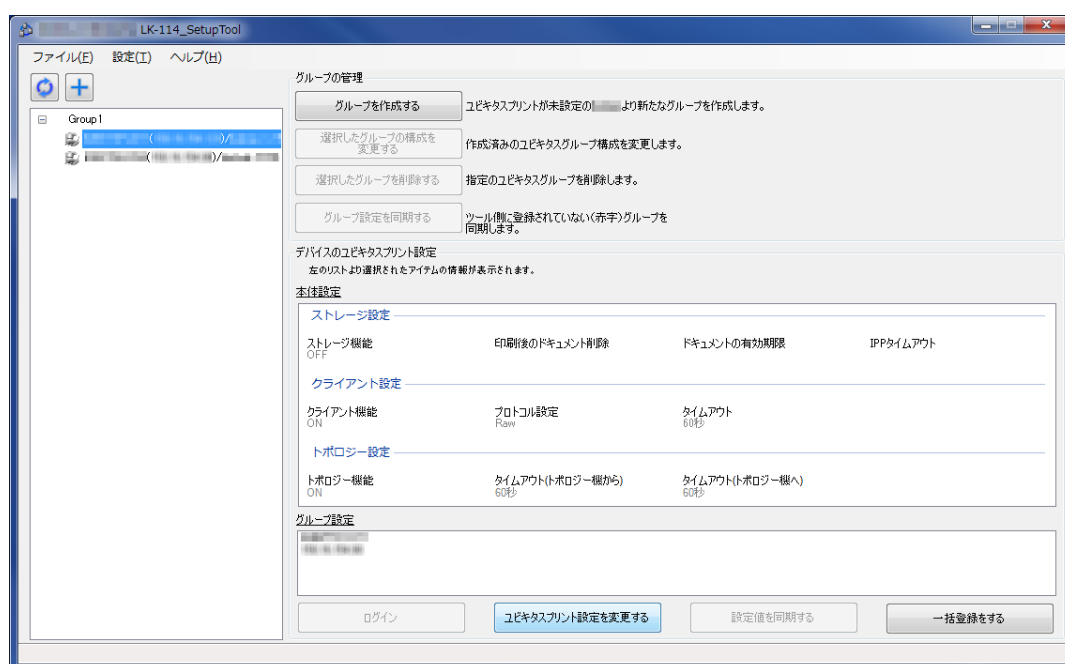
LK-114\_SetupTool と本体とで、トポロジー機能、ストレージ機能、クライアント機能の有効／無効の設定が一致していない場合は、「ユビキタスグループの構成を変更する」(p. 3-13) で各装置の機能を再設定してください。

## 3.7 ユビキタスプリントの設定を変更する

ユビキタスプリントの設定を変更します。

### ユビキタスプリント設定の変更手順

- 1 ユビキタスプリント設定を変更する本体を選択し、[ユビキタスプリント設定を変更する] をクリックします。
  - 本体を選択すると、[ユビキタスプリント設定を変更する] のボタンが有効になります。
  -  が付いている本体を選択した場合は、認証情報を入力する画面が表示されますので、認証情報を入力してください。





## 2 ユビキタスプリントの設定を変更します。

- 本体側から取得したユビキタスプリント設定が表示されています。必要に応じて設定を変更します。

## 3 [ログイン設定] でログイン情報を入力し、[OK] をクリックします。 ユビキタスプリント設定が変更されます。設定変更完了画面が表示されます。

## 4 [OK] をクリックします。



### ひとこと

ストレージ機能、クライアント機能、トポロジー機能の有効／無効を変更する場合は、「ユビキタスグループの構成を変更する」(p. 3-13)を実施してください。

### 3.8 本体の設定を一括で更新する

ユビキタスグループ設定ファイルをインポートして、複数の本体の設定を一括で更新します。

- 1 LK-114\_Editor for SetupTool を使用して、ユビキタスグループ設定ファイルを作成します。
  - 詳しくは、「ユビキタスグループ情報の設定ファイルをローカル環境で作成する」（p. 3-30）をごらんください。
- 2 「一括登録をする」をクリックします。  
ユビキタスグループ設定ファイルに登録されている本体の情報が表示されます。
- 3 内容を確認し、「OK」をクリックします。



一括登録が行われます。「変更結果」画面が表示されます。

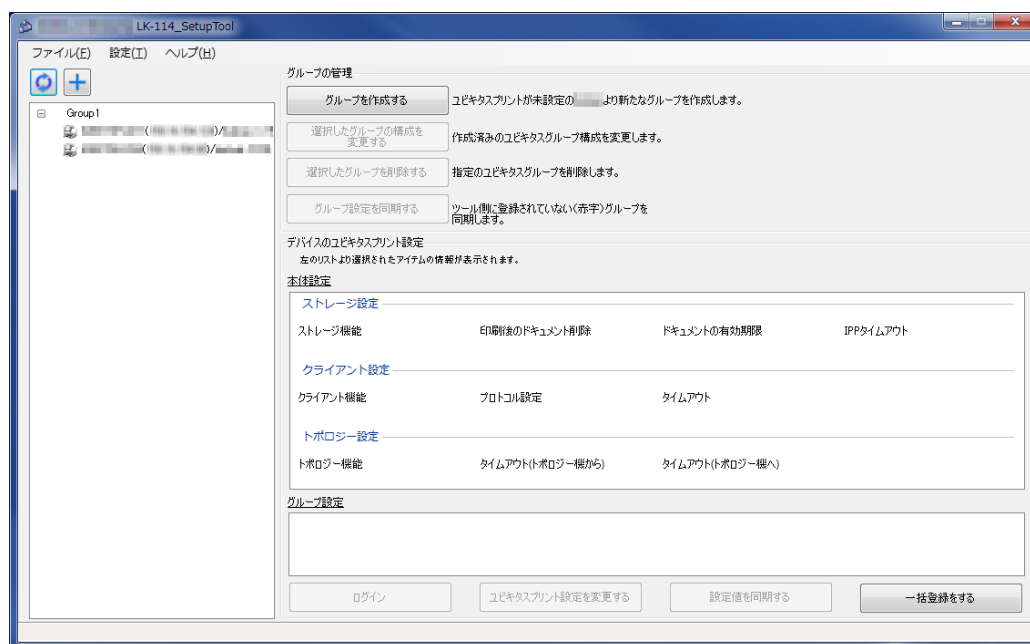
- 4 「閉じる」をクリックします。  
LK-114\_SetupTool の画面に一括更新した本体が表示されます。

## 3.9 電源 OFF の本体を管理する

電源 OFF の本体の管理を行います。

電源が OFF になっている本体は、グレーで表示されます。

また、OFF になっている本体は、ユビキタスプリントの設定や同期ができません。




### ユビキタスグループから本体を削除する

電源 OFF の本体をユビキタスグループから削除します。

- 1 グレー表示されている本体のユビキタスグループを選択し、[選択したグループの構成を変更する] をクリックします。
- 2 ユビキタスグループから電源 OFF の本体を削除します。
  - 操作手順について詳しくは、「ユビキタスグループの構成を変更する」(p. 3-13) をご覧ください。

### ユビキタスグループに本体を復帰させる

- 1 ユビキタスグループから削除した本体の電源を ON にします。
- 2  をクリックします。

削除されていた本体が検出され、どのユビキタスグループにも属していない本体として本体リストに表示されます。

また、OFF になっている本体は、ユビキタスプリントの設定や同期ができません。

## 3.10 ユビキタスグループ情報を管理する

ネットワークの環境ごとに設定ファイルを作成することで、複数のユビキタスグループ情報を管理できます。設定ファイルのファイル形式は、XMLです。

### ユビキタスグループ情報をインポートする

- 1 ツールバーの［ファイル］－［設定をインポート］を選択します。
- 2 インポート画面でインポートするファイル（xml）を選択し、［開く］をクリックします。

設定ファイルの情報が読み込まれ、画面に表示されます。



...

#### ひとつこと

インポートを実行する前に現在利用しているファイルで保存していない変更箇所がある場合や、ユビキタスグループ作成をしたがファイルをエクスポートしていない場合、インポート画面を開く前に保存確認のメッセージ画面が表示されます。

### ユビキタスグループ情報をエクスポートする

- 1 ツールバーの［ファイル］－［設定をエクスポート］を選択します。
- 2 エクスポート画面で保存するフォルダを指定してからファイル名を入力し、［保存］をクリックします。

現在の設定内容で設定ファイルが保存されます。



...

#### ひとつこと

設定ファイルを作成せずに LK-114\_SetupTool でユビキタスグループを作成した場合、保存確認のメッセージが表示されます。［OK］をクリックすると、エクスポートの画面が表示されます。

## ユビキタスグループ情報の設定ファイルを新規に作成する

- 1 ツールバーの［ファイル］－［新規作成］を選択します。
- 2 ユビキタスグループ管理ファイルの新規作成画面で保存するフォルダを指定してからファイル名を入力し、［保存］をクリックします。



...

### ひとこと

設定ファイル作成後は、ネットワーク上から設定済みのユビキタスグループ設定を検索時に自動的に検出し、初期ユビキタスグループ設定として作成した管理ファイルに保存します。

### 3.11 ユビキタスグループ情報の設定ファイルをローカル環境で作成する

ネットワーク上に本体が存在しないローカル環境で、ユビキタスグループを作成できます。

LK-114\_Editor for SetupTool を使用して、ユビキタスグループを構成する本体の IP アドレスなどの情報を設定し、ユビキタスグループの設定ファイルを作成します。

LK-114\_SetupTool で設定ファイルを読み込むと、ユビキタスグループを登録できます。

- ✓ LK-114\_Editor for SetupTool では、ユビキタスグループのトポロジ機の構成のみ設定できます。
- ✓ あらかじめ、ユビキタスグループに追加する本体の、IP アドレスまたはホスト名、管理者パスワード、OpenAPI ユーザー名、OpenAPI パスワードを確認してください。

- 1 LK-114\_SetupTool を使用して、ユビキタスグループ設定ファイルをエクスポートします。
  - 詳しくは、「ユビキタスグループ情報をエクスポートする」（p. 3-28）をごらんください。
- 2 [LK114EditorForSetupTool.exe] をダブルクリックし、LK-114\_Editor for SetupTool が起動します。
- 3 [インポートファイル読み込み] をクリックします。



- 4 ユビキタスグループ設定ファイルを選択し、[開く] をクリックします。  
ユビキタスグループ設定ファイルの情報が読み込まれます。

- 5 [装置設定情報] に、グループに追加したい本体の情報を入力します。
  - [ユビキタスグループ名]：本体を追加するユビキタスグループ名を入力します。半角 16 文字、全角 8 文字以内で入力してください。
  - [装置 IP アドレス / ホスト名]：本体の IP アドレスまたはホスト名を入力します。
  - [管理者パスワード]、[OpenAPI ユーザー名]、[OpenAPI パスワード]：本体の管理者パスワード、OpenAPI ユーザー名、OpenAPI パスワードを入力します。
- 6 本体をストレージ機として使用する場合は、[ストレージ機能] で [ON] を選択します。
  - [印刷後のドキュメント削除]：ストレージ機に蓄積されたプリントジョブが印刷された時点で、ジョブを自動的に削除するかどうかを設定します。
  - [ドキュメントの有効期限]：ストレージ機に蓄積されたプリントジョブのデータを自動的に削除するまでの時間を設定します。
  - [IPP タイムアウト (秒)]：IPP を使用して印刷するときのタイムアウト時間を設定します。
- 7 本体をクライアント機として使用する場合は、[クライアント機能] で [ON] を選択します。
  - [プロトコル設定]：ユビキタスプリントで使用するプロトコルを、[IPP] または [Raw] ポートから選択します。
  - [タイムアウト (秒)]：ストレージ機へ接続するときのタイムアウト時間を設定します。
- 8 本体をトポロジー機として使用する場合は、[トポロジー機能] で [ON] を選択します。
  - [タイムアウト (トポロジー機から) (秒)]：本体をトポロジー機として使用する場合に、トポロジー機からの通信のタイムアウト時間を設定します。
  - [タイムアウト (トポロジー機へ) (秒)]：本体をストレージ機やクライアント機として使用する場合に、トポロジー機への通信のタイムアウト時間を設定します。
- 9 [追加] をクリックします。  
 本体の情報が、画面下の一覧に表示されます。
- 10 すべての本体をグループに追加したら、[インポートファイル作成] をクリックします。
  - 保存先のフォルダーを指定して、ファイル名を入力します。  
 設定ファイルが作成されます。

## 11 LK-114\_SetupTool を起動して、設定ファイルを読み込みます。

- 設定ファイルを読み込む方法については、「ユビキタスグループ情報をインポートする」（p. 3-28）をごらんください。



...

### ひとつこと

すでに追加されている本体の設定情報を変更するには、一覧から本体を選択して、[装置設定情報] で設定を変更します。設定を変更したあと、[適用] をクリックします。



## 4 ユビキタスプリント設定をする（管理者用）

ユビキタスプリントの設定を、本体で行うことができます。



### ひとこと

ユビキタスプリントの設定を LK-114\_SetupTool で設定した場合は、本体でユビキタスプリントの設定を行う必要はありません。

複数のユビキタスグループを連携させる場合は、LK-114\_SetupTool から設定する必要があります。

ここでは、本体の操作パネルでユビキタスプリントの設定を行う手順について説明します。

### 4.1 ユビキタスプリント設定について

ユビキタスグループとして使用する本体の「設定メニュー」でユビキタスプリント設定を行います。




「ユビキタスプリント設定」で設定できる項目は以下のとおりです。

- プリントストレージ機能設定  
ストレージ機能の有効／無効を設定します。有効にすると、プリントジョブの取り扱いについても設定できます。詳しくは、「ユビキタスプリントのストレージ機能を設定する」（p. 4-2）をごらんください。
- クライアント機能設定  
クライアント機能の有効／無効を設定します。有効にすると、ストレージ機との接続に関する設定もできます。詳しくは、「ユビキタスプリントのクライアント機能を設定する」（p. 4-8）をごらんください。
- トポロジー機能設定  
トポロジー機能の有効／無効を設定します。有効にすると、有効にした本体がユビキタスグループの構成情報を管理できるようになります。詳しくは、「ユビキタスプリントのトポロジー機能を設定する」（p. 4-12）をごらんください。
- 参加グループ設定  
本体がストレージ機またはクライアント機の場合に、参加するユビキタスグループを設定します。詳しくは、「ユビキタスグループに参加する」（p. 4-18）をごらんください。
- グループ内状態一覧  
自機が参加するユビキタスグループに所属する、各本体の状態を確認できます。詳しくは、「ユビキタスグループの状態を確認する」（p. 4-20）をごらんください。

## 4.2 ユビキタスプリントのストレージ機能を設定する

ストレージ機能の設定を行います。ストレージ機能の設定を有効にすると、有効にした本体にユーザーのコンピューターから送信されたプリントジョブが蓄積できるようになります。

「プリントストレージ機能設定」で設定できる項目は以下のとおりです。

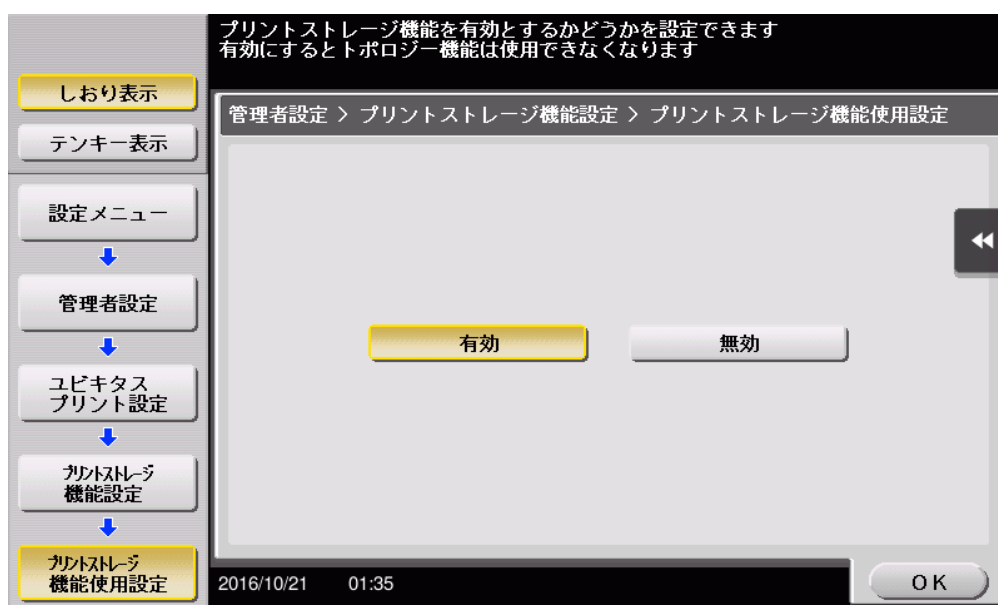
項目	内容
プリントストレージ機能使用設定	<p>ストレージ機能を「有効」または「無効」にします。</p> <p> ...</p> <p><b>ご注意</b> 認証方式の設定によっては、ストレージ機能を有効に設定できません。認証方式については「認証設定」（p. 2-2）をごらんください。</p> <p>認証方式の設定が解除または別の認証方式に変更された場合、この設定は強制的に「無効」になります。</p> <p>セキュリティ強化モードが「無効」の場合のみ設定できます。セキュリティ強化モードが「無効」から「有効」に変更された場合、本設定は強制的に「無効」になります。</p> <p>「有効」にすると、トポロジー機能は使用できなくなります。</p> <p>「有効」から「無効」に変更された場合、ストレージ機に蓄積されているプリントジョブのデータがすべて削除されます。</p>
印字後削除設定	<p>ストレージ機に蓄積されたプリントジョブが印刷された時点で、ジョブを自動的に削除するかどうかを設定します。</p> <p> ...</p> <p><b>ひとつこと</b> 本設定は、「プリントストレージ機能使用設定」が「有効」の場合、設定できます。</p>
文書削除時間設定	<p>ストレージ機に蓄積されたプリントジョブのデータを自動的に削除するまでの時間を設定します。</p> <p> ...</p> <p><b>ひとつこと</b> 本設定は、「プリントストレージ機能使用設定」が「有効」の場合、設定できます。</p>
全文書削除	<p>ストレージ機に蓄積されているプリントジョブのデータをすべて削除します。</p> <p>この項目は、ユビキタスプリントを実行するために必要な設定項目ではなく、手動で全文書を削除するための機能です。</p> <p>手順については、「文書を手動で削除する」（p. 4-7）をごらんください。</p>

### 4.2.1 ストレージ機能を有効にする

ユビキタスプリントのストレージ機能を有効にします。有効にすると、プリントジョブの取り扱いについても設定できます。

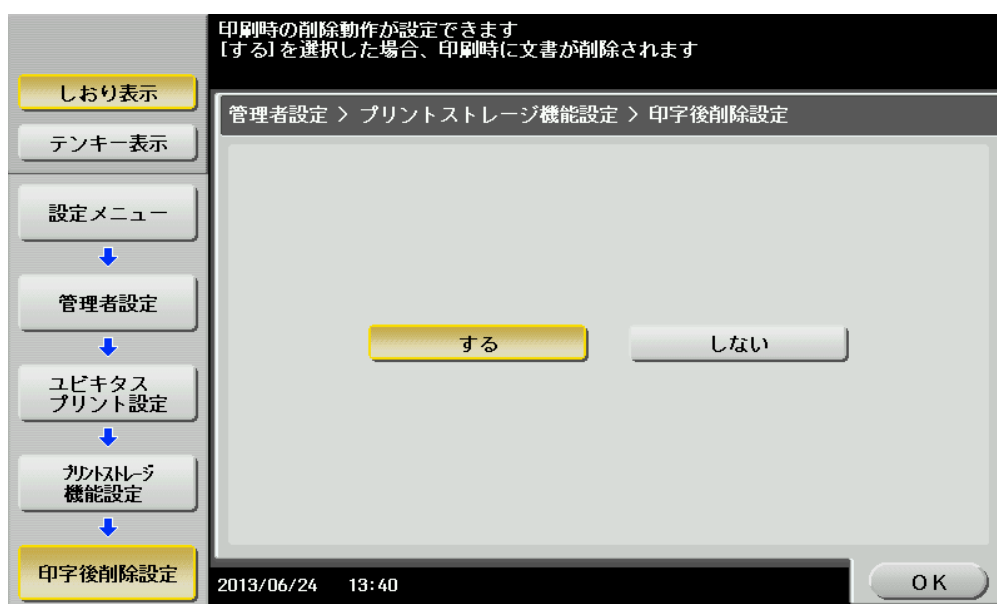
#### ストレージ機能を有効にする

- 1 [設定メニュー]－[管理者設定]－[システム連携]－[ユビキタスプリント設定]－[プリントストレージ機能設定]－[プリントストレージ機能使用設定] をタップします。
  - 管理者パスワード入力画面が表示されたら、管理者パスワードを入力してください。
- 2 [有効] を選択し、[OK] をタップします。



## 印字後削除設定をする

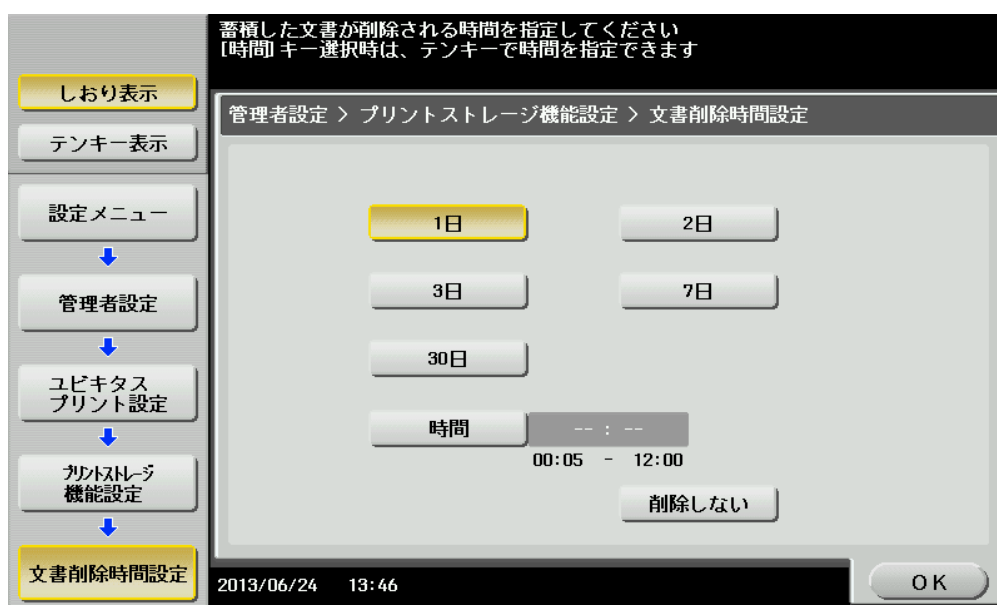
- 1 [設定メニュー]－[管理者設定]－[システム連携]－[ユビキタスプリント設定]－[プリントストレージ機能設定]－[印字後削除設定] をタップします。
  - 管理者パスワード入力画面が表示されたら、管理者パスワードを入力してください。
- 2 [する] または [しない] を選択します。
  - [する] を選択すると、プリントジョブが印刷された時点で文書が自動的に削除されます。
  - [しない] を選択すると、プリントジョブが印刷されても文書は削除されません。



- 3 [OK] をタップします。

## 文書削除時間設定をする

- 1 [設定メニュー]－[管理者設定]－[システム連携]－[ユビキタスプリント設定]－[プリントストレージ機能設定]－[文書削除時間設定] をタップします。
  - 管理者パスワード入力画面が表示されたら、管理者パスワードを入力してください。
- 2 自動的に削除されるまでの期間を設定します。
  - この設定は、蓄積された文書に対しての設定です。文書が印刷されなくても、ここで設定された内容に従って処理されます。
  - [時間] を選択すると、00:05～12:00 の間で1分単位で指定できます。
  - [削除しない] を選択すると、文書は削除されません。



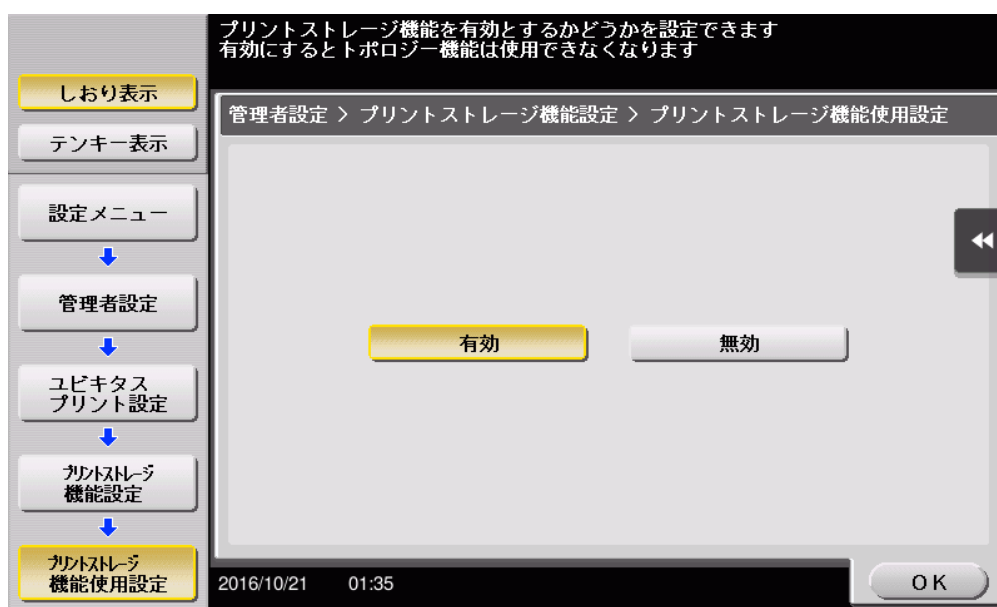
- 3 [OK] をタップします。

## 4.2.2 ストレージ機能を無効にする

ユビキタスプリントのストレージ機能を無効にします。無効にすると、ストレージ機に蓄積されているプリントジョブのデータがすべて削除されます。

### ストレージ機能を無効にする

- 1 [設定メニュー]－[管理者設定]－[システム連携]－[ユビキタスプリント設定]－[プリントストレージ機能設定]－[プリントストレージ機能使用設定] をタップします。
  - 管理者パスワード入力画面が表示されたら、管理者パスワードを入力してください。
- 2 [プリントストレージ機能使用設定] の[無効] をタップします。



- 3 [OK] をタップします。

全文書削除画面が表示されます。
- 4 [はい] を選択し、[OK] をタップします。
  - データ処理中は、本体の主電源をオフにしないでください。

全文書が削除されます。

## 4.3 文書を手動で削除する

ストレージ機に蓄積されているプリントジョブのデータすべてを手動で削除します。



### ご注意

「プリントストレージ機能使用設定」が「無効」の場合は、全文書の削除はできません。

### 文書を手動で削除する

- 1 「設定メニュー」－「管理者設定」－「システム連携」－「ユビキタスプリント設定」－「プリントストレージ機能設定」－「全文書削除」をタップします。
  - 管理者パスワード入力画面が表示されたら、管理者パスワードを入力してください。全文書削除画面が表示されます。
- 2 「はい」を選択し、「OK」をタップします。



すべての文書が削除されます。






### ご注意

データ処理中は、本体の主電源をオフにしないでください。

## 4.4 ユビキタスプリントのクライアント機能を設定する

クライアント機能の設定を行います。ユビキタスグループに参加している本体のクライアント機能の設定を有効にすると、有効にした本体からストレージ機に蓄積されたプリントジョブを印刷できるようになります。

〔クライアント機能設定〕で設定できる項目は以下のとおりです。

項目	内容
クライアント機能使用設定	<p>クライアント機能を〔有効〕または〔無効〕にします。</p> <p> ...</p> <p><b>ご注意</b> 本設定は、セキュリティ強化モードが〔無効〕の場合、設定できます。セキュリティ強化モードが〔無効〕から〔有効〕に変更された場合、この設定は強制的に〔無効〕になります。</p>
プロトコル設定	<p>ユビキタスプリントで使用するプロトコルを設定します。〔IPP〕または〔RAW ポート〕を選択できます。</p> <p> ...</p> <p><b>ひとつこと</b> 本設定は、〔クライアント機能使用設定〕が〔有効〕の場合、設定できます。</p> <p>本設定は、IPP 設定が〔使用する〕の場合、〔IPP〕に設定できます。</p>
接続タイムアウト設定	<p>ストレージ機へ接続するときのタイムアウト時間を設定します。</p> <p> ...</p> <p><b>ひとつこと</b> 本設定は、〔クライアント機能使用設定〕が〔有効〕の場合、設定できます。</p>

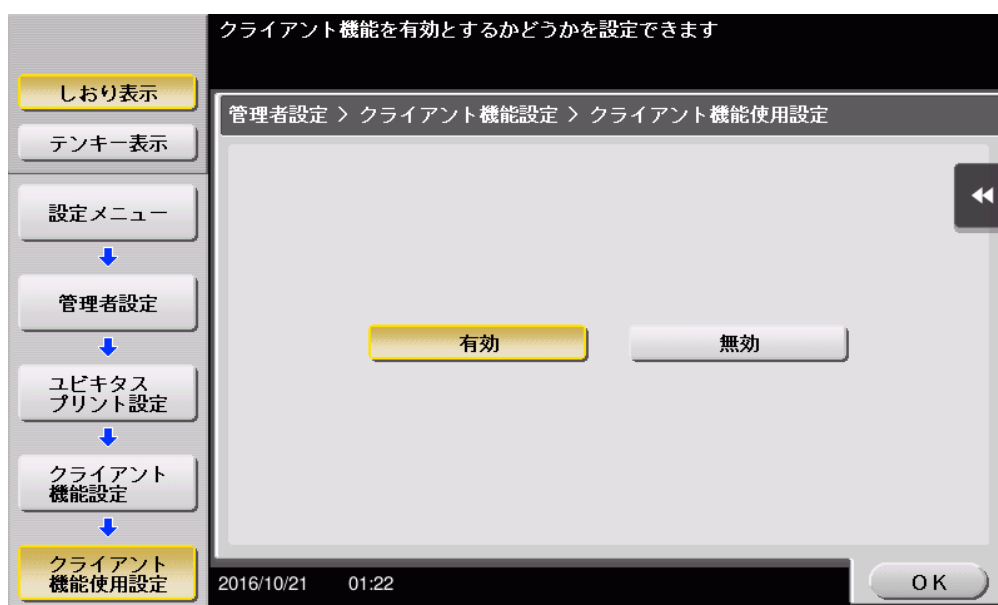


### 4.4.1 クライアント機能を有効にする

ユビキタスプリントのクライアント機能を有効にします。有効にすると、ストレージ機との接続に関する設定ができます。

#### クライアント機能を有効にする

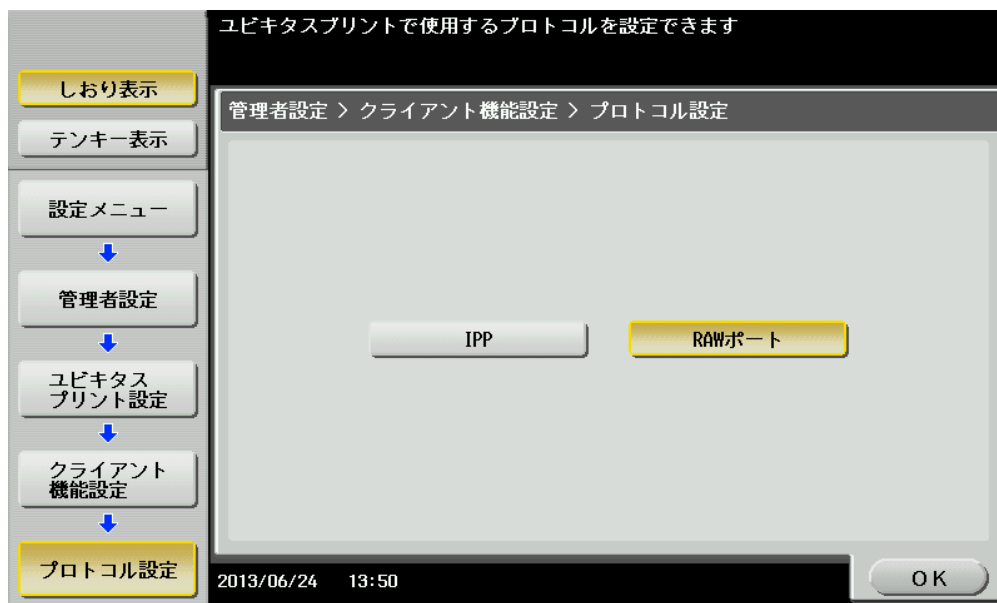
- 1 [設定メニュー]－[管理者設定]－[システム連携]－[ユビキタスプリント設定]－[クライアント機能設定]－[クライアント機能使用設定] をタップします。
  - 管理者パスワード入力画面が表示されたら、管理者パスワードを入力してください。
- 2 [有効] を選択し、[OK] をタップします。



#### プロトコルを設定する

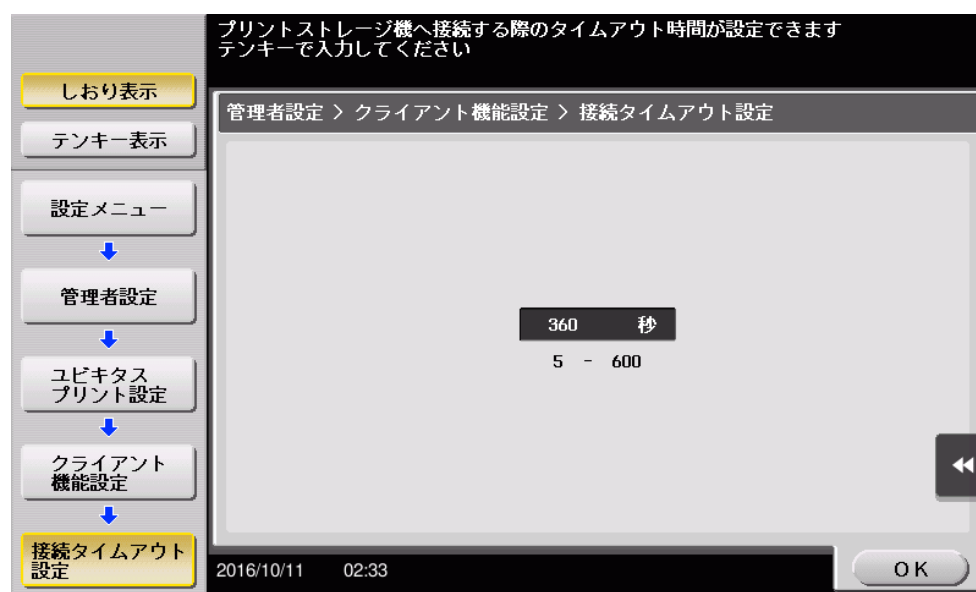
- 1 [設定メニュー]－[管理者設定]－[システム連携]－[ユビキタスプリント設定]－[クライアント機能設定]－[プロトコル設定] をタップします。
  - 管理者パスワード入力画面が表示されたら、管理者パスワードを入力してください。

- 2 [IPP] または [RAW ポート] を選択し、[OK] をタップします。



## 接続タイムアウト時間を設定する

- 1 [設定メニュー] - [管理者設定] - [システム連携] - [ユビキタスプリント設定] - [クライアント機能設定] - [接続タイムアウト設定] をタップします。
  - 管理者パスワード入力画面が表示されたら、管理者パスワードを入力してください。
- 2 ストレージ機へ接続するときのタイムアウトするまでの時間を設定します。
  - 5 ～ 600 の間で 1 秒単位で指定できます。



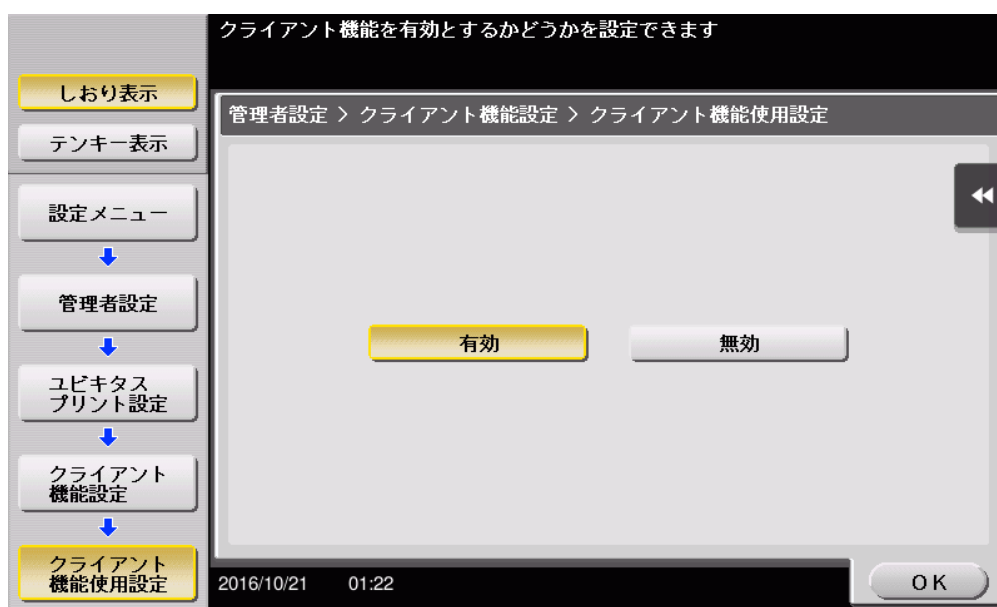
- 3 [OK] をタップします。

## 4.4.2 クライアント機能を無効にする

ユビキタスプリントのクライアント機能を無効にします。無効にすると、この本体からストレージ機に蓄積されたプリントジョブの印刷ができなくなります。

### クライアント機能を無効にする





- 1 [設定メニュー]－[管理者設定]－[システム連携]－[ユビキタスプリント設定]－[クライアント機能設定]－[クライアント機能使用設定] をタップします。
  - 管理者パスワード入力画面が表示されたら、管理者パスワードを入力してください。
- 2 [無効] を選択し、[OK] をタップします。



## 4.5 ユビキタスプリントのトポロジー機能を設定する

トポロジー機能の設定を行います。トポロジー機能の設定を有効にすると、有効にした本体が参加するユビキタスグループの情報を他のユビキタスグループに送付し、他のユビキタスグループからの情報を受け取ることで、ユビキタスグループ間の情報を共有します。

〔トポロジー機能設定〕で設定できる項目は以下のとおりです。

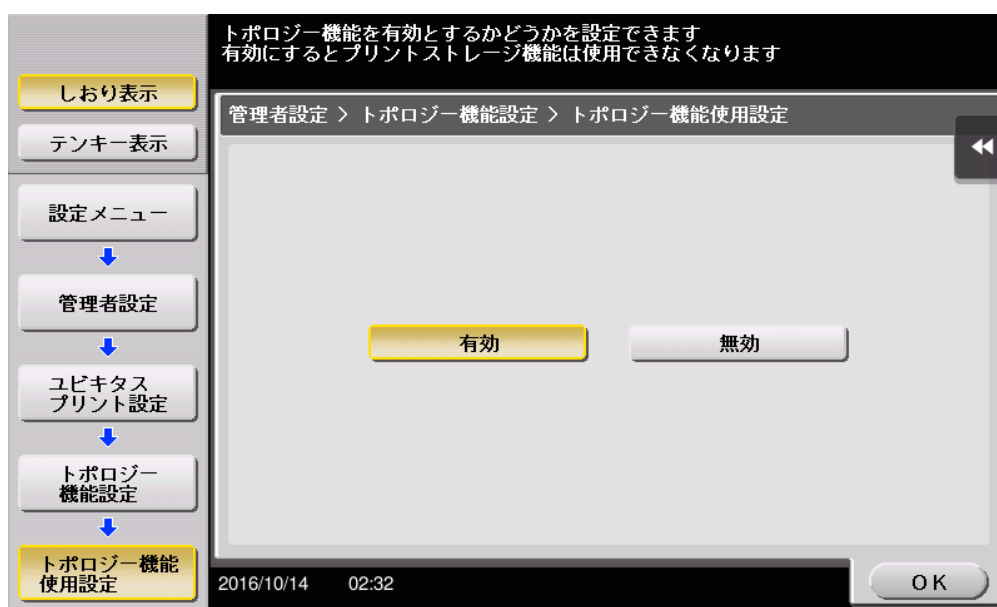
項目	内容
トポロジー機能使用設定	<p>トポロジー機能を〔有効〕または〔無効〕にします。</p> <p> ...</p> <p><b>ご注意</b> 本設定は、セキュリティ強化モードが〔無効〕の場合、設定できます。セキュリティ強化モードが〔無効〕から〔有効〕に変更された場合、この設定は強制的に〔無効〕になります。</p> <p>〔有効〕にすると、ストレージ機能は使用できなくなります。</p>
ユビキタスグループ設定	<p>トポロジー機が参加するユビキタスグループの名前を設定します。 ユビキタスグループ名は半角 16 文字、全角 8 文字以内で入力してください。</p> <p> ...</p> <p><b>ひとつこと</b> 本設定は、〔トポロジー機能使用設定〕が〔有効〕の場合に設定できます。</p>
接続タイムアウト設定	<p>トポロジー機から他の本体へ問い合わせするときの、タイムアウト時間を設定します。</p> <p> ...</p> <p><b>ひとつこと</b> 本設定は、〔トポロジー機能使用設定〕が〔有効〕の場合に設定できます。</p>
ユビキタスグループ再構築	<p>トポロジー機が参加するユビキタスグループの構成リストを再構築します。</p> <p> ...</p> <p><b>ひとつこと</b> 本設定は、〔トポロジー機能使用設定〕が〔有効〕の場合に設定できます。</p>

### 4.5.1 トポロジー機能を有効にする

ユビキタスプリントのトポロジー機能を有効にします。有効にすると、有効にした本体がユビキタスグループの構成情報を管理できるようになります。

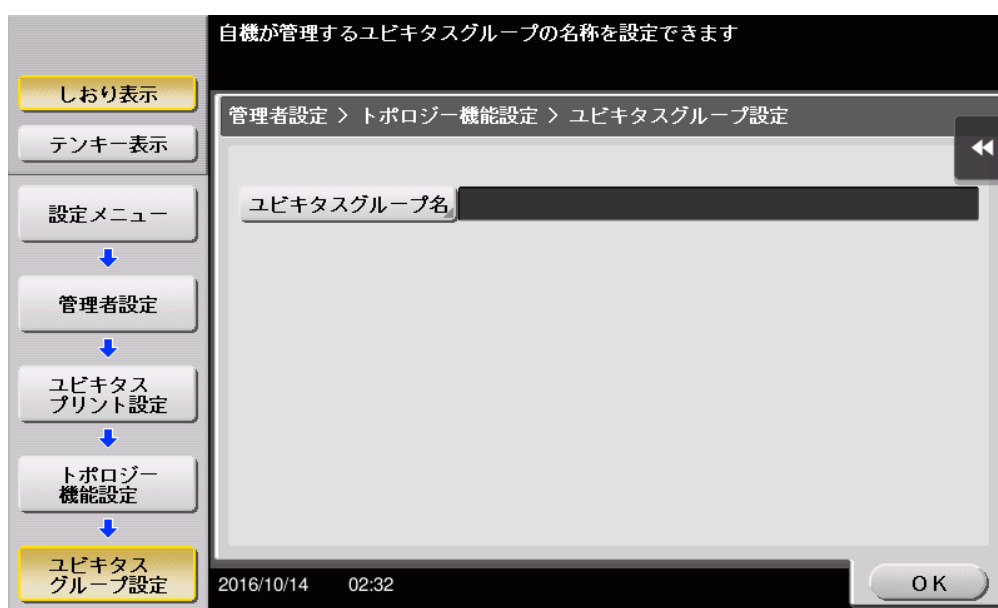
#### トポロジー機能を有効にする

- 1 [設定メニュー]－[管理者設定]－[システム連携]－[ユビキタスプリント設定]－[トポロジー機能設定]－[トポロジー機能使用設定] をタップします。
  - 管理者パスワード入力画面が表示されたら、管理者パスワードを入力してください。
- 2 [有効] を選択し、[OK] をタップします。



## ユビキタスグループ名を設定する

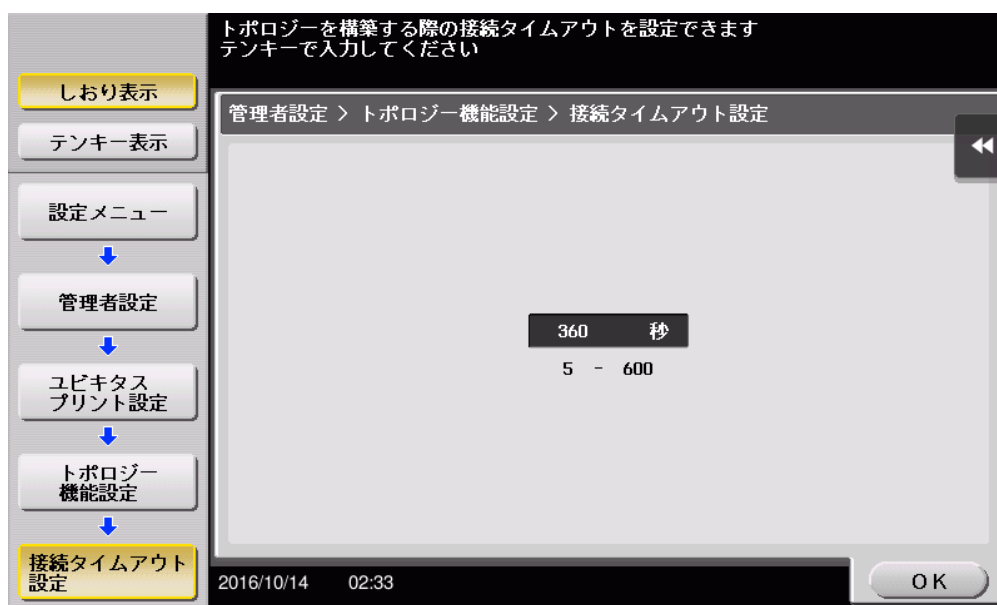
- 1 [設定メニュー]－[管理者設定]－[システム連携]－[ユビキタスプリント設定]－[トポロジー機能設定]－[ユビキタスグループ設定] をタップします。
  - 管理者パスワード入力画面が表示されたら、管理者パスワードを入力してください。
- 2 [ユビキタスグループ名] をタップし、ユビキタスグループ名を入力します。
  - ユビキタスグループ名は半角 16 文字、全角 8 文字以内で入力してください。



- 3 [OK] をタップします。

## 接続タイムアウト時間を設定する

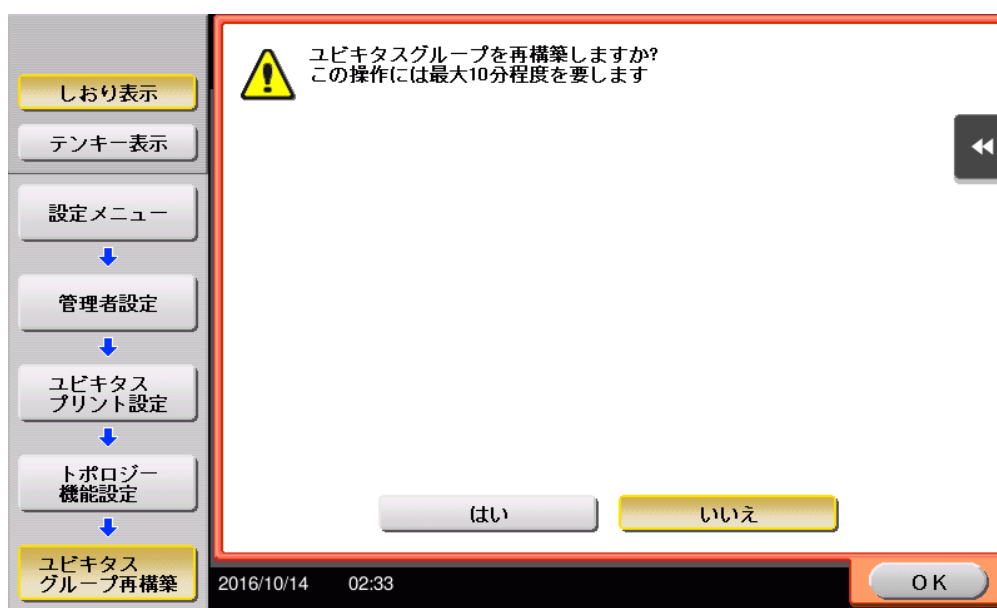
- 1 [設定メニュー]－[管理者設定]－[システム連携]－[ユビキタスプリント設定]－[トポロジー機能設定]－[接続タイムアウト設定] をタップします。
  - 管理者パスワード入力画面が表示されたら、管理者パスワードを入力してください。
- 2 トポロジー機から他の本体へ問い合わせするときの、タイムアウト時間を設定します。
  - 5 ～ 600 の間で 1 秒単位で指定できます。



- 3 [OK] をタップします。

## ユビキタスグループを再構築する

- 1 [設定メニュー]－[管理者設定]－[システム連携]－[ユビキタスプリント設定]－[トポロジー機能設定]－[ユビキタスグループ再構築] をタップします。
  - 管理者パスワード入力画面が表示されたら、管理者パスワードを入力してください。ユビキタスグループ再構築画面が表示されます。
- 2 [はい] を選択し、[OK] をタップします。



## ご注意

ユビキタスグループ再構築中は、本体の主電源をオフにしないでください。

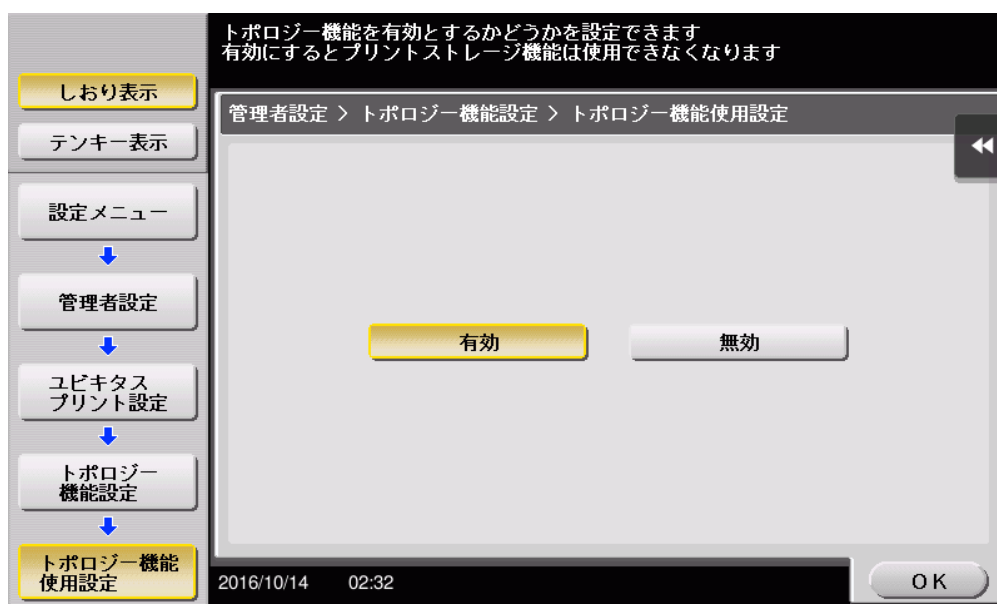


## 4.5.2 トポロジー機能を無効にする

ユビキタスプリントのトポロジー機能を無効にします。無効にすると、この本体がユビキタスグループの構成情報を管理できなくなります。

### トポロジー機能を無効にする

- 1 [設定メニュー]－[管理者設定]－[システム連携]－[ユビキタスプリント設定]－[トポロジー機能設定]－[トポロジー機能使用設定] をタップします。
  - 管理者パスワード入力画面が表示されたら、管理者パスワードを入力してください。
- 2 [無効] を選択し、[OK] をタップします。



## 4.6 ユビキタスグループに参加する

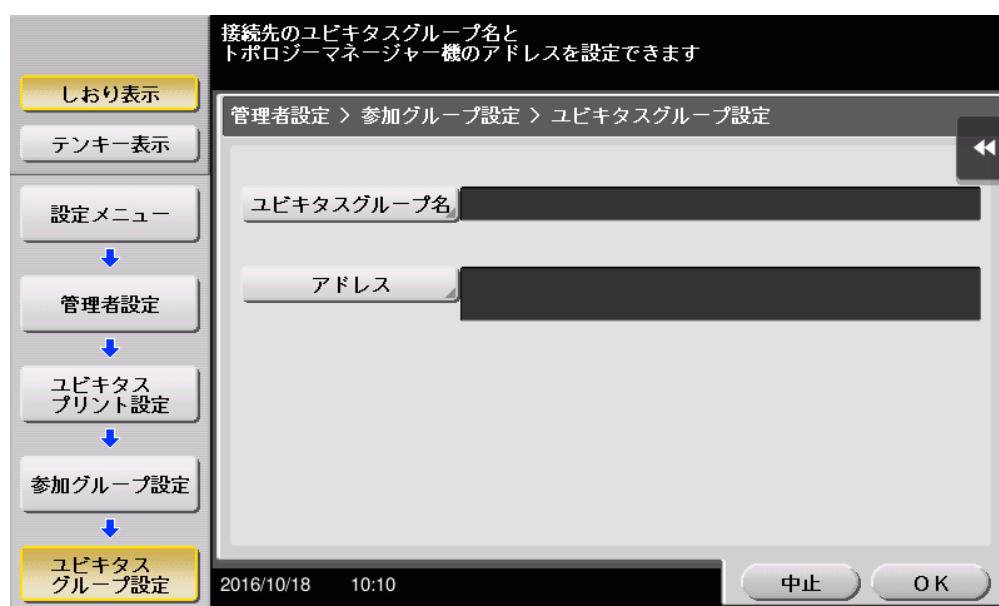
本体がストレージ機またはクライアント機の場合に、参加するユビキタスグループを設定します。

〔参加グループ設定〕で設定できる項目は以下のとおりです。

項目	内容
ユビキタスグループ設定	<p>本体が参加するユビキタスグループを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〔ユビキタスグループ名〕：ユビキタスグループの名前を入力します。</li> <li>・〔アドレス〕：ユビキタスグループのトポロジー機の IP アドレスまたはホスト名を入力します。</li> </ul>
接続タイムアウト設定	<p>本体が参加するユビキタスグループのトポロジー機へ問い合わせるときの、タイムアウト時間を設定します。</p>

### 接続先のグループを設定する

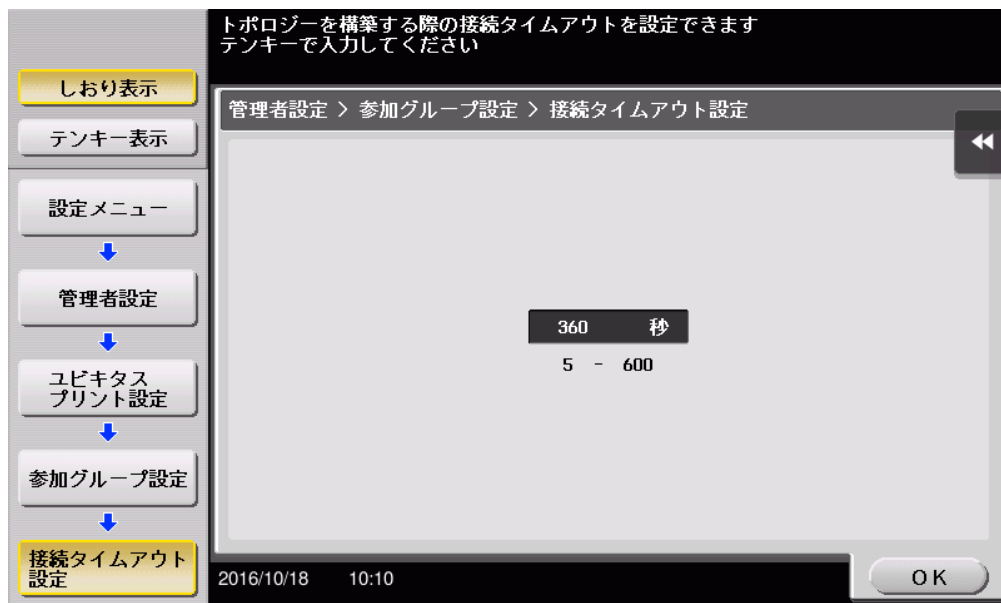
- 1 〔設定メニュー〕－〔管理者設定〕－〔システム連携〕－〔ユビキタスプリント設定〕－〔参加グループ設定〕－〔ユビキタスグループ設定〕をタップします。



- 2 〔ユビキタスグループ名〕をタップし、本体が参加するユビキタスグループ名を入力します。
- 3 〔アドレス〕をタップし、トポロジー機の IP アドレスまたはホスト名を設定します。
- 4 〔OK〕をタップします。

## 接続タイムアウト時間を設定する

- 1 [設定メニュー]－[管理者設定]－[システム連携]－[ユビキタスプリント設定]－[参加グループ設定]－[接続タイムアウト設定] をタップします。
  - 管理者パスワード入力画面が表示されたら、管理者パスワードを入力してください。
- 2 トポロジー機へ問い合わせするときの、タイムアウト時間を設定します。
  - 5 ～ 600 の間で 1 秒単位で指定できます。



- 3 [OK] をタップします。

## 4.7 ユビキタスグループの状態を確認する

自機が参加するユビキタスグループに所属する、各本体の状態を確認できます。

〔設定メニュー〕－〔管理者設定〕－〔システム連携〕－〔ユビキタスプリント設定〕－〔グループ内状態一覧〕をタップすると、グループ内の本体のアドレスと接続状態が一覧表示されます。

詳細な内容を確認するには、一覧で本体を選び、〔詳細〕をタップします。

### 4.8 他のユビキタスグループと連携する

他のユビキタスグループと連携する場合に、トポロジー機の PageScope Web Connection にアクセスして設定することができます。

連携するユビキタスグループの設定は、PageScope Web Connection の管理者モードの [環境設定] - [ユビキタスプリント設定] - [トポロジー機能設定]で行います。

項目	内容
トポロジーグループ設定	連携するユビキタスグループを設定します。 [グループ 1] のドロップダウンリストに、自機（トポロジー機）のホスト名、IPv4 アドレス、IPv6 アドレスが表示されます。 [グループ 2] ~ [グループ 10] に、連携するユビキタスグループのトポロジー機の IP アドレスまたはホスト名を入力します。ホスト名を入力する場合は [ホスト名入力時はチェックを ON にする] にチェックをつけます。

## 5 トップメニューにショートカットキーを追加する（管理者用）

### 5.1 トップメニューにショートカットキーを追加する

ユビキタスグループに設定した本体のトップメニューにユビキタスプリントのショートカットキーを配置します。

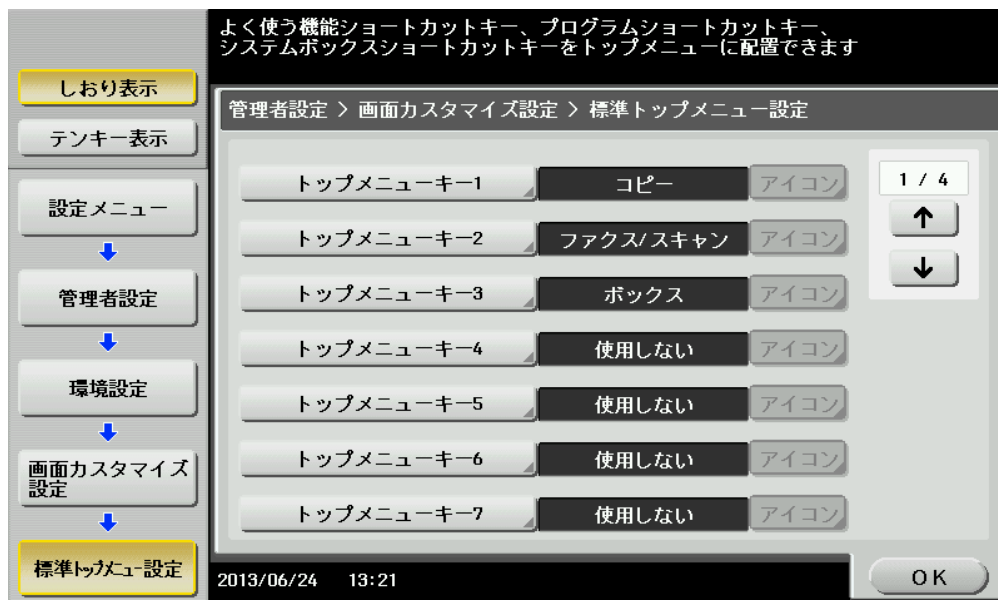


#### ご注意

ユビキタスプリント設定のクライアント機能が有効になっていないと、本設定はできません。

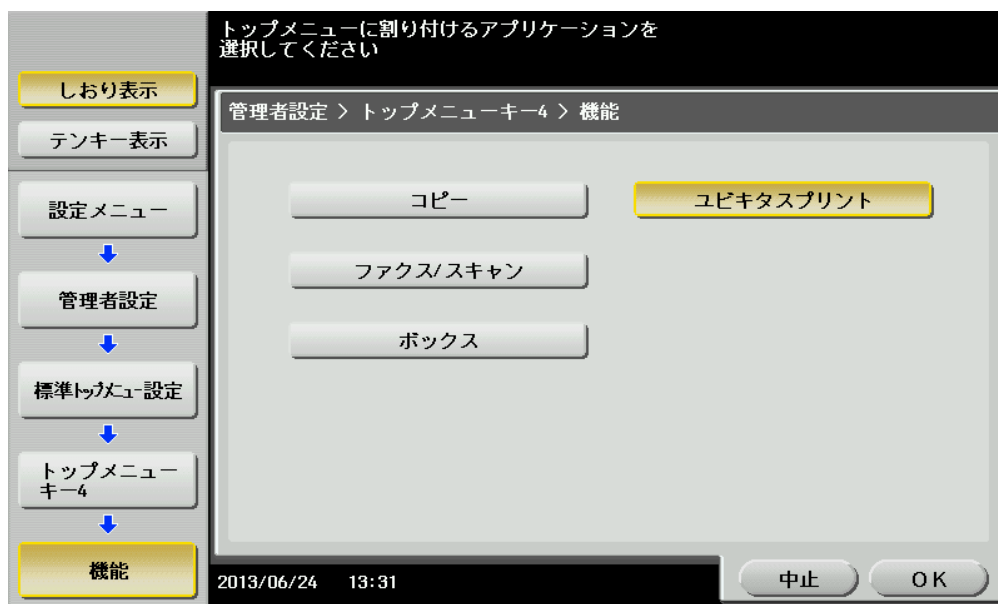
#### ショートカットキーの追加手順

- 1 [設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] - [画面カスタマイズ設定] - [標準トップメニュー設定] をタップします。
  - 管理者パスワード入力画面が表示されたら、管理者パスワードを入力してください。
- 2 使用されていない [トップメニューキー] を選択します。



- 3 [使用する] を選択し、[機能] をタップします。

#### 4 「ユビキタスプリント」を選択し、「OK」をタップします。



ショートカットキーを追加すると、トップメニューに「ユビキタスプリント」のショートカットキーが表示されます。

## 6 プリンタードライバーと LK-114\_ManagerPort のインストール

ユーザーのコンピュータでユビキタスプリント機能を利用するためには、使用する本体に対応したプリンタードライバーと LK-114\_ManagerPort をインストールすることが必要になります。

インストール順序は以下のとおりです。

1. LK-114\_ManagerPort
2. プリンタードライバー

ユーザーのコンピュータに管理者権限がある場合

- プリンタードライバーと LK-114\_ManagerPort を、ユーザーのコンピュータに配布し [Setup.exe] からインストールしてください。LK-114\_ManagerPort は、[LK-114\_InstallerCreateTool] > [InstForm] フォルダー内に含まれています。

ユーザーのコンピュータに管理者権限がない場合

- 管理者権限がなくてもインストールが実行できる LK-114\_InstallTool を作成し、ユーザーに配布します。LK-114\_InstallTool は、LK-114\_InstallerCreateTool を使用して作成します。また、プリンタードライバーや LK-114\_ManagerPort の設定を自動で行うように設定することもできます。LK-114\_InstallTool の作成について詳しくは、「LK-114\_InstallTool の作成（管理者用）」(p. 6-2) をご覧ください。



## 6.1 LK-114\_InstallTool の作成（管理者用）

ここでは LK-114\_InstallTool の作成手順について説明します。  
LK-114\_InstallTool を利用して、管理者権限のないユーザーのコンピューターに、プリンタードライバーおよび LK-114\_ManagerPort をインストールする手順について詳しくは「LK-114\_InstallTool からの手動インストール」(p. 6-15) をごらんください。

### 6.1.1 LK-114\_InstallerCreateTool について

LK-114\_InstallerCreateTool は、ユーザーのコンピューターに配布する LK-114\_InstallTool を作成するツールです。配布された LK-114\_InstallTool を使用することで、ユーザーのコンピューターでコピキタスプリント機能を利用できるように設定できます。

LK-114\_InstallerCreateTool を使用すると、プリンタードライバーと LK-114\_ManagerPort のインストーラー、およびその設定ファイルを、LK-114\_InstallTool として 1 つのパッケージにまとめることができます。このとき、ユーザーのコンピューターに管理者権限がない場合でもインストールができるように、管理者のユーザー ID やパスワードなどの認証情報を LK-114\_InstallTool に埋め込むことができます。

あらかじめ LK-114\_InstallerCreateTool を準備し、任意のフォルダーにコピーしてください。

### 6.1.2 事前準備

LK-114\_InstallerCreateTool で LK-114\_InstallTool を作成するには、事前にプリンタードライバーセットアップファイルを準備します。

プリンタードライバーセットアップファイルは、管理者 ID、ドメイン、パスワードを埋め込んだプリンタードライバーです。

プリンタードライバーセットアップファイルを作成する前に、以下のことを確認してください。

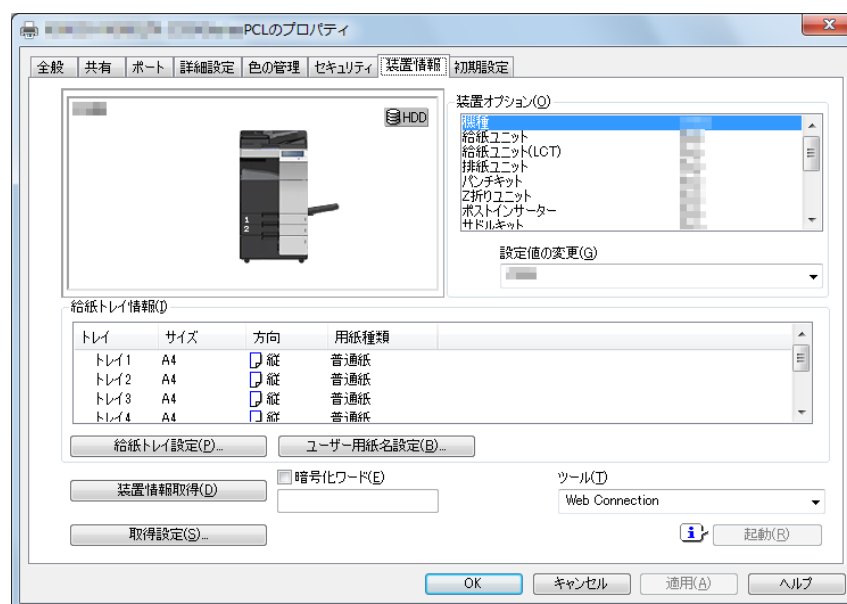
- Driver Packaging Utility を使用する前に、プリンタードライバーセットアップファイルに使用するプリンタードライバーを、コンピューターにインストールしてください。プリンタードライバーのインストール手順は、本体のユーザーガイド「プリンター機能編」をごらんください。
- プリンタードライバーセットアップファイルの作成には Driver Packaging Utility を使用します。あらかじめ Driver Packaging Utility を準備し、任意のフォルダーにコピーしてください。
- プリンタードライバーセットアップファイル作成時、管理者権限を持つユーザーのユーザー名、ドメイン、パスワードが必要になりますので、確認してください。

作成手順について詳しくは「Driver Packaging Utility を使用したプリンタードライバーセットアップファイルの作成」(p. 6-3) をごらんください。

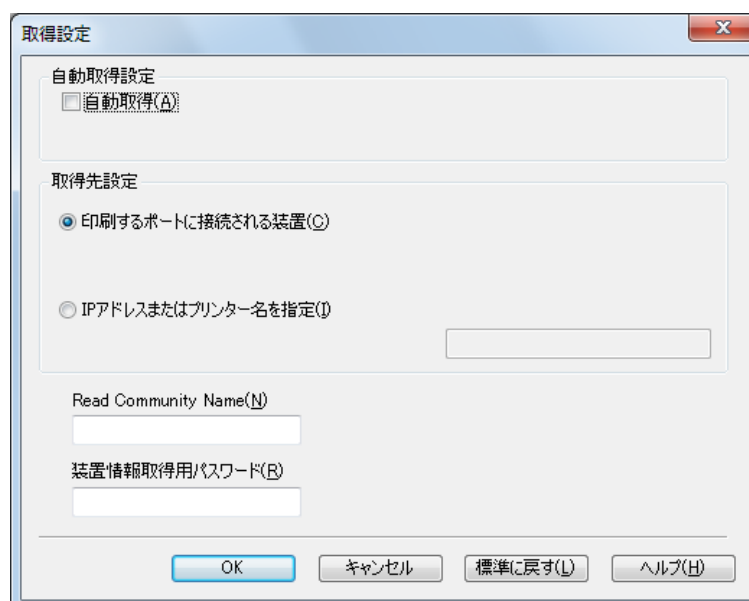
## Driver Packaging Utility を使用したプリンタードライバーセットアップファイルの作成

ここでは Windows 7 の場合で説明します。

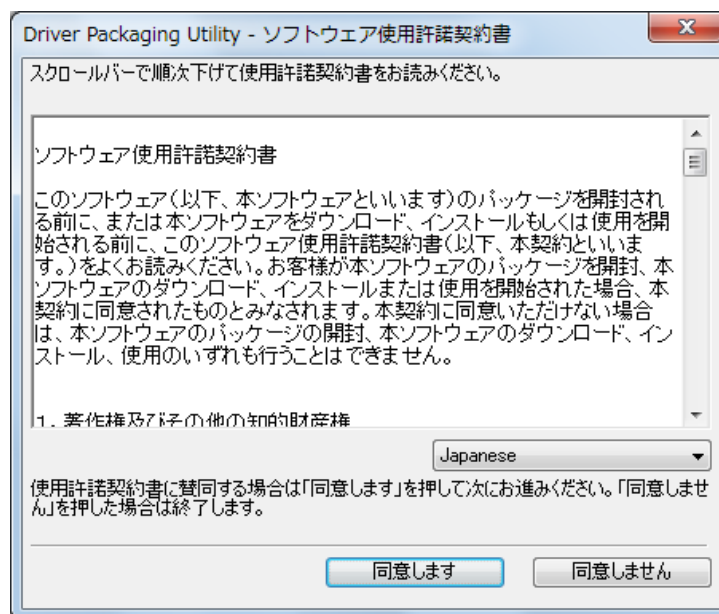
- 1 [コントロールパネル] - [デバイスとプリンター] を選択します。
- 2 使用するプリンターを右クリックし、[プリンターのプロパティ] を選択します。
- 3 [装置情報] タブを選択し、[取得設定] をクリックします。



- 4 [自動取得] のチェックを外し、[OK] をクリックします。

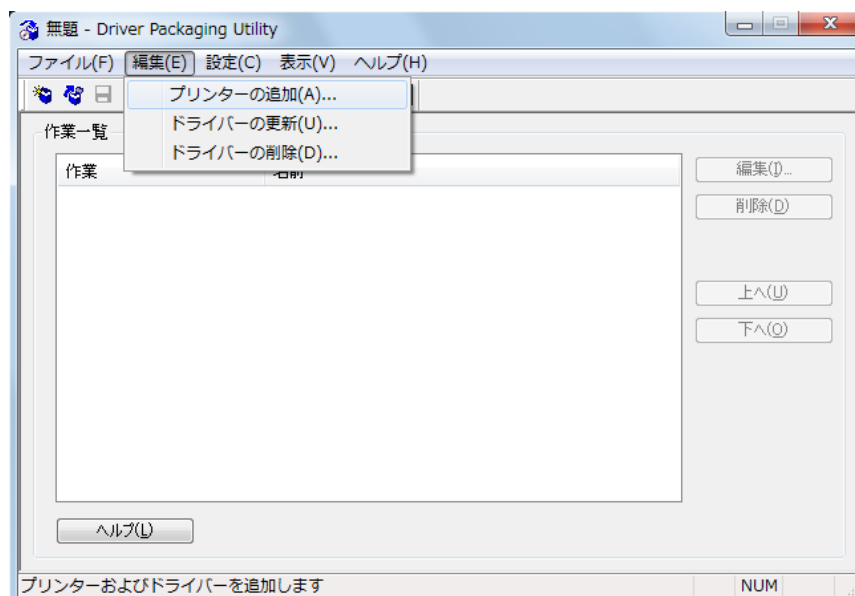


- 5 DPU.exe をダブルクリックし、Driver Packaging Utility を起動します。
  - OS が Windows 7 の場合、警告画面が表示されますので、許可してください。
- 6 [同意します] をクリックします。



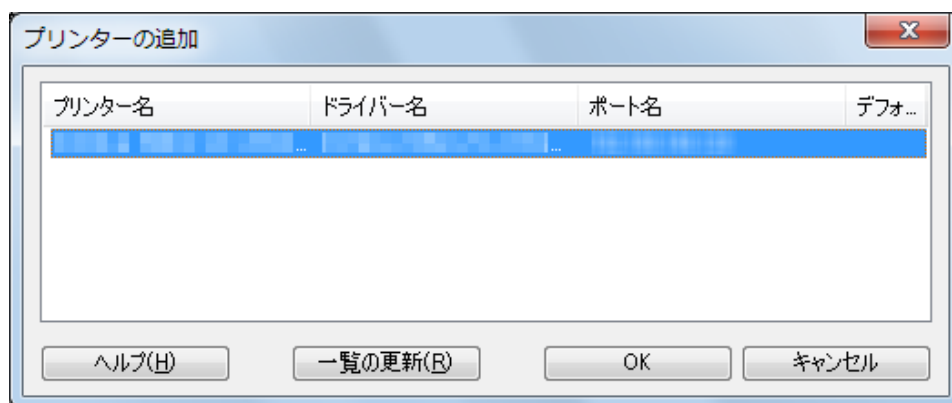
Driver Packaging Utility の画面が表示されます。

- 7 [編集] - [プリンターの追加] を選択します。

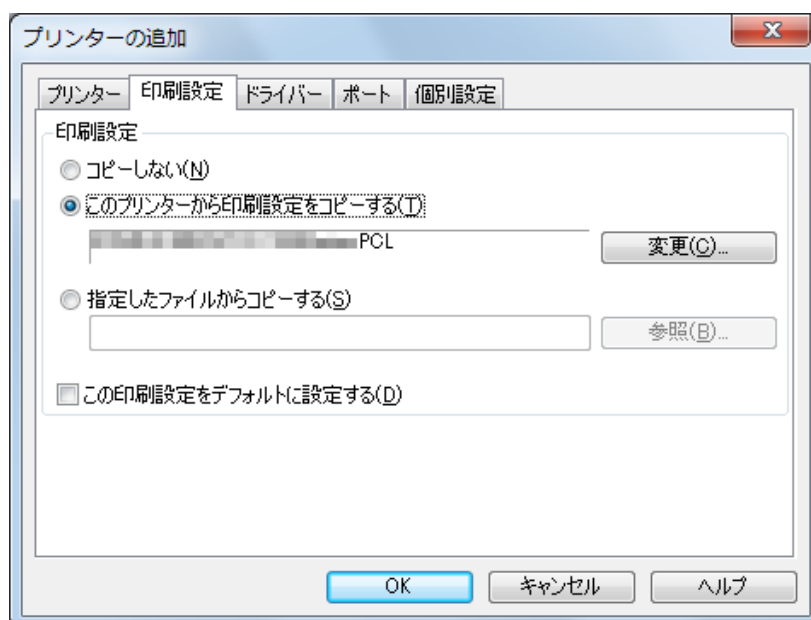


プリンターの追加画面に、コンピュータにインストールされている Standard TCP/IP Port のプリンターが一覧表示されます。

- 8 LK-114\_ManagerPort で使用するプリンタードライバーを選択し、  
[OK] をクリックします。

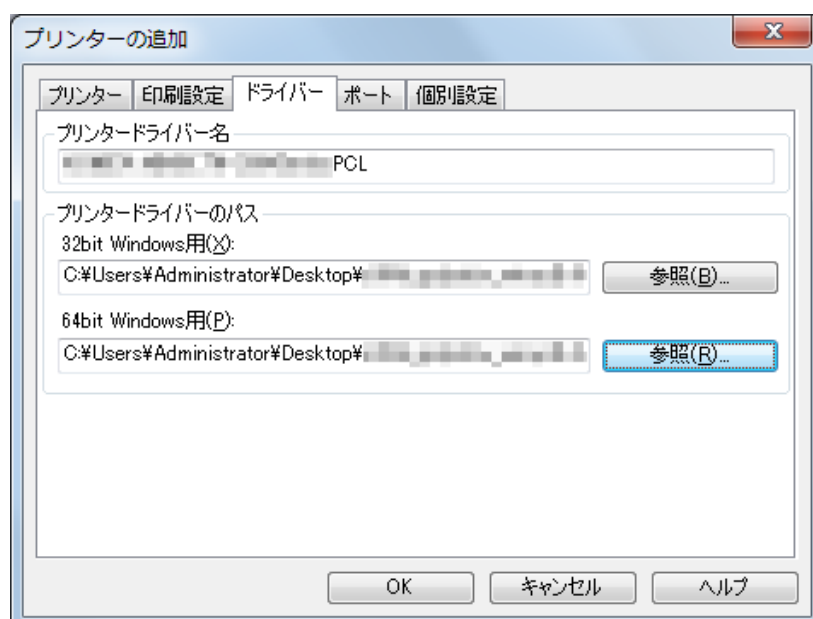


- 9 [印刷設定] タブで、[このプリンターから印刷設定をコピーする] を  
選択します。

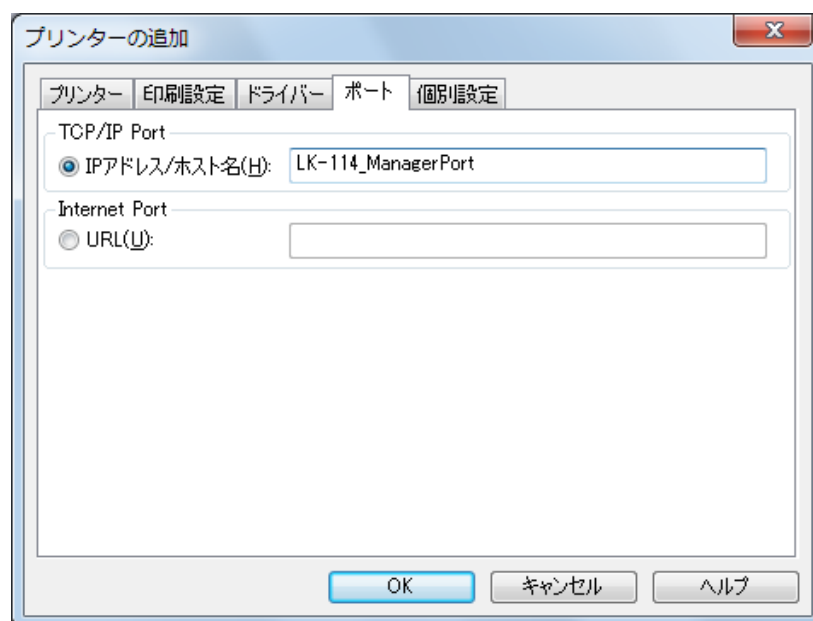


10 [ドライバー] タブでプリンタードライバーを指定し、[OK] をクリックします。

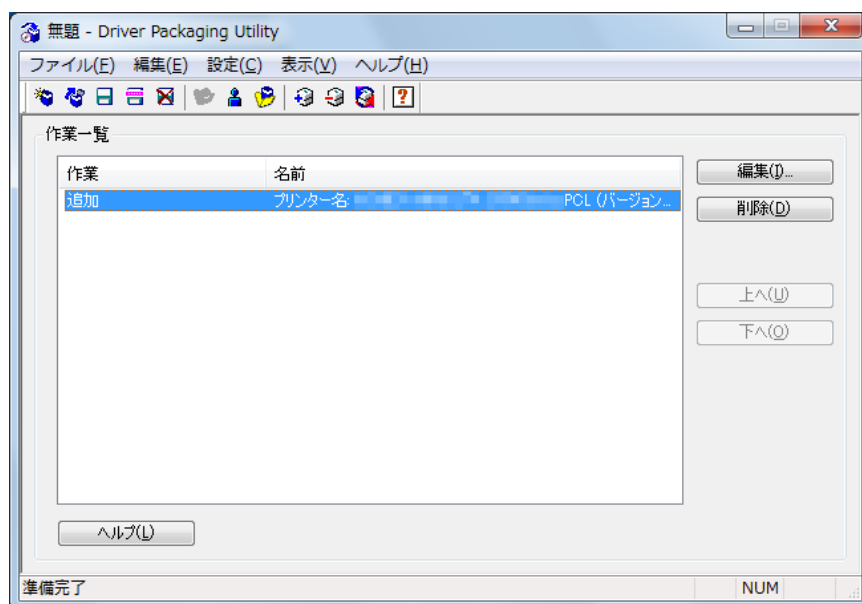
- [参照] をクリックし、[プリンタードライバーのパス] を指定します。
- ここで指定するパスは、Program Files - KONICA MINOLTA フォルダーにインストールされたプリンタードライバーファイルではなく、インストール前のプリンタードライバーフォルダーのプリンタードライバーファイルを指定する必要があります。



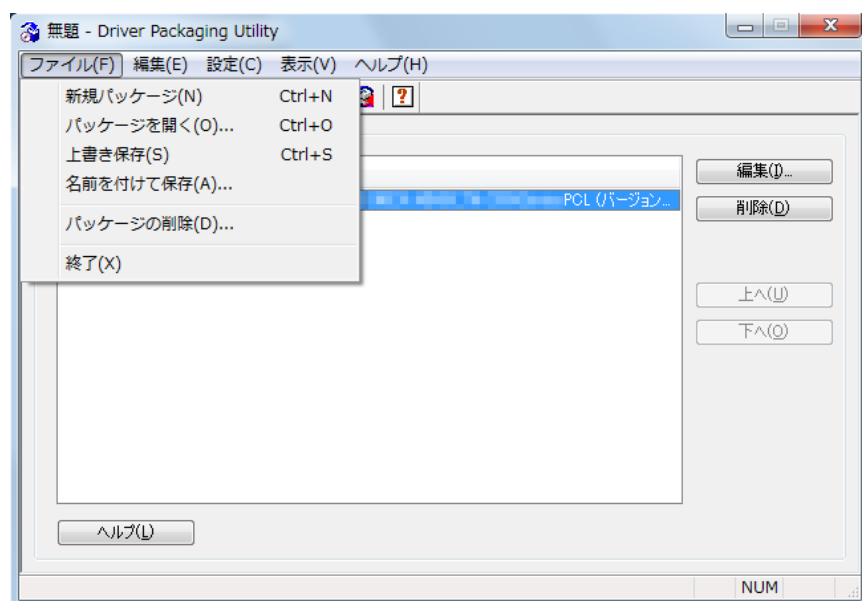
11 [ポート] タブの [IP アドレス / ホスト名] 欄に「LK-114\_ManagerPort」と入力し、[OK] をクリックします。



作業一覧に追加したプリンター名が表示されます。

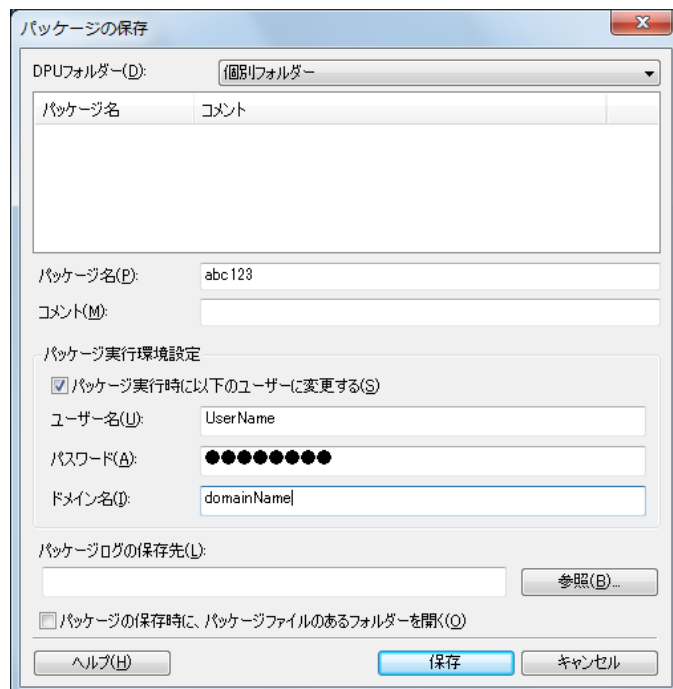


12 [ファイル] – [名前を付けて保存] を選択します。



### 13 必要な項目を入力します。

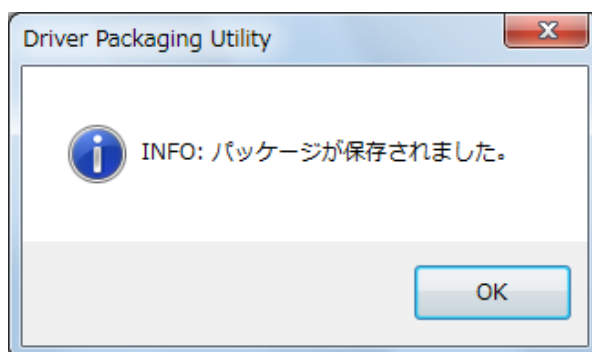
- [パッケージ名] に任意の名称を入力します。
- [パッケージ実行時に以下のユーザーに変更する] をチェックし、配布先の管理者権限を持つユーザーのユーザー名、パスワード、ドメインを入力します。



### 14 [保存] をクリックします。

パッケージ（プリンタードライバーセットアップファイル）が作成されます。

### 15 完了画面で [OK] をクリックします。



#### ひとこと

プリンタードライバーセットアップファイル作成後、自動取得設定画面（手順 4）ではずした「自動取得」のチェックは、必要に応じて元に戻してください。

### 6.1.3 LK-114\_InstallTool の作成と配布

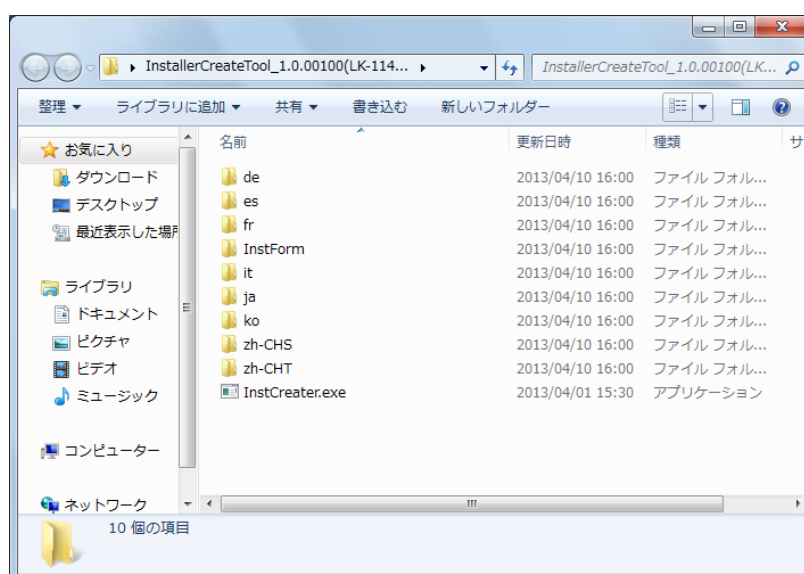
LK-114\_InstallTool の作成と配布を行います。

#### LK-114\_InstallTool の作成手順

LK-114\_InstallTool の作成を行う前に、以下のことを確認してください。

- ✓ LK-114\_InstallTool を実行するユーザーが自分のコンピューターに管理者権限を持たない場合は、管理者権限を持つユーザーのユーザー ID、ドメイン、パスワードを確認する
- ✓ LK-114\_InstallerCreateTool がコンピューターに準備されている

- 1 [InstCreator.exe] をダブルクリックし、LK-114\_InstallerCreateTool を起動します。





## 2 [クライアント PC でインストール可能な権限を指定する] で、LK-114\_ManagerPort をインストールするときの権限を設定します。

- LK-114\_InstallTool を実行するユーザーが、自分のコンピューターに対して管理者権限を持たない場合は、管理者権限を持つユーザーの [ユーザー ID]、[ドメイン]、[パスワード] を入力します。
- LK-114\_InstallTool を実行するユーザーが、自分のコンピューターに対して管理者権限を持っている場合は、[クライアント PC でインストール可能な権限を指定する] のチェックを外します。この場合、LK-114\_InstallTool の [invoke.exe] を実行したユーザーの権限で、インストールが行われます。

The screenshot shows the 'LK-114\_InstallerCreateTool' window. It contains several sections for configuring the installer package:

- ユーザーPCでLK-114を使用するために必要なアプリをインストールする。パッケージを作成します。** (Install necessary applications on the user PC to use LK-114. Create the package.)
- ☒ クライアントPCでインストール可能な権限を指定する (Specify permissions for installation on the client PC).
- ユーザーID\*** (1-256文字), **ドメイン** (0-256文字), **パスワード\*** (1-256文字)
- ユーザーのインストール制作** (User installation creation)
  - ☒ 全て自動で行う (Perform all automatically)
  - ☐ 次の文字列に部分一致するインストール済みプリンターのポートをLK-114\_Manager Portに変更する (Change the port of the installed printer that partially matches the following string to LK-114\_Manager Port)
  - ☐ インストール完了後、ManagerPort設定を表示する (Display ManagerPort settings after installation is complete)
  - ☐ ユーザーが、インストールするプリンタードライバーの選択やManagerPort設定を行う (The user selects the printer driver to install and sets the ManagerPort)
- ☒ サーバー装置へプリントジョブを送信する時の設定をする (Set settings when sending print jobs to the server device)
  - 設定ファイルのインポート** (Import settings file)
  - 設定内容** (Setting content)
 

	接続先名	LK-114ドメインのトポロジードレス	所属グループのトポロジードレス
*			
  - 通信設定** (Communication settings)
 

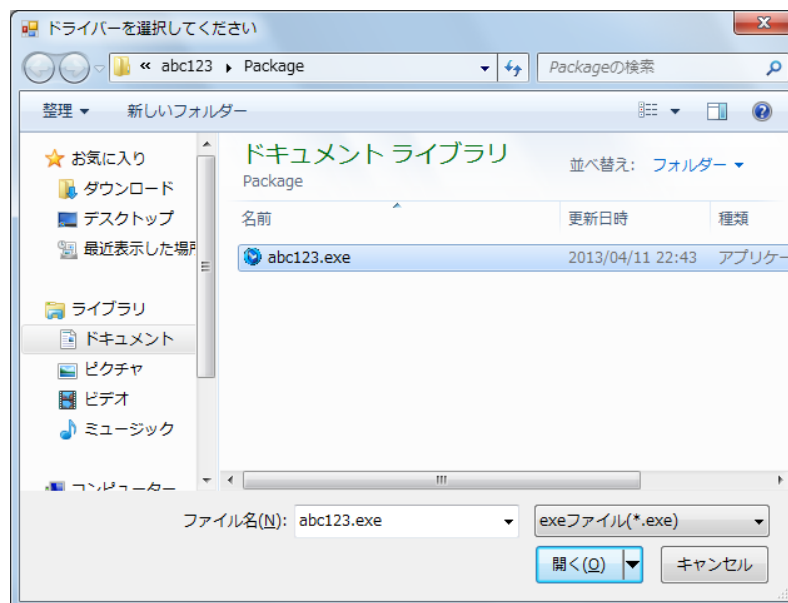
通常変更する必要はありませんが、装置のSNMP設定・OpenAPI設定を変更している場合は、装置の設定にあわせてください。
- ☒ インストーラーの中にプリンタードライバーを同梱する (Include printer driver in the installer)
  - ドライバー** (Driver)
 

選択	ドライバー名	ファイルパス
  - ドライバー追加** (Add driver)

Buttons at the bottom: **インストーラー作成** (Create installer), **閉じる** (Close).

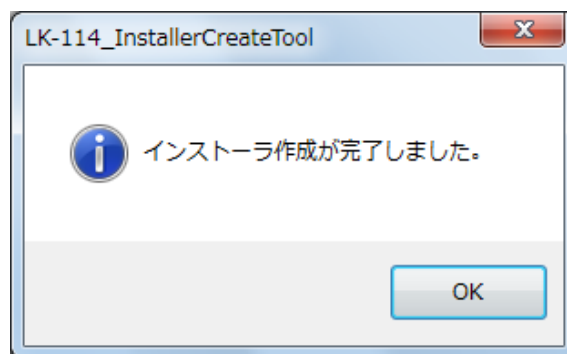
- 3 [ユーザーのインストール操作] で、プリンタードライバーや LK-114\_ManagerPort の設定をユーザーが行うかどうかを選択します。
- [全て自動で行う] を選択すると、ユーザーは設定を行う必要はありません。
  - すでにユーザーのコンピューターにインストールされているプリンタードライバーを LK-114\_ManagerPort で使用できるようにする場合は、[全て自動で行う] を選択し、[次の文字列に部分一致するインストール済みプリンターのポートを LK-114\_Manager Port に変更する] にチェックをつけてから、テキストボックスにプリンタードライバーの名前を入力します。
  - LK-114\_ManagerPort のインストール完了後に LK-114\_ManagerPort の設定画面が表示されるようにするには、[インストール完了後、ManagerPort 設定を表示する] にチェックをつけます。
  - ユーザーが設定を行う場合は、[ユーザーが、インストールするプリンタードライバーの選択や ManagerPort 設定を行う] を選択します。
- 4 [サーバー装置へプリントジョブを送信する時の設定をする] で、プリントジョブの送信に関する設定をします。
- [設定内容] で、LK-114\_ManagerPort の接続先情報を設定します。  
[接続先名]：管理用の接続先名を入力します。  
[LK-114 ドメインのトポロジー機アドレス]：ユビキタスグループのリストを取得するための、トポロジー機の IP アドレスを入力します。  
[所属グループのトポロジー機アドレス]：印刷ジョブの送信先にするユビキタスグループの、トポロジー機の IP アドレスを入力します。
  - 接続先情報をファイルからインポートする場合は、[設定ファイルのインポート] をクリックして、接続先情報ファイルを選びます。
  - ストレージ機の SNMP 設定または OpenAPI 設定を変更している場合は、[通信設定] をクリックしてストレージ機と通信するための設定をします。
- 5 [インストーラーの中にプリンタードライバーを同梱する] で、LK-114\_InstallTool にプリンタードライバーを同梱するかどうかを設定します。
- LK-114\_InstallTool にプリンタードライバーを同梱する場合は、[インストーラーの中にプリンタードライバーを同梱する] にチェックをつけ、[ドライバー追加] をクリックします。手順 6 へ進みます。
  - LK-114\_InstallTool にプリンタードライバーを同梱しない場合は、[インストーラーの中にプリンタードライバーを同梱する] のチェックを外します。手順 8 へ進みます。

- 6 Driver Packaging Utility で作成したフォルダーを指定してから、プリンタードライバーセットアップファイルを選択し、[開く] をクリックします。
- ユーザーのコンピューターに対応するプリンタードライバーを指定してください。

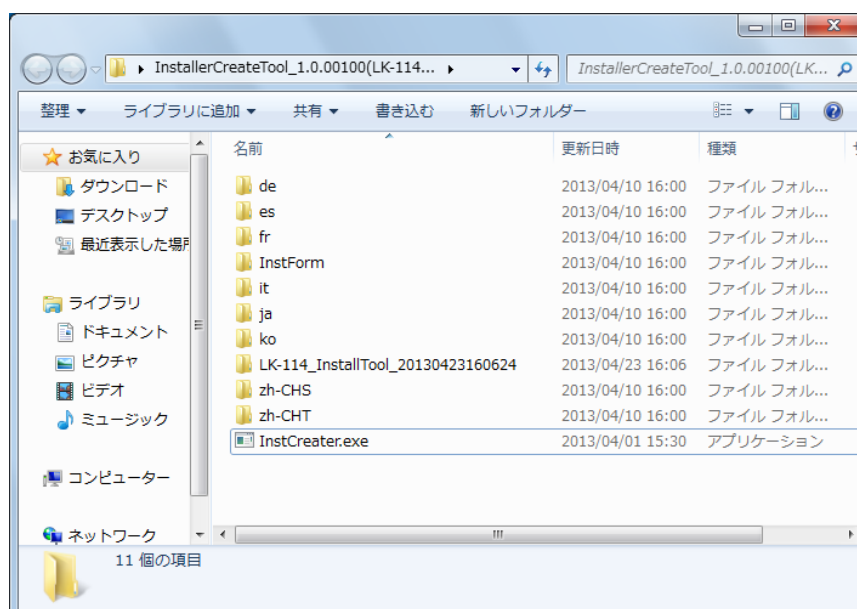


- 7 [ドライバー] で、同梱するプリンタードライバーにチェックをつけます。
- [ドライバー名] は変更することができます。必要に応じて、配布時にわかりやすいドライバー名を付けてください。  
(例：abc123.exe → 3 階用プリンタードライバー)
- 8 [インストーラー作成] をクリックします。  
LK-114\_InstallTool が作成されます。

## 9 完了画面で [OK] をクリックします。



LK-114\_InstallerCreateTool フォルダーに配布用の LK-114\_InstallTool\_yyyymmddhhmmss フォルダーが作成されます。(yyyymmddhhmmss は LK-114\_InstallTool を作成した日時です。)



## 10 LK-114\_InstallTool\_yyyymmddhhmmss フォルダーをユーザーのコンピュータに配布します。



### ひとこと

接続先情報ファイルについて詳しくは、「接続先情報ファイルについて」(p. 10-1) をご覧ください。

## 6.2 LK-114\_InstallTool からの自動インストール

管理者から配布された LK-114\_InstallTool を使用して、プリンタードライバーと LK-114\_ManagerPort のインストールを行います。

ここでは、LK-114\_InstallerCreateTool で LK-114\_InstallTool を作成したときに、[ユーザーのインストール操作] で [全て自動で行う] を選択した場合の手順を説明します。

LK-114\_InstallTool が準備されていない場合は、管理者に確認してください。

- 1 管理者から配布された LK-114\_InstallTool の [invoke.exe] をダブルクリックします。  
インストーラーが起動します。

- 2 画面の指示に従います。

LK-114\_ManagerPort のインストールとプリンタードライバーのインストール、LK-114\_ManagerPort の設定が自動で行われます。

6.3 LK-114\_InstallTool からの手動インストール

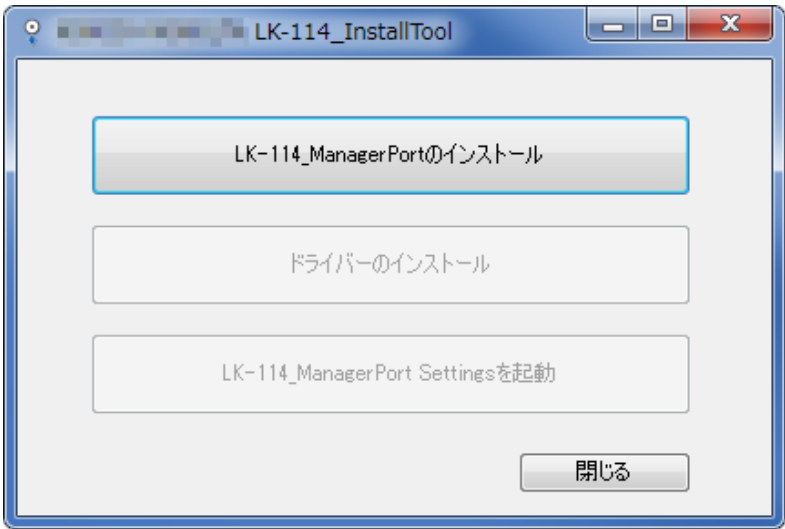
管理者から配布された LK-114\_InstallTool を使用して、プリンタードライバーと LK-114\_ManagerPort のインストールを行います。


ここでは、LK-114\_InstallerCreateTool で LK-114\_InstallTool を作成したときに、[ユーザーのインストール操作] で、[ユーザーが、インストールするプリンタードライバーの選択や ManagerPort 設定を行う] を選択した場合の手順を説明します。



LK-114\_InstallTool が準備されていない場合は、管理者に確認してください。

LK-114\_InstallTool の起動とインストール対象選択画面

管理者から配布された LK-114\_InstallTool の [invoke.exe] をダブルクリックすると、インストール対象選択画面が表示されます。



項目	内容
LK-114_ManagerPort のインストール	<p>LK-114_ManagerPort をインストールします。 詳しくは、「LK-114_ManagerPort のインストール」(p. 6-16) をごらんください。</p> <p> ...</p> <p><b>ひとつこと</b> すでにインストールされている LK-114_ManagerPort のバージョンより新しい場合は、項目が [LK-114_ManagerPort のアップデート] と表示されます。</p>

項目	内容
ドライバーのインストール	<p>プリンタードライバーをインストールします。 詳しくは、「プリンタードライバーのインストール」(p. 6-19) をごらんください。</p> <p> ...</p> <p><b>ご注意</b> LK-114_ManagerPort がインストールされていない場合は、プリンタードライバーのインストールはできません。</p>
LK-114_ManagerPort Settings を起動	<p>LK-114_ManagerPort の設定を行います。 詳しくは、「LK-114_ManagerPort の設定」(p. 6-22) をごらんください。</p> <p> ...</p> <p><b>ご注意</b> LK-114_ManagerPort がインストールされていない場合は、LK-114_ManagerPort の設定はできません。</p>

6.3.1 LK-114\_ManagerPort のインストール

管理者から配布された LK-114\_InstallTool を使用して、LK-114\_ManagerPort をインストールします。

LK-114\_InstallTool が準備されていない場合は、管理者に確認してください。

 ...

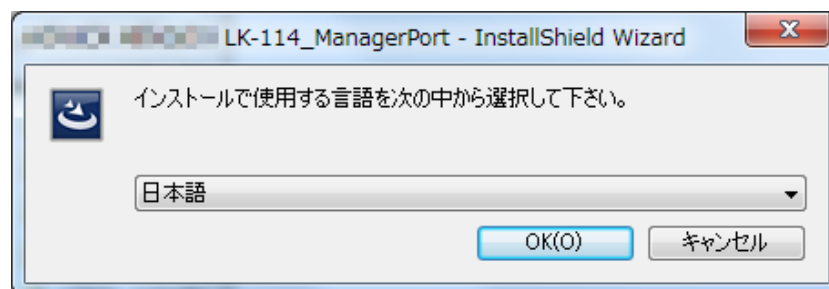
ひとこと

管理者権限を持つユーザーコンピューターの場合は、[LK-114\_InstallerCreateTool] > [InstForm] > [LK-114\_ManagerPort] フォルダー内に存在する [Setup.exe] からインストールできます。

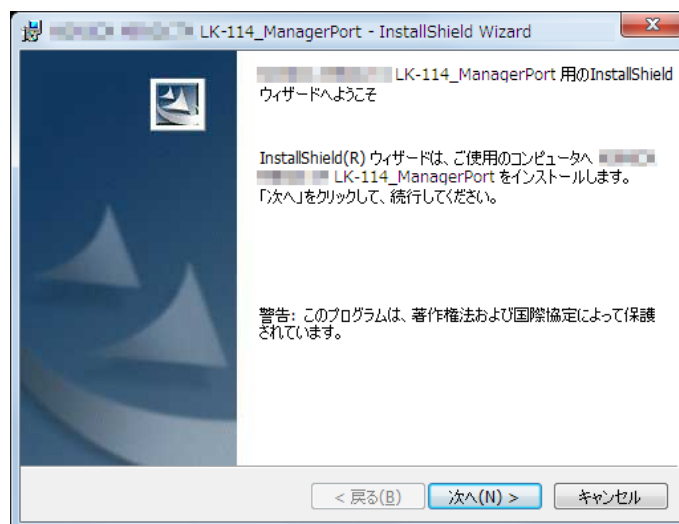
インストール手順

- 1 LK-114\_InstallTool のインストール対象選択画面で [LK-114\_ManagerPort のインストール] をクリックします。
  - アップデートの場合は、[LK-114\_ManagerPort のアップデート] をクリックします。
  - インストール対象選択画面について詳しくは、「LK-114\_InstallTool の起動とインストール対象選択画面」(p. 6-15) をごらんください。

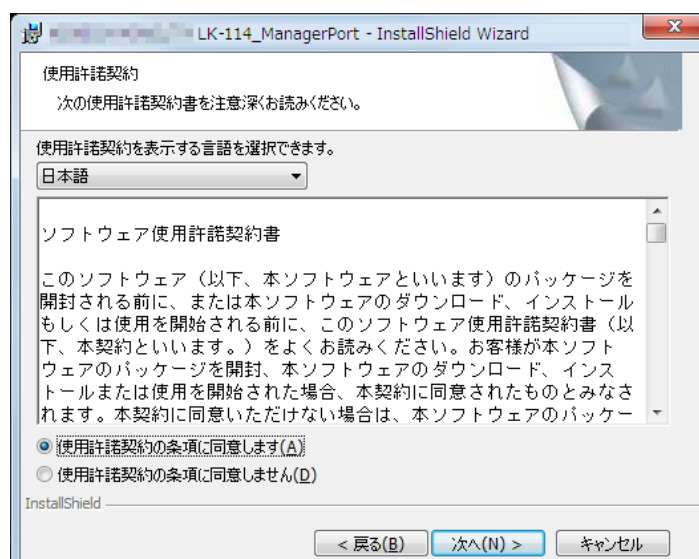
- 2 インストール開始画面で [はい] をクリックします。
- 3 [日本語] を選択し、[OK] をクリックします。



- 4 [次へ] をクリックします。

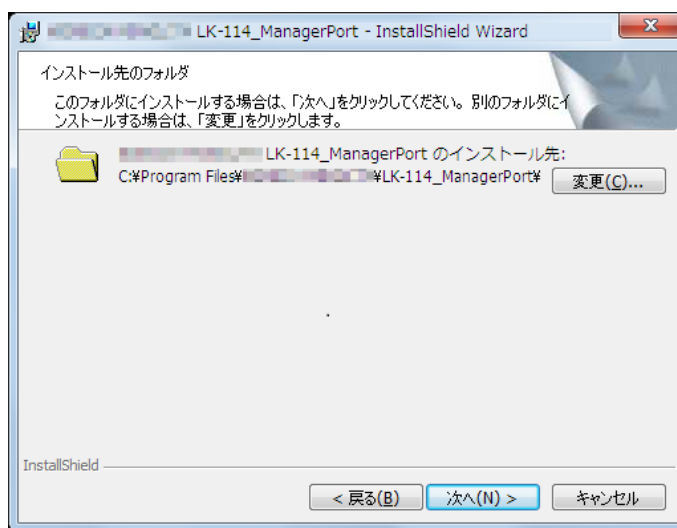


- 5 [使用許諾契約の条項に同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。

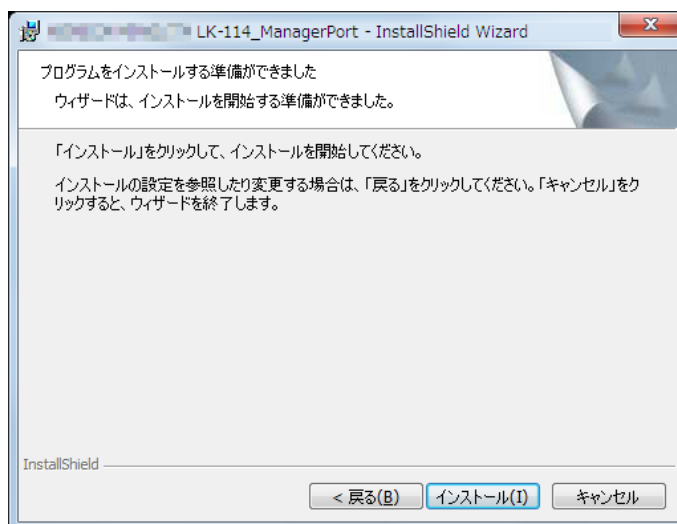




- 6 インストール先のフォルダーを確認します。
- 別のフォルダーにインストールする場合は、[変更] をクリックし、フォルダーを設定します。

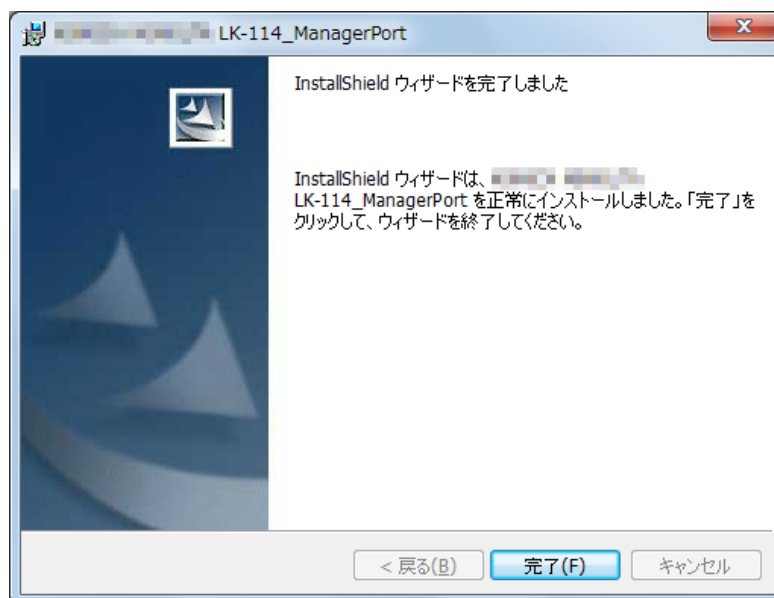


- 7 [次へ] をクリックします。
- 8 [インストール] をクリックします。



LK-114\_ManagerPort のインストールが開始されます。インストールが終了すると完了画面が表示されます。

## 9 完了画面で「完了」をクリックします。



LK-114\_InstallTool のインストール対象選択画面に戻ります。

### 6.3.2 プリンタードライバーのインストール

管理者から配布された LK-114\_InstallTool を使用して、プリンタードライバーをインストールします。

LK-114\_InstallTool が準備されていない場合は、管理者に確認してください。



#### ひとこと

管理者権限を持つユーザーコンピュータの場合は、フォルダー内に存在する [Setup.exe] からインストールできます。

## インストール手順

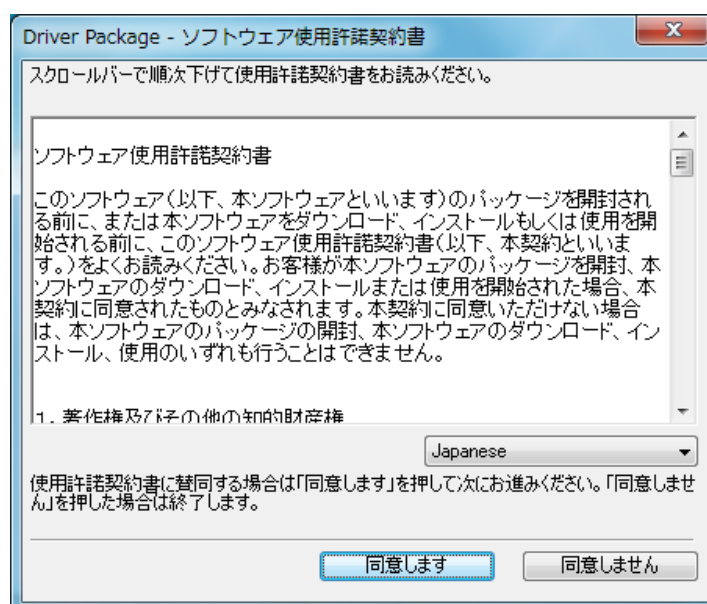
プリンタードライバーをインストールする前に、以下のことを確認してください。

- ✓ コンピューターにLK-114\_ManagerPortがインストールされていること

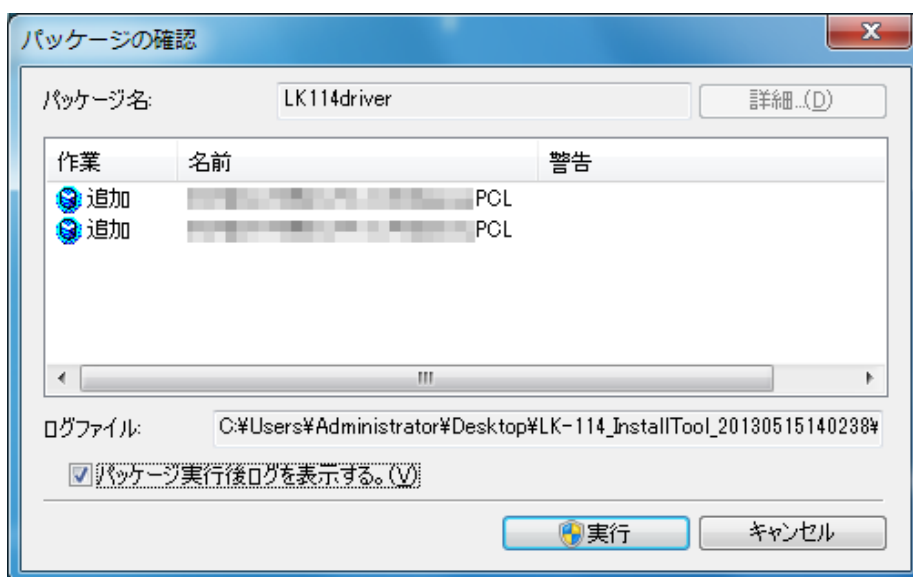
1 LK-114\_InstallTool のインストール対象選択画面で「ドライバーのインストール」をクリックします。

- インストール対象選択画面について詳しくは、「LK-114\_InstallTool の起動とインストール対象選択画面」(p. 6-15) をごらんください。
- LK-114\_InstallerCreateTool で複数のプリンタードライバーを選択した場合は、プリンタードライバー選択画面が表示されます。インストールするプリンタードライバーを選択してください。

2 「同意します」をクリックします。

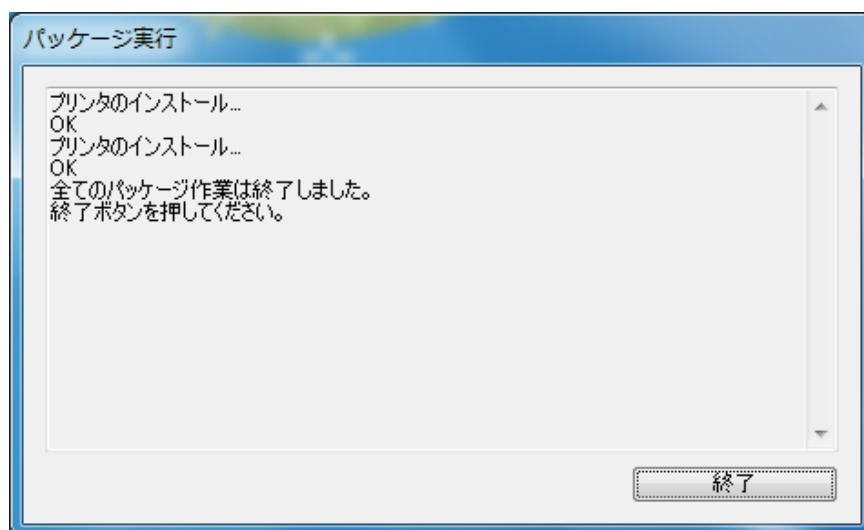


- 3 Driver Packaging Utility で作成したプリンタードライバーセットファイルを選択し、[実行] をクリックします。



インストールが開始されます。

- 4 [終了] をクリックします。



LK-114\_InstallTool のインストール対象選択画面に戻ります。

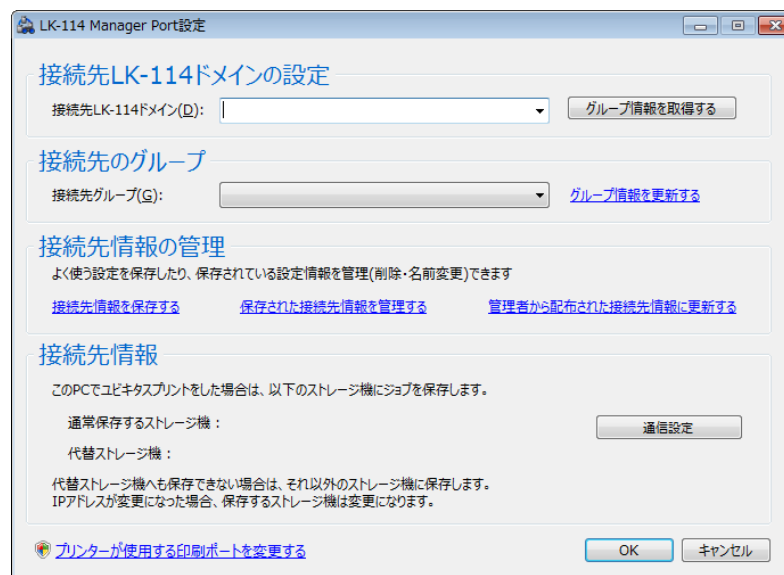
### 6.3.3 LK-114\_ManagerPort の設定

LK-114\_ManagerPort のインストールが完了したら、引き続き LK-114\_ManagerPort の設定を行います。

印刷を行うときに、LK-114\_ManagerPort が指定されたプリンターを選ぶことで、印刷ジョブをストレージ機に送信できます。

#### 1 LK-114\_ManagerPort の設定画面を表示します。

- LK-114\_InstallTool から表示する場合：インストール対象を選択する画面で [LK-114\_ManagerPort Settings を起動] をクリックします。
- スタートメニューから表示する場合：[スタート] – [KONICA MINOLTA] – [LK-114\_ManagerPort] – [LK-114\_ManagerPort 設定] を選択します。



#### 2 [接続先 LK-114 ドメイン] で、ユビキタスグループのリストを取得するためのトポロジー機を指定します。

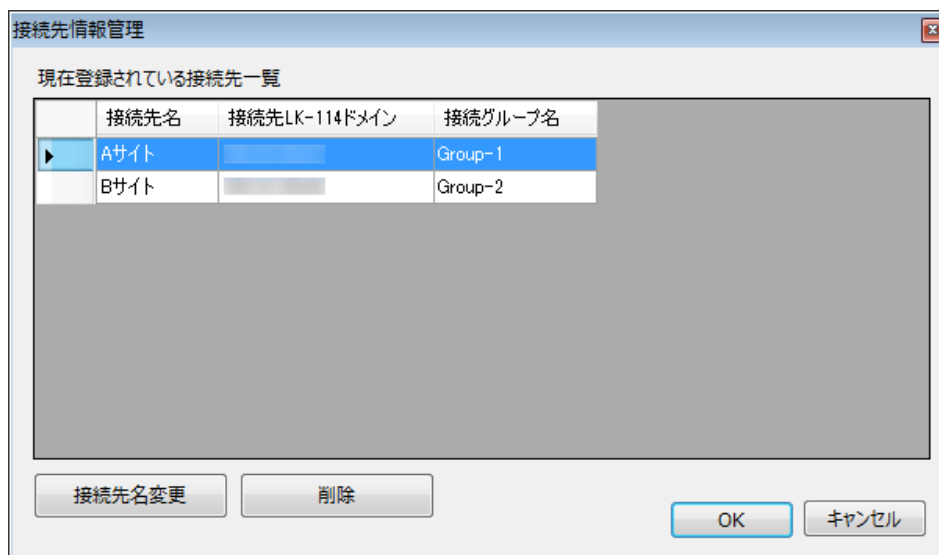
- トポロジー機の IP アドレスを入力します。
- 接続先情報が保存されている場合は、ドロップダウンリストからトポロジー機を選ぶことができます。

#### 3 [グループ情報を取得する] をクリックします。

#### 4 [接続先グループ] で、印刷ジョブの送信先にするユビキタスグループを選びます。

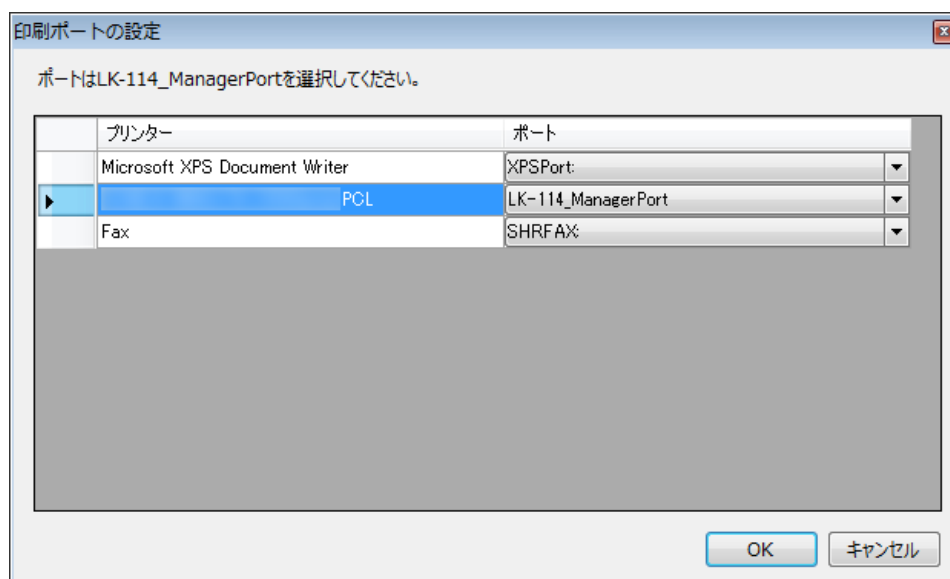
- グループ情報を取得し直して、ドロップダウンリストの内容を更新するには、[グループ情報を更新する] をクリックします。

- 5 必要に応じて、設定した接続先情報を保存します。
- 「接続先情報を保存する」をクリックして、管理用の接続先名を指定します。
  - 「保存された接続先情報を管理する」をクリックすると、接続先情報の管理画面が表示されます。接続先名を変更したり、接続先情報を削除したりすることができます。



- 6 ストレージ機の SNMP 設定または OpenAPI 設定を変更している場合は、「通信設定」をクリックしてストレージ機と通信するための設定をします。
- 7 「プリンターが使用する印刷ポートを変更する」をクリックします。

- 8 使用するプリンターのポートを [LK-114\_ManagerPort] に変更し、[OK] をクリックします。



- LK-114\_InstallTool でプリンタードライバーをインストールした場合は、[LK-114\_ManagerPort] が選ばれていることを確認します。

- 9 [OK] をクリックします。



#### ひとこと

プリンターが使用するポートを変更するには、コンピューターの管理者権限が必要です。

接続先情報を、ファイルからインポートすることができます。[管理者から配布された接続先情報に更新する] をクリックして、接続先情報ファイルを選択します。

LK-114\_ManagerPort で接続先情報を保存することにより、ユビキタスプリントを実行する場所に応じて、接続先のユビキタスグループを切替えることができます。



#### ひとこと

接続先情報ファイルについて詳しくは、「接続先情報ファイルについて」(p. 10-1) をごらんください。

## 7 プリンタードライバー／LK-114\_ManagerPort のアンインストール

### 7.1 プリンタードライバーのアンインストール

コンピューターからプリンタードライバーを削除します。

#### アンインストールの手順

アンインストールする前に、以下を確認してください。

✓ 管理者権限で Windows にログオンしている

- 1 [デバイスとプリンター] 画面を表示します。
  - Windows 7 の場合：[スタート] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] を選択します。
  - Windows 8.1 の場合：スタート画面を右クリックし、[すべてのアプリ] - [コントロールパネル] - [ハードウェア] - [デバイスとプリンター] を選択します。
- 2 削除したいプリンターを右クリックし、[デバイスの削除] を選択します。
- 3 コンピューターを再起動します。



## 7.2 LK-114\_ManagerPort のアンインストール

コンピューターから LK-114\_ManagerPort を削除します。

### アンインストールの手順

アンインストールする前に、以下を確認してください。

- ✓ 管理者権限で Windows にログオンしている
- ✓ LK-114\_ManagerPort 設定 のドライバー／ポート選択画面で [LK-114\_ManagerPort] が使用されていないこと

- 1 プログラムをアンインストールする画面を表示します。
  - Windows 7 の場合：[スタート] － [コントロールパネル] － [プログラムと機能] または [プログラム] を選択します。
  - Windows 8.1 の場合：スタート画面を右クリックし、[すべてのアプリ] － [コントロール パネル] － [プログラム] の [プログラムのアンインストール] を選択します。
- 2 LK-114\_ManagerPort を選択し、削除を実行します。
- 3 コンピューターを再起動します。

## 8 操作方法

### 8.1 ユビキタスプリントでできること

ユビキタスプリントでは、以下のことができます。

- プリントジョブをストレージ機へ蓄積する (p. 8-2)
- プリントジョブをクライアント機で印刷する (p. 8-3)
- 蓄積したプリントジョブの一覧をクライアント機で確認する (p. 8-3)
- 蓄積したプリントジョブの印刷設定をクライアント機で変更する (p. 8-3)
- 蓄積したプリントジョブをクライアント機で削除する (p. 8-7)



...

#### ひとつこと

同一ユビキタスグループ内のトポロジー機として利用している本体は、クライアント機の役割を設定することもできます。

トポロジー機以外の本体は、ストレージ機およびクライアント機として利用できます。

## 8.2 プリントジョブをストレージ機へ蓄積する

ストレージ機に、プリントジョブを蓄積します。

### プリントジョブを蓄積する

プリントジョブを蓄積する前に、以下のことを確認してください。

- ✓ ユビキタスプリント機能を利用するためのプリンタードライバーおよび LK-114\_ManagerPort のインストールがされていて、LK-114\_ManagerPort の設定が済んでいる

- 1 蓄積したいファイルを開きます。
- 2 ソフトウェアのメニューから、印刷を実行します。
  - ストレージ機に設定されている本体を選択し、[OK] をクリックします。プリントジョブがストレージ機へ蓄積されます。

### プリントジョブ送信でエラーが発生した場合

LK-114\_ManagerPort で設定した通常送信先、代替送信先への通信確認ができず、プリントジョブがストレージ機に蓄積できなかった場合は、別のストレージ機にプリントジョブが保存されます。

すべてのストレージ機への通信確認ができなかった場合は、プリントジョブが蓄積されずエラーとなります。プリントスプーラーより、エラーとなったプリントジョブを削除してください。

プリントジョブを削除した後、送信先の通信を確認し、再度印刷を実行してください。

### 8.3 クライアント機で印刷する

ユーザーのコンピュータからストレージ機に蓄積したプリントジョブをクライアント機の操作パネルで操作して印刷します。ストレージ機でも印刷できます。



**ご注意**


ストレージ機に蓄積したプリントジョブをクライアント機で印刷する場合、BOX 印刷やセキュリティー印刷はできません。



**印刷設定の変更について**

プリントジョブは、印刷設定を変更して印刷することができます。詳しい手順は、「プリントジョブを印刷する」(p. 8-4) をご覧ください。

印刷設定画面で変更できる項目は以下のとおりです。



項目	内容
部数	印刷部数を変更できます。
印刷	〔片面〕 または 〔両面〕 を選択できます。
カラー	〔ブラック〕 または 〔フルカラー〕 を選択できます。  ... <b>ご注意</b> プリンタードライバーで画像処理を行っている場合は、〔カラー〕 の設定を変更しても反映されません。

項目		内容
仕上り	ステープル	[しない] [コーナー] [2 点] のいずれかを選択します。
	パンチ	[しない] [2 穴] [3 穴] [4 穴] のいずれかを選択します。  ... <b>ひとつこと</b> 本体の機種によって、表示される設定項目は異なります。
位置指定	ステープル / パンチ	表示されるステープル位置とパンチ位置の組み合わせの中から選択します。  ... <b>ひとつこと</b> 仕上り設定の設定内容によって、表示される設定項目は異なります。



#### ご注意

クライアント機にフィニッシャーが装着されていない場合、[仕上り] [位置指定] の設定はできません。



#### ご注意

PS ドライバーでストレージ機に蓄積された文書は、クライアント機での印刷設定の表示および印刷設定の変更はできません。（蓄積時の PS ドライバーによる設定が有効になります。）

## プリントジョブを印刷する


- 1 クライアント機の操作パネルで、[ユーザー名] と [パスワード] を入力し、[ログイン] をタップします。
- 2 メニューキーを押します。  
トップメニューが表示されます。

### 3 [ユビキタスプリント] をタップします。



### 4 印刷するプリントジョブを選択します。



- [他グループ] をタップすると、操作中のクライアント機が参加していない他グループの印刷ジョブのリストを表示します。
- [リスト更新] をタップすると、プリントジョブの一覧が最新情報に更新されます。更新中に [リスト更新中止] をタップすると、印刷ジョブリストの更新を中止します。
-  ([印刷設定]) をタップすると、印刷設定画面が表示され、プリントジョブの印刷設定を変更できます。
- [全解除] をタップすると、プリントジョブの選択が解除されます。
- [全選択] をタップすると、すべてのプリントジョブが選択されます。
- [通信結果] をタップすると、すべてのユビキタスグループの本体の状態を確認できます。

## 5 操作パネルの〔スタート〕を押します。



...

### ご注意

同一ユーザーが複数のクライアント機に同時にログインした場合、プリントジョブの操作や印刷ができない場合があります。



...

### ひとつこと

ストレージ機の空き容量が少なくなると、操作パネル上部に「プリントストレージ機の空き容量が少なくなっています。〔通信結果〕キーで詳細を確認できます。」と表示されます。プリントジョブの一覧画面で〔通信結果〕をタップしてください。



...

### ひとつこと

クライアント機のプリント受信ポートが利用中の場合は、ユビキタスプリントでの印刷は順番待ちとなります。



...

### ひとつこと

他グループでの操作は、ユーザーのネットワーク環境や他グループのストレージ機の台数によって、本体が所属するグループでの操作に比べてパフォーマンスが大きく低下することがあります。他グループのプリントジョブの操作は、移動先のフロアの複合機で印刷したい場合など、必要な場合に限定して行ってください。



...

### ひとつこと

30 台以上で構成している場合は、〔接続タイムアウト設定〕を 360 秒に設定して利用することをおすすめします。詳しくは、「接続タイムアウト時間を設定する」(p. 4-10) をごらんください。

## 8.4 プリントジョブを削除する

プリントジョブをストレージ機から削除します。

### プリントジョブを削除する

- 1 クライアント機の操作パネルで、[ユーザー名] と [パスワード] を入力し、[ログイン] をタップします。
- 2 メニューキーを押します。
- 3 [ユビキタスプリント] をタップします。
- 4 削除するプリントジョブを選択し、[削除] をタップします。



- [リスト更新] をタップすると、プリントジョブの一覧が最新情報に更新されます。
- [全解除] をタップすると、プリントジョブの選択が解除されます。
- [全選択] をタップすると、すべてのプリントジョブが選択されます。

- 5 確認画面で [OK] をタップします。



## 9 トラブルシューティング

### 9.1 印刷時のエラーメッセージと対策

エラーメッセージ	原因	対策
クライアント機でトラブルが検出されました。 主電源を OFF/ON して解除してください。 解除できない場合は、管理者に連絡してください。(クライアント機操作時)	クライアント機で致命的なエラーが発生している。	ユーザー：クライアント機を再起動する。 管理者：LK-114_SetupTool でクライアント設定を確認する。または、本体でクライアント設定を確認する。
プリンタ受信ポートが使用不可の状態です。 管理者に連絡してください。(ストレージ機/クライアント機操作時)	本体のポートが使用できない。	管理者：LK-114_ManagerPort でポートの設定を確認する。
プリントストレージ機でトラブルが検出されました。 プリントストレージ機の主電源を OFF/ON して解除してください。 解除できない場合は、管理者に連絡してください。(ストレージ機操作時)	ストレージ機で致命的なエラーが発生している。	ユーザー：ストレージ機を再起動する。 管理者：LK-114_SetupTool でストレージ設定を確認する。または、本体でプリントストレージ設定を確認する。
プリントストレージ機能が無効となっています。(ストレージ機操作時)	プリントストレージ機の設定が無効になっている。	管理者：LK-114_SetupTool でストレージ設定を有効にする。
通信タイムアウトが発生しています。 管理者に連絡してください。(クライアント機操作時)	処理動作がタイムアウトした。	管理者：LK-114_SetupTool の管理者設定で、タイムアウトの設定値を変更する。または、本体で接続タイムアウト設定の設定値を変更する。
ユビキタスグループ設定不一致です。 管理者に連絡してください。(クライアント機操作時)	プリントストレージ機に登録されているユビキタスグループ設定に、クライアント機が登録されていない。	管理者：LK-114_SetupTool でストレージ機と同じユビキタスグループに本体を登録する。
操作中です。 しばらく待ってから再度操作してください。(ストレージ機/クライアント機操作時)	本体が操作中のため、要求を受け付けられない。	ユーザー：再度、操作をやり直す。
プリントストレージ機が起動中です。 しばらく待ってから再度操作してください。(ストレージ機操作時)	ストレージ機が起動中。	ユーザー：ストレージ機の起動完了を確認してから、再度、操作する。

エラーメッセージ	原因	対策
まもなく登録できる全体文書数が上限になります。 管理者に連絡してください。 (ストレージ機操作時)	10,000 件の 70%以上の文書が登録されている。	管理者：文書一覧画面で、不要な文書を削除する。
まもなくプリントストレージ機で使用する HDD 容量が上限になります。 管理者に連絡してください。 (ストレージ機操作時)	HDD 容量 5GB の 70%以上の文書が登録されている。	管理者：文書一覧画面で、不要な文書を削除する。
まもなく登録できる文書数が上限になります。 文書を削除してください。 (クライアント機操作時)	ログインしているユーザーの文書上限、100 件の 70%以上が登録されている。	ユーザー：文書一覧画面で、不要な文書を削除する。
処理できなかった文書があります。しばらく待ってから再度操作してください。 (ストレージ機操作時)	対象の文書がストレージ機で使用中のため、処理動作が完了できなかった。	ユーザー：再度、操作をやり直す。

# 10 付録（管理者用）

## 10.1 接続先情報ファイルについて

接続先情報ファイルは、コンピューターがユビキタスグループに接続するための情報が記述された XML 形式のファイルです。

接続先情報ファイルを作成することで、LK-114\_InstallerCreateTool や LK-114\_ManagerPort の設定で接続先情報を入力する手間が省けます。

接続先情報ファイルの XML の階層構造は、次のとおりです。

```
1  ———— <?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
      - <UserSettings>
        - <ConfigurationSetting>
2  ———— <ShowManagerPort>false</ShowManagerPort>
      - <ConnectionInformation>
        - <DomainInfoList>
3  ———— - <DomainInformation>
4  ———— <DomainName>Site1</DomainName>
5  ———— <DomainIPAddress>192.168.1.10</DomainIPAddress>
6  ———— <MIBOff>false</MIBOff>
7  ———— - <SelectedGroupInfo>
8  ———— <GroupName>GroupA</GroupName>
9  ———— <TMIPAddress>192.168.1.11</TMIPAddress>
      </SelectedGroupInfo>
      - <GroupInfoList>
10 ———— - <GroupInfo>
11 ———— <GroupName>GroupA</GroupName>
12 ———— <TMIPAddress>192.168.1.11</TMIPAddress>
      - <TargetDeviceList>
13 ———— <TargetDeviceIP>192.168.1.12</TargetDeviceIP>
      </TargetDeviceList>
      </GroupInfo>
      </GroupInfoList>
      </DomainInformation>
      </DomainInfoList>
      </ConnectionInformation>
      </ConfigurationSetting>
    </UserSettings>
```

No.	タグ	説明
1	XML 宣言	XML のバージョンと、テキストのエンコード方式を記述します。
2	ShowManagerPort	常に「false」を記述します。この情報は使用しません。
3	DomainInformation	接続先情報の単位。DomainInfoList 内に複数記述できます。
4	DomainName	管理用の接続先名を記述します。
5	DomainIPAddress	ユビキタスグループのリストを取得するための、トポロジー機の IP アドレスを記述します。

No.	タグ	説明
6	MIBOff	印刷ジョブの混雑状況を MIB から取得しない場合は「true」、取得する場合は「false」を記述します。
7	SelectedGroupInfo	接続先として選択されているユビキタスグループの情報。
8	GroupName	選択されているユビキタスグループの名前を記述します。GroupInfoList 内に含まれているグループ名を指定してください。
9	TMIPAddress	選択されているユビキタスグループの、トポロジー機の IP アドレスを記述します。
10	GroupInfo	ユビキタスグループ情報の単位。連携しているユビキタスグループを、GroupInfoList 内に複数記述できます。
11	GroupName	ユビキタスグループの名前を記述します。
12	TMIPAddress	ユビキタスグループのトポロジー機の IP アドレスを記述します。
13	TargetDeviceIP	ユビキタスグループ内にあるストレージ機の IP アドレスを記述します。TargetDeviceList 内に複数記述できます。



KONICA MINOLTA

国内総販売元  
コニカミノルタ ジャパン株式会社  
製造元  
コニカミノルタ株式会社